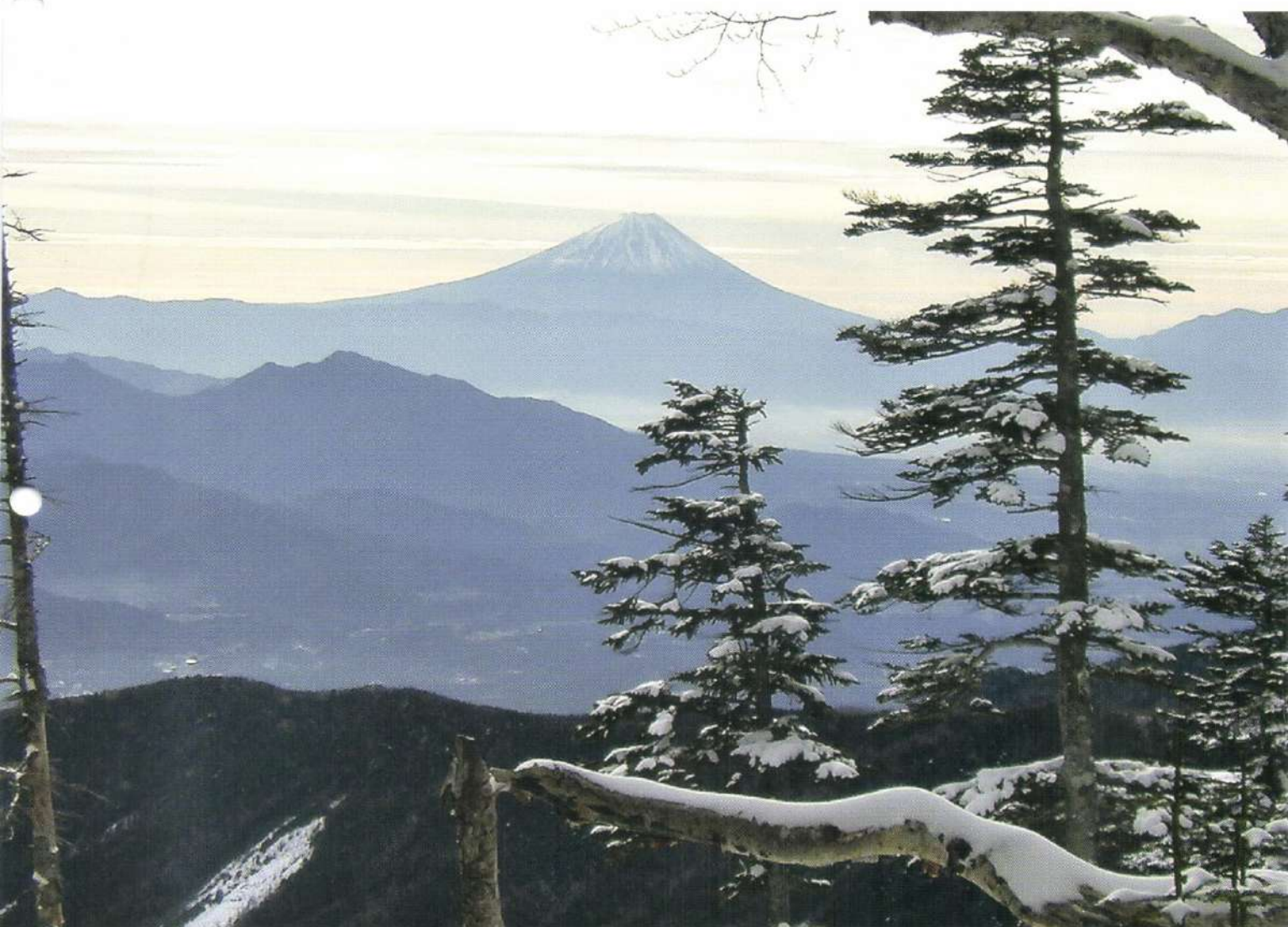


2018  
No.105

冬季号

# 広報 ほねつぎ

公益社団法人 長野県柔道整復師会機関誌



グラビア

四地区親睦交流会

# 柔道整復師とは

平成24年9月16日に日本医療福祉新聞社の発行した「営業法の解説」に、厚生省としての正式な見解を述べている。(これは昭和23年に厚生省の医務課現在の医事課で作成されたものの現代語版)

結論として、「本来は医師が当然行うべき医業の一部を免許により行うものである」こと、その業務は免許範囲内のものに限られる。営業法第一条は、国民医療法第一項に対する例外法、あるいは特別法として業務の範囲内において、医業の一部をなし得ることを規定している。

ここにいう免許は、医療禁止の一部解除を内容とする国家の行為であり、免許を受けた者は、夫々の業務の範囲内で医業の一部を行うことが許されることになる。そこで柔道整復師は、医業の一部を免許によって国から許された国家資格者である。

すなわち、柔道整復師は医業の一部を免許によって国から許されている柔道整復術について、国民が医療選択肢の一つとして理解できるように、自分たち柔道整復師も行政の行動を待つのではなく自分たちから情報発信するものである。

2014年の医療法の改正によって、医療法第6条の2の3項に「国民の責務」が盛り込まれた。

「国民は、良質かつ適切な医療の効率的な提供に資するよう、医療提供施設相互間の機能の分担及び業務の提携の重要性についての理解を深め、医療提供施設の機能に応じ、医療に関する選択を適切に行い、医療を適切に受けるように務めなければならない。」

よって、国民が責任を負わされていることから、行政は国民のために、この条文に記載されている責務を果たすための必要かつ正確な情報提供を発信しなければならない。

## 長野県柔道整復師館憲章

1. 清潔で美しい柔道整復師会をつくります。
1. 人間性を尊重し、お互いに協力します。
1. 教養を深め、医療を研さんし、社会的信用を高めます。
1. 心身ともに健康で仕事に励みます。
1. 明るく心を豊に、融和団結します。

表紙「八ヶ岳、杣添尾根から富士を覗る」

柔道整復師とは

巻頭挨拶

- 2 高田保会長挨拶
- 3 酒井正彦副会長挨拶
- 4 安藤恒久副会長挨拶
- 5 柏木久明副会長挨拶
- 6 後藤茂之衆議院議員挨拶
- 7 宮下一郎衆議院議員挨拶
- 8 務台俊介衆議院議員挨拶
- 10 吉田博美参議院議員挨拶
- 11 小松裕前衆議院議員挨拶
- 12 木内均衆議院議員挨拶
- 13 若林健太前参議院議員挨拶

グラビア

- 14 第32回 四地区親睦交流

特集

- 17 定年退職のご挨拶
- 19 森泉哲次教授に感謝と敬意をこめて
- 24 森泉哲次先生を囲んで～村山会・森泉会合同退官祝賀会～
- 27 平成29年度解剖学講習会

レポート

- 29 第2回長野県柔道連盟理事会
- 30 第4回 IJゴルフコンペ (医師会と柔整師会)
- 31 「衆議院議員小松ゆたかを囲む会」の報告
- 32 自民党第三選挙区支部大会ふれあい祭開催
- 34 日本赤十字社長野県支部と(公社)長野県柔道整復師会との懇談会
- 35 平成29年度 北信越ブロック親睦ゴルフ大会
- 36 高田保会長就任記念式典
- 40 「長野びんずる」臨時救護活動の報告
- 43 長野県立こども病院へ寄付金 (ドクターカー)
- 44 安曇野市との防災協定締結と総合防災訓練
- 47 平成29年度 松本市医療救護訓練
- 49 第44回日整親善ゴルフ大会
- 50 第44回日整親善ゴルフ大会 井出啓男監事全国制覇
- 52 平成29年度スポーツ医科学サポート会議 主催：公益財団法人 長野県体育協会
- 53 松本市市制110周年記念事業第1回松本マラソン救護活動報告
- 56 第26回日整全国少年柔道大会
- 58 厚生労働大臣旗争奪第41回日整全国柔道大会 10月8日
- 60 日整全国柔道大会報告会(懇親会)及び合同練習
- 61 平成29年度 中信柔道整復接骨学会
- 64 第26回日本柔道整復接骨医学会を終えて
- 65 第22回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会
- 66 南信地区学術大会・学術講演会 (市民公開講座)

県事業報告

- 69 平成29年度新入会員研修会
- 71 第35回NJSゴルフコンペ開催 (中信地区)
- 74 平成29年度 日本赤十字社長野県支部合同災害救護訓練参加報告
- 76 平成29年度生涯学習講演会
- 77 平成29年度 生活習慣病予防健診
- 78 平成29年度ホストコンピューター定例打合せ
- 79 (公社)長野県柔道整復師会平成29年度保険講習会開催
- 80 平成29年度長野県柔道整復師会・健康保険組合連合会長野連合会懇談会

北信越ブロック報告

- 82 北信越ブロック理事会報告

スポーツ支援部の活動報告

- 85 救護・トレーナー派遣状況報告

介護予防事業報告

- 91 介護予防事業報告 (平成29年1月～6月)

地区だより

- 99 東信地区・北信地区・中信地区・南信地区

私的研究会の紹介

- 104 中信地区・南信地区

会員のひろば

- 109 東信地区・北信地区

街かどあれこれ

- 112 南信地区

新入会員紹介

- 114 北信地区・南信地区

部会報告

- 116 事業部・学術部・IT・広報部・スポーツ支援部

会務報告

- 126 新入会員・会員の異動
- 127 広告

編集後記

- 135
- 135 表紙写真説明





## 新年のごあいさつ

公益社団法人長野県柔道整復師会 会長 高田 保

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様が健やかに新しい年をお迎えになられましたことを心よりお喜び申し上げます。私は昨年5月の総会で本会会長に就任させていただき、本会及び業界の地位確立と発展に微力ながら努めてまいりました。今日までの皆様方のご支援とご協力に心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、本会は平成25年に公益社団法人に認定され4年半が経過しました。この度、定款施行細則に関して県庁法務課より外部の任意団体と位置付けた各地区と本会の整合性に関して助言を受けたことを真摯にとらえ、組織運営を見直すことにしました。今後は、外部に置いた地区を支部とし本会の中に取り込みたいと思いません。これにより公平な本会運営が適うはずで、円滑な移行を目指しますので、どうかご理解ください。

ところで、養成校カリキュラムの見直しにより、平成30年より施術所や病院などで行う学生の臨床（臨地）実習が4単位に引き上げられました。そこで、先生方の施術所で学生を受け入れていただきたいと思えます。それには指定施術所となるために二日間で16時間の受講が必要になります。1回50名程度のワークグループが生まれ、今年から全国で実施される予定ですが、長野県での実施は来年以降になる見込みです。学校協会と厚労省は、社団会員の施術所での受け入れを望んでいます。また、段階的ではありますが平成30年の新免許取得者から臨床現場で一定期間の実務経験と研修を積まなければ

施術管理者になることができなくなります。この度の改正で、養成学校の総単位数の引き上げ、臨床実習の拡大、医療画像の理解、介護予防、職業倫理の追加など大幅な変更が実現しました。また、柔整審査会の権限強化や不適正な広告への取り組み等、日整の制度改革に対する熱意を評価しています。

昨年10月の総選挙では当会顧問をご支援いただきありがとうございました。自民党のJファイル278に柔道整復師の活動の支援が以下のように明記されています。「柔道整復療養費制度のさらなる制度改革と卒後臨床研修の制度化を目指します。また、地域包括ケアシステムにおける柔道整復師の役割を確立させます。なお、日本伝統医療としての柔道整復術が未来永劫継承されるようその保護に努めます。」

業界の制度改革そして、法改正には政治の力をお借りしなくてはなりません。今年も政治に強い関心を持ち参画してまいります。

業界を取り巻く環境は年々厳しくなっています。そこで、会員の皆様には、日々学術技術の研鑽を積み、柔道整復術の振作高揚に努めていただくとともに、公益法人として地域社会への貢献をお願いする次第です。今年も「協調と進展」を念頭に置き職責を全うしてまいり存でございますので、ご支援ご協力をお願いいたします。

結びに皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。





## 新年の挨拶

公益社団法人長野県柔道整復師会 酒井 正彦  
副会長

新年、あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで清々しい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年、5月21日の当会通常総会において、高田新体制がスタートし、約半年が経過いたしました。私も長年携わった保険部から、総務に変わり不慣れではございますが、高田会長をはじめ、皆様のご指導を頂きながら会務がスムーズに実施されるよう努めてまいりまいますので、本年もよろしくお願いいたします。

当会も、公益法人に移管してから5年目を迎えました。この間、県の担当課による運営に関する調査も問題なくクリアしましたが、同課より昨年7月26日付で助言を頂いたことで、理事会において今後の会のあり方について検討を進め、その議論の最終決定をするために平成29年11月30日に開催しました。

議論の中心は、現在、本会とは別の任意団体となっていた各地区の柔道整復師会の位置づけでした。つまり、今後、公益社団法人として活動して行くには、現状のままが良いのか、それとも本会の支部（内部組織）とした方が良いのかという議論でした。

理事会で時間をかけ、熟慮した結果、将来的に支部（内部組織）とした方が良いとの結論に至りましたので、今後必要な改正の手続きを行ってまいります。

これにより、会の運営として会計処理が一部変わることにありますが、会員の皆様の公益活

動については、殆ど変えることはないと思いますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

長い歴史をもつ我々柔道整復師は、これまで幾多の苦難を乗り越え現在に至っております。近年では、昭和63年の個人契約者にも受領委任払いが認められたこと。厚生省（当時）の行政指導により制限されていた柔道整復師養成施設の開校が撤廃されたこと。この二つの大きな出来事により過当競争が激化し、様々な問題が生じるようになりました。その一つが広告問題です。

国家資格である我々柔道整復師は、医師同様広告の制限が課せられているのに、なぜ個人契約者により違法広告が放置されているのか。それは、広告問題を所管する保健所に、指導権限はあっても、法的措置がとれる指導権限が与えられていないことではないかとの結論に至りました。つまり、法律はあるのに取り締まる機関が無いという事になります。したがって、昨年11月8日、立法府である政治機関に、保健所に違法広告に対し法的措置がとれる権限を与えていただきたい旨の要望書を提出いたしました。

この様な、活動を通じ、柔道整復師という素晴らしい職業を今まで以上に社会から認知していただけるよう、役員一丸となり努力してまいりますので、会員の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げますと共に、閉塞感が漂う近年ではありますが、本年は、明るさを忘れず頑張っ参りましよう。

本年もよろしくお願いいたします。



## 年頭のご挨拶

公益社団法人長野県柔道整復師会  
副会長 安藤 恒久

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様、御家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年5月の総会におきまして、会員のご支援をいただき副会長の重責を再度務めさせて頂くことになりました。

日頃より会員皆様におかれましては、会務の運営にご理解とご支援を賜り心より深く感謝申し上げます。

高田新会長の「協調と進展」のスローガンのもと役員が一丸となり、会員皆様の建設的なご意見ご協力をいただきながら取り組んで参りたいと思います。

今、柔道整復師を取り巻く環境は大きく変化しています。高齢化社会の進展に伴って医療費などの社会保障費が増大しており、柔整療養費に於いても適正化が求められています。保険者によっては適正化ではなく受療抑制ともいえる患者への行き過ぎた調査等が行なわれておりま

す。

国民医療の一端を担う柔道整復師として、信用・信頼されるよう邁進していきたいと思えます。

本年も事業部の担当を拝命され新部員とともに、公益・共益事業において柔道整復師として活躍できる場を確実に拡大していきます。

日本赤十字社との関係も順調に構築でき、柔道整復師としての職能をご理解いただき防災活動等研修をしております。

介護予防事業改訂版3版が完成致し、会員の皆様に配布されました。素晴らしい冊子は機能訓練指導員である柔道整復師として、高齢者の自立支援のための転倒予防教室、施術所等で活用していただき、職域の幅を広めていただきたいと思います。

今年一年が皆様方にとって、ご健勝で飛躍する年でありますようご祈念申し上げます、新春のご挨拶といたします。



## 新年のご挨拶・雑感

公益社団法人長野県柔道整復師会  
副会長 柏木 久明

新年あけましておめでとうございます。本年も皆様にとって良い年でありますように御祈念申し上げます。

昨年の役員改選に伴い（公社）長野県柔道整復師会の副会長・保険部長を拝命いたしました。日頃のご厚情に感謝申し上げます。

平成29年度より本会の一部組織改革により介護事業が事業部より保険部に移行され日整と同様な組織構成となり県保険部の介護班という位置づけとなりました。介護班長として南信の伊藤睦会員に就任していただきました。介護事業関係では昨年末には冊子「介護予防事業改訂第3版」を皆様のお手元にお届けしました。非常に価値ある一冊で充分ご活用頂きたいと思えます。（このマニュアル本の作成は旧介護委員会の皆様のご尽力によって作成されました。）

さて、近年我が国は各地で自然災害に見舞われ不自由な生活を余儀なくされ新年を迎えた方が大勢おられます。天災列島日本で平穏な新年を迎えることができたという事は幸運なことです。天災に備え政府自由民主党の幹部は国土強靱政策なるものを押し進めているようですが、昔から政治政策の基本、治水・治水からすれば当たり前のことと思われまます。国際情勢では昨年来、隣国北朝鮮のミサイル発射問題で日本は翻弄されて解決はいつになることやら……このように我々の身の回りでは不測の事態はいつでも起きるといふ事です。

わが業界でも同様、不測の事態への備えはおろそかにはできません。

近年、特に業界内の利益至上主義的な勢力が台頭し諸問題が惹起されています。（紙面の都

合上事細かな多数の事例は割愛させていただきます。）

これが不測の事態？むしろ予測の事態の範囲と考えたほうが正しいかも知れませんが、いずれにしても悪影響の一例として、前述のような勢力が結果的に生み出してしまったような公的審査会軽視としか思わざるをえない嫌がらせ行為としか思えないような執拗な調査をする大迷惑な民間保険（レセプト）調査会社の台頭、果して会社という利益目的な組織で公正な目線で判断ができるのか？どんな人がどんな資格、スキルで調査、判断をしているのか？不可解な事例であります。

（※保険者の不支給等の決定の最終判断は組織の最高責任者・理事長等です。）

この様な民間保険調査会社の諸問題の対応は日整レベルでとお願いしております。行政レベルではすでにご案内通り漸くではありますが29年10月より公的審査会の権限強化という事で不適切なるレセプト請求の抑止力を強化しております。

一部の柔道整復師・施術者の行為によって最終的に受療者・国民の権利である受領委任の取り扱い制度に悪影響を及ぼすことは絶対に許されないことであります。大げさな話しとも思われるでしょうが悪貨が良貨を駆逐するという事態にならぬよう保険部としてサバイバル化してしまった我が業界で悪影響を及ぼす可能性のある事例は注視、或いは抑止し会員の皆様の健全なる諸利益確保、国民福祉の向上に尽力したいと思います。本年も倍旧のご指導、ご協力をよろしく願います。





## 年頭のごあいさつ

衆議院議員 後藤 茂之

長野県柔道整復師会の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日本経済は緩やかな回復基調が続いておりますが、長野県をはじめとする地方、全国津々浦々にまで景気回復の実感が得られるよう、さらにしっかりと着実に景気回復の政策を進めてまいります。

昨年10月の衆議院総選挙では大変にお世話になり、お陰様をもちまして6期目の当選を果たすことができました。皆様方から頂戴いたしました絶大なご支援に心から感謝申し上げます。

総選挙は、安倍内閣や自民党に対する厳しい目の中で行われました。今後、国民の政治への信頼を回復するため真摯な説明責任や丁寧な議論に努め、原点に立ち返って襟を正して政治運営に当たっていく謙虚な姿勢が重要と考えます。

6期目の重責を担うにあたり、責任ある政策の実現に全力を尽くしてまいり所存です。昨年来、自ら人生100年時代特命委員会幹事長として取り組んできた人づくり革命、政調副会長として取り組んできた財政改革・経済再生戦略、第5期科学技術基本計画委員長・イノベーション活性化小委員長として取り組んできた生産性革命、税調インナー幹事として取り組んできた

税制改革など引き続き全力で取り組んでおります。

特に、社会保障特命委員会事務局長として取り組んできております社会保障制度改革は喫緊の課題であり、国民生活に密着した医療・介護・福祉・年金・雇用・少子化対策等といった分野の改革に力を尽くしてまいります。また、再任された衆議院厚生労働委員会理事として山積する厚生労働分野の諸課題の解決を図ってまいります。

柔道整復師会の先生方には、終始一貫して力強いご支援をたまわり、自民党を支えていただいておりますこと、心より感謝申し上げます。このご厚恩に応えるためにもさらに緊張感をもって政権運営にあたってまいります。

医療・福祉の第一線でご活躍されております先生方がさらに働きやすい環境整備を進めるために、柔道整復師の先生方や患者様のニーズに対応した制度問題や環境改善にしっかりと取り組ませていただきます。

最後となりましたが、高田会長を中心に本年も長野県柔道整復師会がますますご活躍され、会員の先生方にとって今年一年が実り多き年になりますようお願い申し上げます、年頭に当たってのあいさつといたします。



## 年頭のご挨拶

衆議院議員 宮下 一郎

長野県柔道整復師会の先生方には、素晴らしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。日頃より、温かいご指導・ご支援を頂いておりますことに対し、心より御礼を申し上げます。特に、先生方が自民党に対して、一貫して力強いご支援を頂いておりますことに対し、深く感謝をしております。

昨年は、衆議院予算委員会理事、衆議院財務金融委員会理事、自民党政務調査会副会長（経済産業担当）、党の「中山間地農業を元気にする委員会」の委員長などの立場で充実した活動を行うことが出来ました。また、10月の総選挙におきましては、多くの皆様からご支援を頂き、お陰様で5期目の当選を果たすことが出来ました。選挙において、与党で安定多数の議席を頂いたのも、大変ありがたいことでした。私は「皆様のご期待にお応えできるよう、さらに頑張ろう」と決意を新たにしているところです。

選挙戦を通じて、北朝鮮の核・ミサイル開発等の安全保障問題への対応や、少子高齢化による人口減少への対応の重要性を訴えましたが、特に、人口減少を乗り越えて、増加する年金・医療・介護・子育て支援などの社会保障に必要な財源を確保するためには、ものづくり企業だけでなく、農業やサービス産業など、各産業において新しい技術を取り入れて生産性を向上させること、地方で学び、働く人を増やすことにより、明治維新以来150年にわたって続いている東京一極集中を是正すること、都市と地方、地方同士の交流人口増加や海外観光客の受け入

れに積極的に取り組み、地域経済の底上げを図ることが必要だと考えます。

年末には、こうした視点も取り入れ、生産性革命、ひとづくり革命、働き方改革、地方創生、社会保障改革、国土強靱化などを柱とする平成30年度の税制改正と予算編成が行われました。なお、診療報酬の改定においては、薬価の引き下げにより全体ではマイナスとなりましたが、本体部分では前回改定を上回るプラス改定となりました。

私は、予算や税制改正を通常国会で早期に成立させるため、予算委員会の理事としてもしっかり取り組んでいく覚悟です。

その上で、企業収益が賃上げや設備投資に向かうよう、そして取引条件の改善により下請企業や取引先業に大企業の利益が行き渡るよう、中小企業の支援を行うとともに、大きな転換期を迎えている農業の支援にもしっかり取り組んでまいります。さらに、道路整備や治山・治水・砂防事業などの社会資本整備を推進することにも努力してまいります。

同時に、健康長寿の長野県を支えて頂いている長野県柔道整復師会の先生方がさらにご活躍いただけるような環境整備を進めるため、制度問題などにも取り組んでまいります。先生方には、一層のご指導をよろしくお願い申し上げます。

結びに、先生方の益々のご活躍と長野県柔道整復師会のご発展をお祈りするとともに、今年が素晴らしい一年となることを心から願い、年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。



## 年頭のご挨拶

衆議院議員 務台 俊介

先の特別国会で総選挙後初めての衆議院憲法審査会の議論が再開しました。

今回、希望が叶い憲法審査会の委員に復帰すると同時に自民党憲法改正推進本部の幹事も拝命しました。

衆議院議員である以上、憲法改正の行方についてはかねてから大きな関心を有しておりましたが、国会や党の場においてこの重要テーマの議論に参加させていただけることは非常な名誉であるとともに、責任の重さを感じています。

我が国においてはこれまで国民が直接憲法について投票を通じて意思表示したことはありませんでした。憲法改正は最終的には主権者たる国民の投票によってその成否が決せられるテーマですが、制定時を含めこれまで一度も国民の投票が行われたことはありませんでした。

今回は、初めて国民の意思を初めて問うことを目指す議論が始まるのです。

国会は国民の意思を問う提案である発議を行うことになるのですが、発議した結果、国民投票で否決されることにならないようにしていかなくてはなりません。単に国会で多数派が形成できればいいというのではなく、最終的に国民の過半の支持を得ることができるような環境を丁寧に整えていくことが何としても必要です。

国会議員の選挙は、我が国の選挙制度の仕組みもあり、相対多数で当選者が選ばれるものです。それに対して国民投票は絶対多数が求めら

れます。

国会議員の多数と憲法改正に寄せる国民の意思表示とは制度的にずれが生じることから、この点についての理解をしっかりとっておかなければなりません。

11月30日に開催された衆議院憲法審査会では、欧州諸国を視察した議員団からの報告を受けた自由質疑が行われました。英国のEU離脱の是非を問う国民投票、イタリアの上院改革の是非を問う憲法改正のための国民投票の双方とも、結果的に時の政権党の思惑と逆の結果に終わったことについての分析や意見交換がおこなわれました。

欧州調査で得られた教訓は、国民投票は、それが問う内容の如何よりも、時の政権に対する信任の是非を反映しやすいということでした。国民投票に問うテーマの問い方も大きな影響があるとの認識もあるようです。

言うまでもなく憲法は長く将来にわたり国の方向性を規定する最高法規です。であるからこそ、憲法議論に関しては、できるだけ時の政治状況や政局の影響を受けない形で国民が冷静に判断できる環境をつくり、国民の皆様に公平で公正な情報を提供し、国民の皆様に深く学習をして頂いた上で判断して頂く努力をしていくことが不可欠であると、改めて痛感した次第です。デリバラティブ・ポールという概念がありますが、一般の有権者の皆様に正確な情報が理解され、争点の賛否について熟議の結果が共有



されなければならない環境が、今回ほど求められる局面はないかと思われます。

私自身の選挙区においても、衆議院憲法審査会での議論、自民党憲法改正本部での議論を紹介しつつ、できるだけ多くの機会を作り有権者

の皆様と憲法討議を行い、有権者の皆様の意識に接することとし、その上で国会での憲法改正議論にしっかりと関与していきたいと、肝に銘じたところです。柔整師会の皆様ともいずれ憲法論議を交換させていただきたいと考えています。



## 新春のご挨拶

参議院議員 吉田 博美

あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、長野県柔道整復師会の皆様方に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年の国会では、私たちの生活や、我が国のあり方に関係する重要法案が審議されました。また、大きなうねりを感じる国政選挙・地方選挙もあり、皆様方におかれましても、大変なご支援を賜りました。

私も参議院自民党幹事長として、様々な立場の方々とは意見を交わしながら、謙虚で丁寧な政権運営、そして選挙対策に邁進してまいりました。

さて、昨年末には予算が閣議決定され、今月からスタートする通常国会に提出され、審議していく運びとなっております。

「人口減少」と「少子高齢化」にどう対応していくか。また、「経済再生」と「財政健全化」をどう両立していくか。毎年とは言え、社会保障費が高齢化によって過去最大に増えたことも話題となっております。

これらに対応するため、私たちは特に力を入れる2つの政策パッケージをまとめました。

1つ目は、教育や保育や介護などの「人づくり」に重点的に予算を投入し、全世代型の社会保障制度を構築することです。

そして2つ目は、大企業から中小企業、そして先端科学などに予算や税制・規制改革等の施策を重点的に行うこととし、「生産性向上」を目標にしました。

「外交・防衛分野」や「地方創生」などの重要政策も、もちろん継続・発展させていきます。

こうした施策をしっかりと掲げ、かつ、進捗や時代の変化などに合わせて追加対策を柔軟に

打っていくことで、自律的かつ持続的な社会を創ることができ、それが、人口減少や少子高齢化を食い止め、経済も再生していける唯一の方法であると考えます。

重く構造的な課題にまっすぐに向き合って対応していく事は、政権与党としての大きな責務です。

この会報をお読みの方はよくご存じと思いますが、近年は寿命がただ長くなれば良いという考えではなく、「健康寿命」という言葉が重要視されております。

まさに、先に書きました政策を、国民の健康という一番根本的なところを支えて下さるのが、柔道整復師の先生方なのであると、私は考えます。

また、スポーツや介護・福祉などでも大きな役割を担い、またその範囲はますます広がりを見せ、それに応じて、先生方のスキルも他分野のものも取り入れられて、施術をより進化させ、多層的なものになっているように感じます。

加えて、我が国で開催のオリンピック・パラリンピックが近づき、国民的なスポーツへの関心・期待も高まる中、先生方のますますのご活躍が期待されております。

我々も国会議員として、現場の先生や患者さん本位の制度を、ご意見や要望をお聞きしながら整えて参りたいと考えております。

引き続きのご指導、ご鞭撻を宜しく申し上げます。

結びに、本年が素晴らしい一年になることを心よりお祈り申し上げます、私の新年のご挨拶とさせていただきます。



## ゼロからの挑戦！

前衆議院議員 小松 裕

新年明けましておめでとうございます。新しい年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の衆議院議員選挙におきましては、長野県柔道整復師会の皆様から多大なご支援をいただきましたことにあらためて御礼申し上げます。多くの方々にお力をいただきながら議席を失う結果となったことを重く受け止め、捲土重来を期して活動を再開しています。

衆院選から約1ヶ月後の11月18日には北信柔道整復師会の皆様と「ふるさと対話集会」を開催させていただきました。当日は自民党厚生労働部会長の橋本岳衆議院議員を講師にお迎えし、柔整レセプト点検をはじめさまざまな課題について会員の皆様と活発な議論をさせていただきました。また長野一区からの国政復帰にも熱いエールをいただき、大変感謝致しております。

5年前の公募で、小坂憲次先生の後任として国会に送り出させていただきました。国会議員として初当選から一貫して所属した厚生労働委員会をはじめ、医療、福祉、介護、教育、スポーツ、障がい者支援、女性の健康といった分野では、様々な役割を与えていただき、政策立案に取り組んできました。

これからも自分の足で一人でも多くの方とお会いし、様々なご意見をお聞きしながら、小松

ゆたかの思いや信念をご理解いただけるよう、また私を政治家として育てていただいた北信の皆様のご恩に報いることができるよう、地道に活動してまいります。

少子高齢化が進み、人口が減少する中で、我が国の医療を取り巻く環境は医療技術の高度化、医療サービスの多様化など大きく変化しています。医療に対する安心と安全を確保しながら、質の高い医療サービスを安定的に提供し、誰もが安心して暮らすことのできる社会を構築していかなければなりません。

地域包括ケアシステムでは、柔道整復師は地域医療を担う部分医療従事者だけでなく、介護予防支援や生活支援サービスや地域支援事業の担い手として、さらには介護保険サービスにおける機能訓練指導員や認知症の初期支援においてもその活躍が期待されています。柔道整復師の皆様のが、必要なのです。

柔道整復師の技術や知識は、今後ますます社会から必要とされていくものと思われます。長野県柔道整復師会の皆様と力を合わせて、柔道整復師がより一層活躍できる環境づくりに取り組み、一緒に「健康長寿長野」を発信して、長野の活性化につなげてまいります。

結びに本年が長野県柔道整復師会の皆様にとって素晴らしい一年となることを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。





## 新春のご挨拶

前衆議院議員 木内 均

明けましておめでとうございます。長野県柔道整復師会の先生方におかれましては、新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年10月22日（日）に投開票となりました衆議院議員選挙では、すべての先生方の絶大なるご支援を賜りながらも私の力量不足のため、議席を維持することが出来ませんでした。改めて深くお詫び申し上げます。総選挙後の挨拶回りや事務所の整理等で年末まで慌ただしく活動して参りましたが、今年からは時間も十分に出来ますので、先生方をはじめ地域の皆様とゆっくり懇談をしながら地域の発展について深く考え、そして、地道な活動を継続して参ります。引き続きのご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

ところで、平成30年の干支は、“戊戌（つちのえいぬ・ほじゅつ）”です。

昨年の干支は、“丁酉（ひのととり・ていゆう）”でした。発生や成長が頂点（ピーク）を越えて、次なる局面（フェーズ）へ移行していく、あるいは革命への岐路にあたっていました。また、内側ではあらゆる機が熟すことが示唆される年でした。

今年は、そこからの紛糾を示唆し、果断を要求する“戊戌（つちのえいぬ・ほじゅつ）”を迎えます。

物事の成長で見ると、ちょうど幹・根の部分の発展が中間を迎えたというのが、“戊”です。これまでに蓄えてきたエネルギーや機運、あらゆるものが茂りを迎えていくことを示唆しています。

“戊”は、干の“戊”に非常に似ていますが、中に陽気の「一」が蔵されています。枝葉末節が茂っていくことを示唆する点は共通していますが、思い切って裁成し、この陽気を生かしていくことが肝要です。戊の年であれば、まだ維新・一新していくことが可能です。

従って、“戊戌”の年は、「果断を以って、陽気で維新・一新すべき年」と言うこととなります。（\*干支に関する部分は、『干支の活学』[安岡正篤]を参考にしました）

私も再出発を期して参りますが、長野県柔道整復師会におかれましては、高田保会長先生を先頭にのしつゝの益々のご隆盛、そして、会員の先生方の益々のご活躍を祈念いたします。以上、初春のご挨拶とさせていただきます。



## 年頭のご挨拶

前参議院議員 若林 健太

明けましておめでとうございます。皆様には、新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。日頃より、先生方には長野県民の健康な生活を向上させるため大いにご貢献されていることに敬意を表します。また、自由民主党職域支部の中でも、常に先頭に立って支援をして頂いています事、心から感謝申し上げます。昨年の総選挙でも県内5選挙区で大きなご支援を頂きましたが、全国的には与党大勝という中で、2勝3敗と負け越してしまいました。責任の一端を痛感し、お詫び申し上げます。長野県自民党立て直しのため粉骨砕身取り組んで参りますので、今後ともご指導の程、宜しく願い申し上げます。

トランプ大統領のアメリカファーストを掲げた通商外交政策が姿を現し、今までの常識を覆すような事態が各地で発生しています。パリ協定、TPPからの離脱、NAFATA見直しが現実のものとなり、エルサレムへの大使館移転問題によって中東地域が不安定化しています。英国のEU離脱も2019年3月期限に向けて具体的な交渉が進みます。こうした世界の動きをみると、人種や宗教によって、幾つかの文明圏に分かれ闘ぎ合う「文明の衝突」へ、その姿が目の前に現れようとしているように見えます。

我が国を取り巻く外交防衛環境も厳しさを増しています。南シナ海など海洋進出の意欲を隠さない中国。国際社会の制止を無視してミサイル開発を続ける北朝鮮。日米同盟を基軸としながら、多くの国との協調を維持し対処していかなくてはなりません。圧力と対話のバランスを保ちながら徹底した外交努力を行っていかなく

てはならず、政治の決断と覚悟が問われています。

AIやIOTによる第四次産業革命は、広い産業分野に影響が及んできており、従来のビジネスモデルを根本から変えていこうとしています。メガバンクが大量に人員整理を始め、ついにはトヨタ自動車もEVへ本格的に取り組む等、地殻変動ともいふべき変化の波が近づいています。自動車産業は日本経済の基幹産業として、部品など裾野の広い産業群を抱え引っ張ってきただけに、産業構造そのものを変える大きな変革が予想されます。内外とも大きな変革の時代を迎える今だからこそ、変わるべきものと変えてはならぬものを見極める事が大事です。不易流行を改めて自らに言い聞かせたいと思います。

柔道整復師会でも、急増する柔道整復師、経験不足で開業するため発生するトラブルや未入会の施術所問題、業界としての質の維持など、取り巻く課題が山積しています。世界の歴史が変わり、日本も柔道整復師会も様々な課題を抱える中で、政治の果たす役割は重要です。

残念ながら、この大事な時に議席を失っており、お役に立てない事が悔しくてなりません。七転八起。柔道整復師会の先生方には、現在の厳しい時も変わらぬご支援を頂いている事に涙が出るほど嬉しく思い、頂いたご恩に報いていくべく頑張ってお参ります。

平素の恩情に心から御礼申し上げます、皆様の今年一年のご活躍、健やかな年となりますようにご祈念申し上げます、新春のご挨拶とさせていただきます。

## 第32回 四地区親睦交流

東信地区事業部長 小林 毅

平成29年8月27日（日）、東信地区事業部は大勢がゆったりと収容できることを第一のコンセプトとして、上田城のふもと上田高砂殿にて第32回四地区親睦交流会が開催されました。

当日は好天に恵まれ、北信地区36名、中信地区33名、南信地区36名の会員と事務局員4名にお越し頂き、またお迎えする東信地区からは48名が参加しました。今回は温泉等の設備をご用意できなかった為、競技も泥まみれ、汗まみれにならないコースを検討いたしました。開会式時点では、南信地区のバスが遅れ到着されていませんでしたが、無事競技開始時刻には間に合い、以下の通り4コースに分かれて競技を楽しんで頂きました。

- \*Aコース：別所線で行く信州の鎌倉コース
- \*Bコース：上田城址公園コース
- \*Cコース：サントミュージゼ美術館と北國街道 柳町コース
- \*Dコース：ボーリングコース

競技終了後、高砂殿 瑞松の間にて親睦会を行いました。

高田本会会長の挨拶、石坂東信地区長の歓迎挨拶、内山前本会会長の乾杯のご発声にてスタートした親睦会はかなり盛りだくさんだったと思います。ジャズバンド演奏あり、ビンゴ大会

あり。

特にビンゴ大会の景品は有名ブランドを選びすぐり、一度に持ち帰れずに再度軽井沢に行っただけです。皆様には、気に入って頂けたでしょうか？

最終順位を発表した際には、4競技終了時点では、1位中信、2位は何と北信、東信、南信が同点で並んでいましたが、ビンゴ大会の当選先着4名様のご所属地区に得点を割り振った結果、1位南信、2位中信、3位北信、4位東信となり、見事南信地区が2年振りにトップの座に返り咲きました。

最後は次期開催地区の保尊中信地区長の挨拶、万歳三唱、最後に持参した自前の拍子木を使い皆様のお手を拝借し、三本締めをさせて頂き盛会のうちに閉会しました。

実はジャズバンド演奏の際、「音が大きすぎて話が聞こえない」といったご意見を頂いていました。ゆっくりとご歓談頂く時間を取れなかったのは反省すべき点であり、次回への教訓としたところですが、これも偏に東信地区一同のおもてなしの表れ、とご理解頂ければ幸いと存じます。

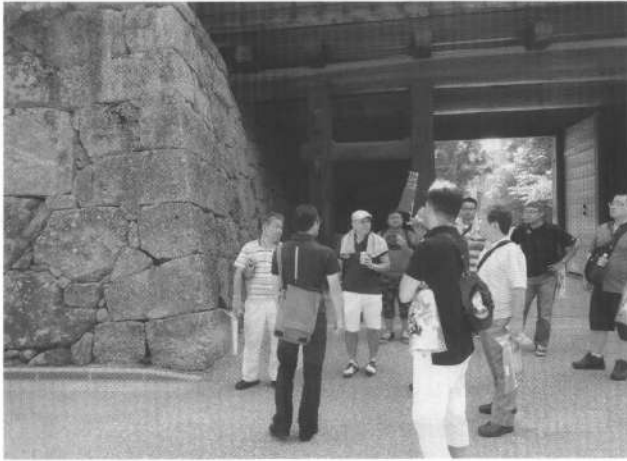
ご参加下さった先生方には改めて感謝申し上げます。有難うございました。また来年の四地区親睦交流会を楽しみに待ちたいと思います。



Aコース電車内



Aコース生島足島神社



Bコース上田城.1



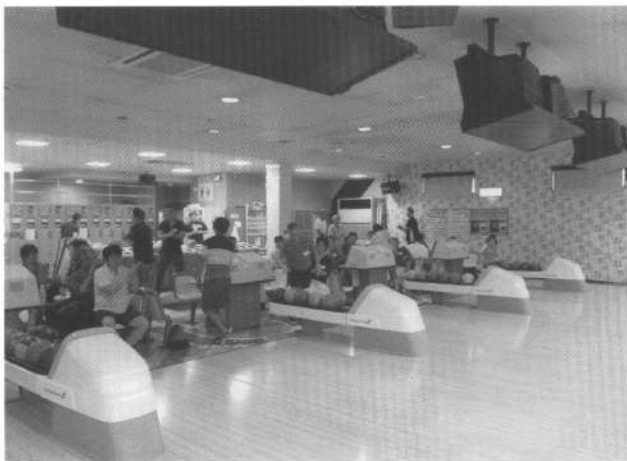
Bコース上田城.2



Cコースサントミュージゼ



Cコース柳町



Dコースボーリング1



Dコースボーリング2





ピンゴ大会



東信地区長挨拶



1位南信地区



各地区挨拶



開催地区挨拶



親睦会会場



## 定年退職のご挨拶

信州大学医学部 名誉教授・特任教授 森泉 哲次

平成29年3月末に信州大学を定年退職いたしました。平成6年5月に金沢大学から信州大学へ赴任いたしましたので、信州大学には約22年間奉職いたしました。第二解剖学教室の前任の志水教授が長野県柔道整復師会から依頼を受けて、信州大学医学部で解剖学講習会を毎年開催しておりましたので、私は翌年からそのまま引き継いで、今日に至っております。その間、医学部の耐震改修工事がありました年には一度中止せざるをえませんでした。定年後の平成29年も講習会は開催いたしましたので、21年間になるかと思えます。

柔道整復師の皆さんには整形外科が何と云っても密接に関係した医学の分野ですので、特別講演の多くは、整形外科の先生方をお願いいたしました。名誉教授の寺山先生を初めとして、現在の整形外科の教授であります加藤先生、准教授をされていた内山先生、最近准教授になられた高橋先生や講師になられた天正先生にも、また当時整形外科学教室に在籍していました磯部先生や伊坪先生など多くの整形外科の先生方に、それぞれのご専門分野での特別講演をしていただきました。大学以外では、依田窪病院長の三澤先生にも、また忘れられないのは肩関節疾患でご高名な信原病院長の信原先生に信州にお越しいただき、いつもの医学部講義室でご講演していただいたのは、とても懐かしく思い出されます。信大の整形外科の若い先生方も多数拝聴しておりましたので、講義室は人で溢れ立ち見が出るほどの盛況だったことを思い出します。信原先生にご薫陶を受け、長野県の肩関節疾患の第一人者であります安曇総合病院長の畑先生には、幾度もご講演をお願いしました。その他、脳神経外科教授の本郷先生、歯科口腔外

科教授の倉科先生、救急救命科准教授の奥寺先生など、整形外科以外の信州大学の教授・准教授の先生方にも特別講演をお願いしました。講演を聞かれた柔道整復師の皆さんが、患者さんについての相談や紹介依頼などを講師の先生方に行っているのを耳にしますと、講習会が一つの橋渡しとして機能していることが実感できまして、私としては大きな喜びでした。

解剖実習に関しましては、全身の筋・腱・靭帯・関節など運動器を中心に、多数の人体標本を準備し、本物から直接学べるように掛川先生と準備しました。その他、全身の皮神経を剖出した人体標本を作成したり、近年進歩の著しい画像診断に対応させる目的で横断解剖の人体標本を作成したり、腹部内臓の複雑な発生過程を理解するために腹膜模型と人体腹膜標本も作成しました。また、骨・中枢神経・髄膜の関係を理解するために、脳と脊髄の剖出を実際に実習の中で経験してもらいました。実習のはじめと終わりに、参加者全員で黙祷をささげ、貴重な人体標本をご提供くださったご献体者への感謝の気持ちを常に忘れずに実習に参加していた皆さんの真摯な態度があったからこそ、今日まで続いてきたのかと思っております。

先月の解剖学講習会は、“信大での神経研究22年”並びに“信大での解剖学教育22年”と題した私の退職記念講演と“記憶と脳”の教育講演をさせて頂き、信大での教育研究活動を締めくくることができまして、思い出に残る1日になりました。

長野県柔道整復師会機関誌の“広報 ほねつぎ”を見ますと、柔道整復師の皆さんが、信州の各地で地域社会に密着して、様々な意義ある活動をされていることがよくわかります。どう

か一人一人が地域社会で尊敬される医療人になるとの自覚を持ちながら、日々の診療に励んで頂きたいと思っております。最後に、長野県柔

道整復師会のご発展を祈念しまして、私の退職の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



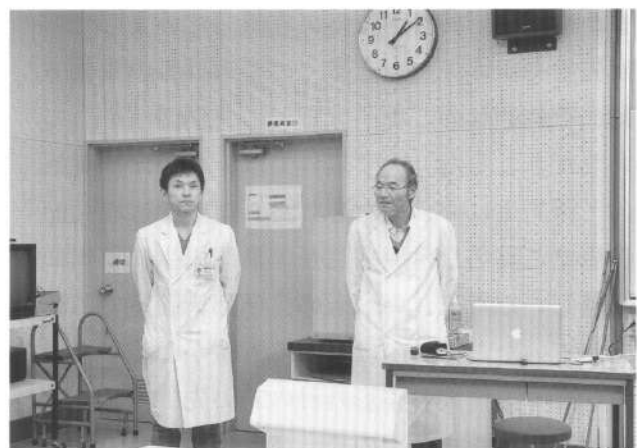
講義用スライド



公演風景



掛川晃公演



公演者紹介

## 森泉哲次教授に感謝と敬意をこめて

学術部長 西條 賢治

信州大学医学部解剖学実習・講義は、昭和57年10月に村山内科医院・村山繁光院長から当時の信州大学医学部第二解剖学教室の志水義房教授をご紹介していただき、私的研究会「村山会」が発足したことから始まっています。

(公社)長野県柔道整復師会に残る資料によると、平成元年から各地区の参加者を受け入れていただくようになり、平成3年3月17日より長野県全体で参加を認められ、第一回解剖学講習会として開催され現在に至っています。

志水義房教授が平成7年5月にお亡くなりになられ、前年の平成6年5月1日より赴任されていた森泉哲次教授に引き継いでいただき、平成7年10月23日の第6回解剖学講習会より講義をお願いしているわけであり、森泉哲次教授におかれましては昨年、平成29年3月31日をもって信州大学を定年退職されました。信州大学における献体制度・医学教育・医学環境の改善に大変にご尽力をなされた教授であり、改めて基礎医学に対する熱い情熱に触れ敬意を表すものです。その足跡について、信州大学こまき会報第38号(平成29年7月発行)に、「退職にあたって」と題して森泉先生の信州大学での22年間の振り返った手記が掲載されていたので、参考にして振り返ってみました。

森泉哲次先生は、金沢大学医学部に臨床医を目指し入学したのですが、基礎医学の研究者へ進むようになった契機は、肉眼解剖学の山田到知先生との出会いだっただけです。当時金沢大学医学部の解剖実習は、丁寧で時間をかけてしっかりと細やかな神経・血管を剖出して、何枚もスケッチさせるという質の高い実習を実施していることで全国的に知られていました。そんな中で山田先生は、献体に関する法律『医学及

び歯学の教育のための献体に関する法律(いわゆる献体法)』の提起者で、医学系出身の当時の国会議員に働きかけて精神立法といわれる献体法の法制化に尽くされた方で、当時授業は全てラテン語だったそうです。その習慣により未だに解剖学名はラテン語名が先に出て日本語名に翻訳し直すことが少なくないとのこと。そして、先生に授業の中で「クロード・ベルナールの実験医学序説」を強く薦められ、それを読んでみると基礎医学研究者への方向が、次第に強くなり研究者の道を歩むこととなったそうです。信州大学に赴任する前の金沢大学では、解剖学教室が三つあり、先生は第三解剖学教室で解剖学の中では、脳実習だけを担当していたのですが信州大学に赴任して、全身に及ぶ肉眼解剖学をしっかりと教えなくてはならず大変に忙しく、自分の研究を後回しにして半年間は解剖学教育だけに専念していたのが今では大変懐かしい思い出であり、そのため夏休みも含め殆どの時間を解剖実習室で過ごしていたそうです。

そして、そんな忙しい中、信州大学に赴任して一年目にして献体業務の改革を行うとともにその後、解剖学実習室で問題になっていた「ホルムアルデヒド濃度を低減化させる取り組み」についても改革をしておられ、信州大学医学部の教育環境の改善のために多大な貢献をしておられます。

まず献体業務についてですが、赴任当時の信州大学は国立大学の中で最も一つの解剖学教室に献体業務の負担が掛かっていた大学かと思われ、故志水義房名誉教授を入院中の病室に訪ねた時、長時間にわたり色々な事柄についてご教授くださったのですが、信州大学の事情が全く



分からない森泉先生に一つだけ依頼されたのが解剖体収集業務に関して「献体業務で教室員が疲れきっているから、なんとかして欲しい」ということであったそうです。ご遺体の引き取りには休日を含めて教室員（当時の技官と教官）が同行し、解剖実習の最中でも教室員が引き取りに行っていました。さらに、ご遺骨の返還も教室員が数か月かけて、県内外のご遺族に大学の車でお届けしており、そこで教授会でその旨の発言をして、献体業務の大幅な改革を目的とした遺体収集検討委員会が発足し、献体業務が大きく変わり教室員の負担が減り、本来の解剖学教育に専念できるようになったのです。

もう一つのホルムアルデヒドの問題は、日本の大学医学部の解剖学実習を担当している全教員を悩まし続けたのですが、平成20年2月、文部科学省高等教育局医学教育課より「労働安全衛生施行令の一部を改正する政令の施行について」との内容で、医学部・歯学部の国立大学事務局長宛てに、各大学における対応状況の調査があり、森泉先生が信州大学の現状を回答したそうです。そして大橋医学部長に相談し、学長に説明、早急な対策をお願いし、平成20年4月3日付け、小宮山信州大学学長宛てに手紙を送ったそうです。

その訴えは、「本学の解剖実習中のホルムアルデヒド濃度は、昨年度0.6ppmで、過去3年間は、0.2～0.7ppmで、新基準（0.1ppm以下）を大きく上回っております。本学の解剖実習室は全体換気で行っており、この全体換気方法では、0.2ppm以下を達成することは不可能であります。労働安全衛生法の一部改正する政令施行に伴い、局所排気装置またはプッシュプル型排気装置の設置が義務付けられており、新しい排気システムを導入する必要があります。他大学の調査・視察を行いました。その結果、現在既に新基準を達成している大学は、産業医科大学と山口大学の二大学で、何れも局所排気装置を導入しております。実習中のホルムアルデヒド濃度が、0.1ppm以下の新基準を達成してい

る実績に加えて、費用が最も安く、さらにランニングコストが不要であるという大きな利点があります。ホルムアルデヒド暴露低減対応局所排気型解剖台の導入とそれに伴う排気システム工事が必要な処置となります。ホルムアルデヒドによる学生の健康被害を防止する観点から本学でも早急な対策をお願い申し上げます。」ぎりぎりの3月末の年度内にホルムアルデヒド濃度低減化対応解剖実習台が30台導入され、配管工事も終了、平成21年4月からの人体解剖学実習を開始することができ、5月8日新実習台のもとで開始された室内ホルムアルデヒド濃度が計測不能（0.1ppm以下）という結果がえられ、3年間の努力が実ったのです。そのおかげで、毎年の我々の解剖学実習も以前のようなホルムアルデヒドのにおいから解放され、その恩恵を受けているのです。

解剖学を教える立場から、森泉先生が大切にしていること「大学の教育について」垣間見ることができましたので紹介いたします。それは、先生が信州大学に赴任して学生からの初めての質問で「先生、教科書は何を買ったらいいのですか？」と聞かれた。それに対して先生は、「大学では本来教科書というものは必要のないものだ。系統解剖学に関して強いて教科書を挙げろと言われれば、諸君らの目の前にあるご遺体が教科書である。」と答えたそうです。この質問は毎年繰り返されると思うが、その都度先生は、丁寧に答えていきたいという。解剖学をどのように学ぶかという基本的な姿勢を問うているからだそうです。

大学での教科書は必要無いといったのは、本から解剖の仕方を適切に知る事はできるが解剖学を学ぶ事はできないからであり、この点について言ったのだそうです。大学の教官が自分の考えを講義実習の中で述べる事が大学の教育（真の教科書）だと先生は思っているとの事です。つまり解剖学の中味は解剖の教官によって皆異なるもので、また本来異なるべきものだと考えておられるのです。つまり先生も学生も教



H15.11.9	特別講演 講義 解剖実習	「肩こり・腰痛・膝のバイオメカニクス」 信州大学名誉教授 寺山和雄様 「下腿・足の解剖学」 森泉哲次様 下腿 森泉哲次様・川岸久太郎様
H16.11.7	特別講演 講義 解剖実習	「脳卒中治療最前線」 信州大学医学部脳神経外科学教授 本郷一博様 「手の解剖学」 森泉哲次様 [手の解剖] 〃
H17.10.30	特別講演 講義 解剖実習	肩の疾患「バイオメカニクスの応用による新しい病態の発見」 柔道整復師にとって重要な肩疾患「肩脱臼・腱板損傷・肩関節周囲炎」 [肩関節周囲の解剖] 森泉哲次様
H18.11.12	特別講演 講義 解剖実習	「患者さんの説明は難しい、合意と納得の違い」 信州大学名誉教授 寺山和雄様 「皮神経について」 森泉哲次様 [全身の皮神経] 〃 ・掛川晃様
H19.11.11	特別講演 講義 解剖実習	「最新の脊椎外科手術」 依田窪病院院長 三澤弘道様 「固有背筋」 森泉哲次様 森泉哲次様・掛川晃様
H20.11.9	特別講演 講義 解剖実習	「関節疾患・関節内視鏡手術最先端医療の紹介」 信州大学医学部運動機能学教授 加藤博之様 「関節の解剖学」 森泉哲次様 [関節の解剖] 森泉哲次様・掛川晃様
H21.11.8	特別講演 講義 解剖実習	「肩関節治療の要点と盲点」 信州大学医学部整形外科学准教授 畑 幸彦様 「脳の画像診断」 森泉哲次様 [脳・脊髄の解剖] 〃 ・掛川晃様
H22.11.7	特別講演 講義 解剖実習	「悪性骨軟部腫瘍の診断と最新の手術治療」 信州大学医学部整形外科学助教 磯部研一様 「自律神経の解剖」 森泉哲次様 [自律神経系] 〃 ・掛川晃様
H23.11.13	特別講演 講義 解剖実習	「膝関節疾患に対する最新の手術治療」 信州大学医学部整形外科学助教 天正恵治様 「下肢の解剖」 森泉哲次様 [下肢の筋・関節] 〃 ・掛川晃様
H24.11.13	特別講演 講義 解剖実習	「膝関節疾患に対する最新の手術治療」 信州大学医学部整形外科学助教 天正恵治様 「下肢の関節・靭帯・骨格・関節等の基礎解剖」 森泉哲次様 [下肢の屈筋群・伸筋群・関節・断面・靭帯・膝関節標本] 森泉哲次様
H25.11.17	特別講演 講義 解剖実習	「肩関節治療の最新事情」 安曇総合病院院長 畑 幸彦様 「顔面筋・咀嚼筋・顎関節」 森泉哲次様 [顔面解剖] 〃 ・掛川晃様
H26.11.16	特別講演 講義 解剖実習	「骨粗鬆症の診断と治療」 信州大学医学部運動機能学准教授 内山茂晴様 「画像」 森泉哲次様 [横断解剖] 〃 ・掛川晃様
H27.11.15	特別講演 講義 解剖実習	「脊椎疾患の診断と治療」 信州大学医学部運動機能学 高橋淳様 「臓器と膜について」 森泉哲次様 [全身内臓] 〃 ・掛川晃様

H28.11.13	特別講演  講義 解剖実習	「上肢のスポーツ外傷・障害」 相澤病院スポーツ障害予防治療センター長伊坪敏郎様 「嗅覚の不思議」・「上肢」 森泉哲次様 「上肢の解剖」 掛川晃様
H29.11.12	特別講演 講義 解剖実習	「信大での神経研究22年」「信大での解剖学教育22年」 森泉哲次様 「記憶と脳 意欲と脳」「下肢の関節構造」 森泉哲次様 「下肢・脳」 森泉哲次様・掛川晃様



退職記念花束贈呈



平成28年特別公演



信大講義室にて



教育講座

## 森泉哲次先生を囲んで ～村山会・森泉会合同退官祝賀会～

森泉会 朝野 豊和

信州大学医学部で解剖学の教鞭をとっておられた森泉哲次教授は、平成29年3月をもって定年退官となりました。

65歳定年での退官ですが、その後も特任教授として大学では解剖学実習に携わっておられ、医学生たちを教えておられました。

長年のご苦勞への慰勞と退官のお祝いを、松本で平成29年10月28日に村山会と森泉会合同で開催いたしましたので、少し歴史を辿らせていただきながら、ご報告させていただきます。

今では長野県柔道整復師会の事業として恒例となっている解剖学講習会ですが、信州大学医学部解剖学教室との結びつきは、志水義房教授からのご縁となります。『村山会10周年記念祝賀会』の冊子によれば、村山会の発足は昭和57年10月となっており、次の様に書かれています。

『常々村山内科医院院長村山繁光先生より「柔道整復師はもっと勉強しろ!!」と、信州大学医学部第二解剖学教室の志水義房教授をご紹介頂き、教室に通わせていただくこととなりました。志水先生も得体の知れぬ我々柔整師を村山先生の紹介とはいえ快く・・・お引き受け下さり、以下の10名でスタート致しました。』とあります。村山会の名称は志水教授と懇意であった村山先生からのものです。

その後、系統解剖学、体表解剖学、機能解剖学といったテーマでの研修を続け、「解剖体における膝関節変形に関する調査研究」として論文にまとめ、医学雑誌への投稿掲載という、柔整師にとって大きな業績を残すことになりました。投稿までの苦勞は語り草ともなっているほど、志水教授からの書き直しの連続であり、ご苦勞されたとのことでした。

平成元年からは地区毎の解剖実習のインストラクターを務めていただき、平成3年からは解剖実習として全県を対象としたものへとなっています。

志水教授の後任に森泉哲次教授が平成7年から赴任されましたが、村山会の先生方のご尽力により、私ども森泉会が森泉哲次教授のもとで勉強させていただくことになり、いわば村山会からの意志を継ぐ形で活動が始まったわけです。

当時、私は県の学術部員として森泉先生にご相談することが多々ありましたが、先生は我々のために、解剖実習だけではなく、医学系の教官や研究者からの専門的な知識を得る機会を考えて下さり、現在の講演を含めた形式にさせていただきました。名称も「解剖学講習会」とさせていただいて現在に至っている次第であります。

森泉会の活動は平成8年10月2日からですから21年前になりますが、初めての懇親会で教授になられた理由をお聞きしたところ、離島での診療を当初は考えておられたとのことでした。次第にこうした医療に携わる医師を育てることへと、思いが変わっていったと、淡々と語っていただいたのを印象深く覚えています。

解剖実習においては、「細かな名称を覚えるのではなく、そこに何があるのかを見て欲しい」との先生の言葉で始まり、会を重ねて丁度200回目の平成17年11月16日に、9年に亘りお世話になったご遺体に感謝し、納棺をいたしました。

その後は手指関節軟骨についての調査を行い、論文にまとめる作業へと進んだわけですが、関連論文の翻訳やデータ処理等での苦勞の



末、平成23年に原著論文「手指関節軟骨の退行性変化」として日本柔道整復接骨医学会誌に掲載される運びとなりました。

度重なる査読者からの返戻に対して、森泉先生は丁寧に説明しましょうと言って、粘り強くご指導いただき、一時は投げ出したい気持ちになりながらも、先生の励ましで掲載となった次第であり、育てていただいたと言うほかありません。

既に長い年月が経過しており、当時を思い返すと様々な思い出が蘇ってきます。実習日には教授室へ行って、実習の打合せをして皆に伝えるのが私の務めでもあったのですが、赴任当初の教授室は、資料がソファの上にもまで並べられ、デスクの前の壁面にはおびただしい数のメモが貼られ、実験動物のゲージが置かれた狭い空間でカップラーメンを啜る先生の姿があり、申し訳なさそうにニコニコした森泉先生の笑顔があったのを思い出します。

また、先生は時間をとても大切にされており、厳しく注意を受けたこともありました。忙しい中で時間をやり繰りしては研究のための時間を作っているようで、大変ご迷惑をお掛けしました。

森泉先生が、我々に解剖実習の必要性について、改めて語られることはありませんでしたが、こまくさ会の集まりにおいて、医学生や献体登録者を前にして、「ヒトから学ぶものに対して、ヒト以外からはでは無理である」と断じ、

「医学生は実習から、医者になる以外ないな、という覚悟を得るのです」と語られたことがありました。

村山会の先輩方も、森泉会の我々も、解剖実習という絆で結ばれており、その中心に志水先生があり、森泉先生があったのだと、あらためて幸せを感じています。

祝賀会の企画を担当してくれた村山会の宮澤直哉氏の進行のもと、同会の今村和久氏より花束が贈られ、森泉先生から近況の挨拶をいただいて宴となりました。

一人ずつ近況を報告し、昔の苦労話に花が咲く中で、今後も本会での解剖学講習会をお願いできることも含め、変わらぬお付き合いをお願いして、二次会へと席を移しました。

何時になく饒舌でリラックスし、今まで自ら進んで歌うことなどなかった先生のマイクを持つ姿に、今までの苦労から解放されたように思えたのは、私だけではなかったと思います。

森泉先生との信大での年月は、解剖という医学の分野だけではなく、学問以外の人として大切なものをいただいたと感じています。

少し体調に不安があると飄々としてお話しされますが、養生されてこれからもご活躍いただきたいと思います。

一つの節目を終えた晴れがましさの中、朝からの雨も止み、散会となった次第です。森泉先生、ご苦労さまでした。有難うございました。

平成29年10月28日（土）午後7時より 松本市『居酒屋まこちゃん別館』にて。  
写真は花束贈呈と森泉先生を囲んでの村山会・森泉会の面々。



# 平成29年度解剖学講習会

中信地区 学術部 折口 裕史

11月12日（日曜日）松本市信州大学内の信州大学医学部医学科第1講義室、解剖学実習室において平成29年度解剖学講習会が午後1時より開催され、長野県中より公益社団法人長野県柔道整復師会会員、141名の先生方が紅葉美しき秋晴れのなか参加されました。

特別公演として信州大学医学部人体構造学特任教授・名誉教授の森泉哲次先生に『信大での神経研究22年』・『信大での解剖学教育22年』と題して特別公演をして頂きました。長年、解剖学講習会でお世話になっている森泉先生におかれましては、平成29年3月31日に信州大学を定年退官されました。今回は退官記念特別講演ということで、前半は森泉先生の研究者としての研究への取り組み方や教育者としての考え方などもお聞きすることができました。

嗅覚神経系のシステムや特徴について、一つの研究動機から失敗例を踏まえて独自の疑問を持つことが、次への実験につながることをラットの実験を元にご講演され、嗅覚の機能の維持に必要な細胞はそんなにいらぬのでは、ということから最低限どれくらいの細胞があれば機能維持できるのかということ、障害をつくったラットの実験を元に検証していく過程を詳しく説明され、哺乳に関する研究では定説に対して疑問を持ちトライアルしていくことにより、知りたいことやわからないことが明らかになっていく過程を、様々な障害ラットを使った実験を通して詳しく解説して頂き、我々、柔道整復師に足りないデータを取って検証していくことの大切さと研究論文にすることの大変さを感じました。

後半の『記憶と脳』のお話では海馬と大脳皮質の役割、記憶の保持についてお話しして頂き

ました。アルコール中毒では乳頭体で出血病変を起こし新しい記憶を形成できない、強いストレスによりコルチゾールが増えると海馬が萎縮する、PTSDにより海馬が小さくなる、運動で海馬の萎縮は予防できる、ということでした。精神的には強いストレスを受けないようにし、日頃から運動することが脳の記憶の機能を維持することに大切だということがわかりました。

森泉先生のご講演に続き、帝京平成大学ヒューマンケア学部准教授の掛川晃先生に教育講演として、『下肢の関節構造』という演題で膝関節と足関節について講義をして頂きました。

掛川先生にも毎年解剖実習でお世話になっているので柔整師の聞きたいポイントをご教授して頂きました。膝関節においては前十字靭帯、後十字靭帯、半月板。足関節においては前距腓靭帯、踵腓靭帯、後距腓靭帯について、形態学的、バイオメカニクスの側面から解説して頂き、普段教科書からは、学びにくいことを解かりやすく講義していただき大変勉強になりました。

解剖実習に先立って座学で説明して頂いたことにより、より実習時にポイントを絞って学ぶことができました。解剖実習では実際、見て触れた各会員の質問にも丁寧に答えていただき、書籍では学べないとても貴重な時間でした。

森泉先生の「本来教科書というものは必要ないものだ。教官が自分の考えを講義実習の中で述べるのが真の教育だ。」と語られていたことをこの実習中に実感することができました。

一つ一つ再確認し確実に積み重ねていくこと。身体の基礎ともいえる解剖学は、生体や人

体の形態や構造を研究する学問なので、それらの構造の持つ機能を学び、我々生命体が物質から構成されている限り、構造の持つ重要性は変わらない。なぜ構造や形がそうなっているのか考えていくと、これからの道筋がみえてくると私は思っております。

解剖学講習会を開催するにあたり、御尽力い

ただいた森泉先生、掛川先生、信州大学医学部関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

私たちが毎年このような貴重な体験をさせて頂くにはご献体をしていただいた方の遺志とその遺志を尊重してくださったご家族がいてこそです。今一度、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 第2回長野県柔道連盟理事会

スポーツ支援部部長 **保尊 伸昭**

行事名 長野県柔道国体予選・第2回長野県  
柔道連盟理事会  
開催日 平成29年7月2日(日) 11時00分  
国体予選終了後開催  
開催場所 小諸市武道館  
出席者 高田 保 保尊伸昭 (柔整理事)

も引き続きお願いしたい旨の要望

(公社)長野県柔道整復師会定時総会において、会長が新たに高田保氏に任命されました。よって柔道連盟氏名理事が内山富之氏より高田保氏に変更になります。

(公社)長野県柔道整復師会から

6月17日 日整柔道大会北信越ブロック大会において審判派遣を依頼、成功裏に幕を下ろせたことのお礼

6月25日 日整全国少年柔道大会長野県予選会においてご協力を賜ったことのお礼及び来年

※会員の皆様へ

柔道というと柔道競技が先立って、身構えて距離を置いてしまう感もありますが、柔道整復師という身分名称がら、こちらの情報にも関心を持ってみましょう。長野県柔道連盟はホームページを設けています。アクセスしてみてください。



## 第4回 IJゴルフコンペ（医師会と柔整師会）

理事 保尊 伸昭

長野県医師会常務理事様をお招きしてのゴルフコンペが平成29年7月9日（日）豊科カントリークラブにおいて開催された。日頃より長野県医師会様にはご厚情を賜り、ゴルフコンペをはじめましてこれで4年目になります。医師会より5名、当会顧問相談役5名を含む総勢20名のゴルフコンペでした。当日は梅雨の明けきらぬなか、猛暑日が臆される炎天下のもとのゴルフでした。水分補給を十分にとったりアイスパックで首を冷やしたりと熱中症に十分配慮し

ながら、暑さとの戦いでもありました。ゴルフカートに座ったときにすっと通る自然の風のやさしさに救われながらも熱い戦いを繰り広げられました。結果優勝は西條賢治理事、準優勝は西條春雄顧問となりました。ゴルフを一緒にプレイすることで普段とはちょっと違った先生方の素顔を垣間見ることができました。

ご来賓の関健先生、竹重王仁先生、若林透先生、飯塚康彦先生、野邑敏夫先生、ありがとうございました。



## 「衆議院議員小松ゆたかを囲む会」の報告

北信地区 井出 和光

平成29年7月7日（金）午後6時からホテル国際21において、「衆議院議員小松ゆたかを囲む会」に出席してきました。午後6時より第一部の講演会が行われ講師には、現在小松ゆたか議員の直属の上司である、自由民主党国会対策委員長の竹下亘先生が講演をされました。冒頭、甥御さんでタレントのDAIGOさんからの電話で、「稲田さんの話はあんまり分からないけど。あの「ハゲー！」はないよね…」と強烈に言われたエピソードから始まりました。自民党は東京都議選挙で大敗し、緊急役員会で決定した内容は、現状を真摯に反省して、有効な政策を確実に実行し結果を出す。GDPは伸びているが、地方はまだまだ恩恵がない。金融政策はゼロ金利政策。地方を元気にしなければならぬ。それには特区政策で、地方独自の提案を出してもらい実施する。現在物議の表にある、加計学園問題はこの特区政策に起因する。人に投資をする。たとえば介護分野だったり、給付型奨学金だったりする。

実際に行った政策での問題点もお話し頂いた。タクシー業界の規制緩和で、だれでも業界

に参加できるし車の台数も増やした結果、タクシーの台数は増えたが、タクシー運転手の手取りは激減してしまった。今度は車の台数制限をすることになった。

小松ゆたか議員は好人物だが、選挙に弱い。どうか選挙区での当選をお願いしたい。3回、4回と当選すれば、重要な役も回ってくるだろう…。との事でした。

その後、小松ゆたか議員本人からの国政報告と今後の展望について、地元を回っていると「最近の自民党は少しおごっているのではないか?」「昔はもっといろいろな自由な意見が党内にあったのではないか?」など自民党の支持者の中から声がかかる。自分も自身の考えに向き合いぶれることなくがんばりたい。特に障害者や女性に対する政策を行いたい。

その後、第二部の懇親会が行われ300名程の立食形式でした。

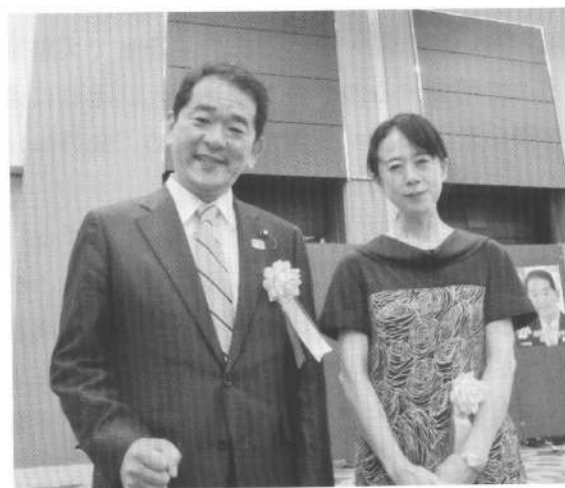
次の選挙には、是非選挙区にて小松ゆたか議員が当選するように、我々も頑張ってお支えをして行きたい。



講師 竹下亘先生



後援会長 関隆教先生



小松ゆたか ご夫妻



## 自民党第三選挙区支部大会 ふれあい祭開催

東信地区長 石坂 秀司



第3選挙区支部長 木内均衆議院議員

平成29年7月17日（月）海の日に自民党長野県第3選挙区支部大会「ふれあい祭り」が東御市サンテラスホールで開催されました。

第3選挙区支部長の衆議院議員木内均議員より今回「ふれあい祭り」というイベントを開催するが「東信柔道整復師会で何かやってくれないか」という連絡がありました。

第3選挙区でのイベントは初めての試みで、まったくの手さぐり状態でした。柔整師は何をすれば良いのか、主催者側もさしたる指示もありませんでした。

決まっているものは、食べ物広場・子供の広場・買い物広場・おしごと広場などで柔整師はどこで活動するのかわかりません。それに通知を頂いたのが1ヶ月前だったため、会員はほとんど都合が付きません。

それでは、私と息子で行き当たりばったりで、何とかするかと思っておりましたら、柏木副会長と西村公紀会員が話を聞きつけ急遽参加していただきました。

西村会員は上田西高野球部のトレーナーを受

け持っていて当日、試合があるにもかかわらず、合間を縫って参加をしていただき、また、柏木副会長は大好きなゴルフコンペをキャンセルしてまで駆け付けていただきました。

東信柔道整復師会総勢4名、持ち寄ったのはベッド3台のみ。こうなればやる事はただ一つ、西村会員得意の「ストレッチ・テーピング」、私の「石坂流手技療法」、柏木副会長の得意技「口車・見掛倒し」これで行く事と合いなりました。

どうせ暇で、出された弁当でも食って帰るかと思いきや、さにあらず、さくらとして、木内均議員をマッサージなどしながら、国会の加計学園問題・森友学園問題やら東京都議選やら話していましたら、我も我もと患者？違うな、被験者？が訪れ、行列になりさあ大変。3人でマッサージやらストレッチやら施行し、柏木副会長から「只働きなんだから一人5分で上げろ」とごもつともな指示。

3人で施術している間、柏木副会長は得意の口車で「この先生方はそこいらの療術師と違うんですよ。国家資格をもった先生達ですよ。皆さんの近くにもある、接骨院・整骨院の先生です。俗に言うほねつぎの先生です。それも『公益社団法人 長野県柔道整復師会』の会員です。皆さんもほねつぎにかかる時はこの『公益社団法人 長野県柔道整復師会』のキャンバのあるほねつぎに行ってくださいね」

グッドトーク。私達3人は3時間休む暇無く働きました。

来年は若い先生方たのむよ～。

スケジュールは次の通りでした。

9:00 ふれあい祭り会場準備  
11:00 ふれあい祭り開会式  
11:15 ブース販売・展示開始  
13:00 特別記念講演

講師：櫻田義孝衆議院議員  
13:45 党支部大会  
15:00 ふれあい祭り閉会式



大行列のイベント会場

## 日本赤十字社長野県支部と (公社)長野県柔道整復師会との懇談会

事業部長 安藤 恒久

日時 平成28年6月11日(土)

午後3時30分～6時

場所 メトロポリタンホテル長野

出席者

・日本赤十字社長野県支部(2名)

事業推進課長 須藤 晴彦

救護係長 徳武 信也

・(公社)長野県柔道整復師(10名)

内山 富之・高田 保・酒井 正彦

安藤 恒久・宮下 厚・倉科 正・小林 毅

井出 和光・北沢 玄・伊藤 睦

上記日程に於きまして、日本赤十字社長野県支部と長野県柔道整復師会の初めての懇談会を開催いたしました。

まず、各自 自己紹介を頂きその後、北信地区事業部長 井出和光先生より柔道整復師の歴史と業務 我々が普段どのような施療をしてい

るのか(前腕骨骨折・肘関節脱臼・股関節脱臼等の整復・固定の様子)また、過去の歴史について我々が災害現場において何ができるのかというアピールをしていただき、懇談がスタートしました。

日本赤十字社長野県支部では、熊本県地震の様子を報告していただき、被害の様子・被害状況・医療派遣状況・救援物資の搬送状況・義援金の受付等詳細を報告していただきました。

内山会長より「私たちは、柔道整復師会として我々にできることを(骨折・脱臼・捻挫・打撲・挫傷)協力させていただきたい。」という意見を伝えましたが現在の状況ではなかなか参入が難しいのではないかと、今後、柔道整復師会は、どんな協力ができるのか等、次回の懇談会の議題として検討することを確認いたしました。





# 平成29年度 北信越ブロック親睦ゴルフ大会

副会長 酒井 正彦



昨年7月29・30日、北信越ブロック会員のゴルフ愛好者45名が一堂に集い、澄み切った高原の空気、野鳥がさえずる新潟県上越市松ヶ峯温泉にある妙高サンシャインゴルフクラブで北信越ブロック親睦ゴルフ大会が開催された。

この親睦ゴルフ大会は、諸般の事情により一時中断されていたが、この度、北信越ブロック会長に就任された富山県の林豊輝会長の「このような時期だからこそ親睦が大事」との呼びかけで再開されることとなった。

7月29日の夕食会には、大勢のプレーヤーに加え、日整の工藤鉄男会長、三橋裕之総務部長、東京都の伊藤述史会長にもご参加いただき

華を添えていただきました。

翌30日のゴルフ大会は、晴天のも思いうようにいかないプレーに「目的は親睦」と言い訳？をしながら和気藹々と楽しい一時を過ごしました。

大会終了後の懇親会、兼表彰式では、工藤会長と三橋総務部長より柔道整復師会の現状についてのお話を頂き、都柔整の伊藤会長からの謝辞で閉会となりました。

因みに、優勝者は、誰も予想していなかった林豊輝北信越ブロック会長でしたが、スコアは書けません。(110以上ですから・・・)

## 高田保会長就任記念式典

中信地区副地区長 倉科 正

平成29年5月20日（日）公益社団法人長野県柔道整復師会において高田保会長が就任致しました。

そこで、8月5日（土）にホテル翔峰芙蓉の間において高田保氏会長就任祝賀会を開催いたしました。司会を中信地区総務降籬秀徳会員と事務局中澤美智子さんの協力により盛大に開催できたことに感謝を申し上げます。

また、当日ご参加いただきました大勢の会員の皆様、いろいろお手伝いを頂いた事務局の皆様、中信地区の皆様には大変お世話になりました。

無事、公益社団法人長野県柔道整復師会会長就任祝賀会を開催出来ましたことをご報告申し上げます。



実行委員長 柳沢恵一会員



中信柔道整復師会 保尊伸昭会長



祝辞 衆議院議員務台俊介様



祝辞 衆議院議員小松裕様



祝辞 県議会議員 本郷一彦様



中信総務部長 降旗秀徳会員  
祝電披露 三澤道子会員



公益社団法人長野県柔道整復師会高田保会長 と 奥様高田牧子さん



高田会長と磯部顧問



磯部顧問より高田会長へ激励の挨拶



西條春雄顧問と内山富之顧問より挨拶



実行委員と高田会長ご夫妻



サウシングオーケストラの演奏



会場の様子 小野先生と西條先生



会場の様子 高田先生と北原先生  
後藤茂之様と高田会長の奥様



最後はみんなで万歳三唱



## 『長野びんずる』 臨時救護活動の報告

北信地区事業部 松山 治

去る平成29年8月5日（土）日本赤十字社長野県支部と（公社）長野県柔道整復師会日本赤十字奉仕団が合同で、『長野びんずる』臨時救護活動を行いました。今年で2回目の救護活動となりましたが、その派遣の経緯は高田保県会長、安藤恒久県事業部長のご尽力により、日本赤十字社長野県支部との良好な関係構築を図ることができたために依頼を受け派遣が実現しました。当会に活躍の場を与えて頂いたことに感謝したいと思います。

『長野びんずる』は昭和46年から「市民総和楽」のテーマのもと、長野青年会議所を中心に企画され、今年で47回を迎えました。今年の『長野びんずる』のスローガンは「絆」～かさ

なる想いが未来を光らす～です。参加連数は247連、参加人数およそ1万1千人が中心市街地に集まり長野の街を盛り上げました。審査の結果、最優秀子供びんずる連にレオパーズ連、一般の部の最優秀連はドリームモーターズ連でした。『びんずる』とは長野市のシンボルである善光寺に祀られている「おびんずるさん」にちなんだ名称です。長野では「おびんずるさん」に触ることで病気などが良くなる言い伝えがあります。

救護活動は日本赤十字社長野支部に15：30に集合し打ち合わせを行い、各救護所まで移動し16：30から22：30まで（夜の部担当）行いました。割り振りは以下の通りです。

救護所番号	救護所名等	看護師	救護隊	柔道整復師会
①	本部(上千歳公園広場)救護所	畔上 恵梨	○米村 久雄 赤塩 利和 平賀 望美	松山 治 久井 真
②	セントラルスクエア駐車場救護所	滝沢由起子	○伊藤 浩一 手塚 和枝 久保さつき	松本 毅
③	東急駐車場救護所	徳武 晃大	○福島 昭彦 岩井 計夫	井出 和光 塚田 剛
④	けんしん前救護所	酒井 弘	○長澤 亮一 小林真一郎	端山 千草
⑤	南千歳セブンイレブン救護所	小嶋美智代	○堀 千草 荻原 みわ 百瀬 清子	小橋 義彦 松田 和也
⑥	しんきん権堂支店救護所	滝沢 千秋	○臼田映三郎 江田 博	宮澤 敬介
日赤長野県支部 須藤 晴彦 徳武 信也 佐藤 秀行				

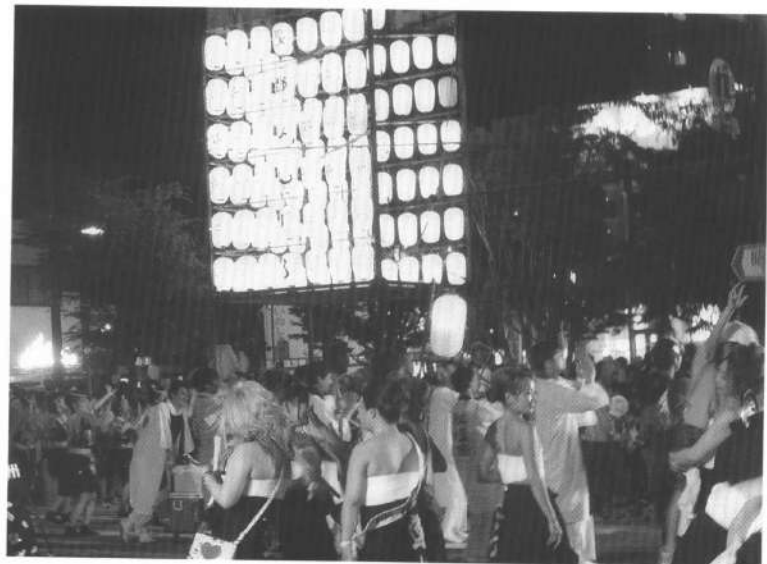
## 救護活動内容

救護所番号	人数	症 状	手当内容
①	1	虫刺され	ムヒ、虫よけスプレー
	2	火傷（本人来ず仲間が来る）	冷却剤持って行く
	3	靴擦れ	絆創膏貼付
	4	階段で転倒 腰椎骨折疑い	固定 救急車で搬送
	5	左4指ささくれ	カット、絆創膏貼付
	6	吐き気、熱中症	冷却、水分補給
	7	泥酔、道路に倒れている、嘔吐	救急搬送
②	1	靴擦れ	絆創膏貼付
	2	靴擦れ	絆創膏貼付
	3	靴擦れ	絆創膏貼付
③	1	擦り傷	冷えピタ、テープ固定
	2	熱中症	冷却、水分補給
	3	泥酔	冷却、水分補給
④	1	飲酒によるめまい・吐き気・頭痛	冷却
	2	飲酒による吐き気、気分不快	水分補給
	3	全身打撲	冷却
	4	飲酒により気分不快	冷却
⑤	1	指切り傷	絆創膏貼付
	2	指の爪損傷	絆創膏貼付
	3	靴擦れ	絆創膏貼付
⑥	1	左第3指脱臼骨折	冷却、緊急医へ受診
	2	めまい、気分不快	安静で軽快
	3	熱中症	安静で軽快

今年も日赤の看護師・救護隊の皆様と協力して充実した救護活動が行われたと思います。

重症者は腰椎骨折疑いのため救急車で搬送1名と指の脱臼骨折で緊急医受診が1名ありました。「骨折の応急処置に柔整師の先生がいてく

れて良かった」と言って頂き嬉しかったです。救護所の利用者は6救護所計23名で昨年とほぼ同数の利用でした。参加された会員の皆様この日の最高気温34.6度と暑い中大変お疲れ様でした。



## 長野県立こども病院へ寄付金（ドクターカー）

中信副地区長 倉科 正

平成29年8月30日（水）14時～15時 長野県立こども病院に（公社）長野県柔道整復師会高田保会長と中信柔道整復師会保尊伸昭会長 倉科で寄付要請があったドクターカーをご購入いただき資金として本会より5万円、中信地区より3万円の寄付をいたしました。

ドクターカーは、トヨタのコースターという車を改造し1台約5,000万円の価格になり、全国からの寄付金だけでほぼ予算が集まり、購入できるということでした。

納車は来年2月で、寄付もそれまで受け付けているということです。

高田会長・保尊地区長より県立こども病院原田順和病院長に寄付金が手渡され、その後原田病院長より感謝状をいただきました。

原田病院長は、安曇野市医師会理事もされており、安曇野ハーフマラソン協力と地区防災活動連携を約束いたしました。

大変有意義な時間を過ごすことができました。





## 安曇野市との防災協定締結と 総合防災訓練

中信地区 井出 克行

平成28年の晩夏に、安曇野市危機管理課の知り合いより、「柔道整復師会との防災協定を前向きに検討しませんか？」との思いもよらない提案が、私のところに転がり込んできました。何度か話を伺わせて頂いたところ、彼の本気度がありがたいほど伝わってきました。これはと  
思い、中信地区会長に話を引き継ぎました。その後、(公社)長野県柔道整復師会との防災協定の締結に至りました。

協定を結んだからには、安曇野市から長野県柔道整復師会に要請があれば、相互協力関係が必至となり、協力できる体制を整えることが必要となります。

そのことから、準備の一環として、安曇野市医師会館にて、防災訓練に向けたトリアージの練習や震災の教訓をビデオから学び、防災訓練スタッフ(医師・歯科医師・薬剤師・看護師・日赤病院の先生・市の職員・そして柔道整復師)との顔合わせから始まり、2時間ほどの勉強会に参加しました。

総合防災訓練当日は、災害本部を柱として、市内の5か所に災害救護所を立ち上げ、市民に模擬患者として25名ほど協力をいただきました。訓練が始まり、模擬患者を担当者が1次トリアージにて、赤・黄・緑・黒(軽症～死者)に分け、状況に応じて、防災無線にて本部に救急車要請や、亡くなられた方の歯形の保存(デンタル・チャート)、2次トリアージによる防災タグの変更の扱い方などが行われました。

我々柔道整復師は、緑色のタグをつけた被災者の応急処置・けがの管理の説明等を行いまし

た(業務範囲は厳守です)。約20名の模擬患者を2人で手分けして処置にあたりましたが、皆さん名役者で、わがままな人を演じてくださったり、長々と痛みや不安を訴えて、なかなか帰ろうとしなかったり、救護所から出ても行くあてがないなど……。

心のケアの必要性も教えられ、それに応えようとする時間がかかりすぎるというジレンマに陥り、本当の災害の時には大丈夫だろうかと不安になりました。それでも、訓練も今年で2回目となり、昨年より行動にゆとりがあったように感じました。また、スムーズに医師や薬剤師の方への連絡などできたと思えました。

スタッフが一丸となり、お互いの顔の見える中での被災者の救護活動という時間を共有できたためか、我々の働きや業務について理解して頂いたり、日常の仕事の話にまで発展したり、終わりの反省会の時などはありがたいほど緊密に接していただき、実り多き一日となりました。

防災訓練とは、毎年繰り返し参加をして、お互いの顔を覚えることで、業種や役職など名札が無くても円滑に救護活動が遂行されるようになることが地域防災にとって理想だそうです。

また、自分の住んでいる地域の震災は、自分自身が被災している可能性が大きいと思います。たまたま今回は、縁があつて安曇野市からスタートとなりましたが、近隣の市町村に広がって、県内どこの災害でも各自治体から柔道整復師会が要請を受けて、我々が活動できるようになることが、公益性の拡大につながるのではと考えます。



災害時における公益社団法人長野県柔道整復師会の協力に関する協定書

安曇野市（以下「甲」という。）と公益社団法人長野県柔道整復師会（以下「乙」という。）の間において、甲乙間の相互協力に関して、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、安曇野市内（以下「市内」という。）に次に掲げる災害が発生したとき又は発生するおそれがあるときに、甲が行う災害応急対策業務に関する乙の協力に関して、必要な事項を定めることを目的とする。

- (1) 地震、台風等の自然災害（以下「自然災害」という。）
- (2) 武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律（平成16年法律第112号）に規定する武力攻撃による武力攻撃災害

（協力の内容）

第2条 乙は、市内において前条に規定する災害が発生したとき又は発生するおそれがあるときに、甲からの要請に基づき甲の指定する場所で、柔道整復師法（昭和45年法律第19号）に規定する業務の範囲において、次に掲げる業務の協力を行うものとする。

- (1) 骨折・脱臼・打撲・捻挫・筋挫傷の負傷者に対する応急手当（骨折・脱臼の継続手当には医師の同意が必要。）
- (2) 負傷者に対する応急手当に必要な衛生材料の提供
- (3) 前2号に掲げるもののほか、負傷者に対する応急手当に必要な業務の提供

（協力要請の手続）

第3条 甲は、市内において第1条に規定する災害が発生したとき又は発生するおそれがある場合において、乙の協力が必要と認められるときは、乙に対して、前条に規定する範囲で協力の依頼をするものとする。

2 甲は、乙に対して協力を依頼するときは、書面により協力を依頼するものとする。ただし、甲が緊急と認めるときは、口頭で協力を依頼し、後日、依頼書をもって処理するものとする。

（指揮命令）

第4条 乙は、第2条第3号に規定する応急手当は、医師の指示の下に行うものとする。

（費用負担）

第5条 甲は、乙の協力に係る衛生材料等の提供を受け、又は使用したときは、その実費を負担するものとする。

（訓練参加）

第6条 乙は、甲から要請があったときは、甲が実施する防災訓練に参加するものとする。

（損害賠償）

第7条 甲は、この協定に基づく業務に従事した者（以下「当該従事者」という。）が、その者の責に帰することができない理由により死亡その他の事故が生じた場合において、次の各号に該当するときは、当該各号に定めるところにより当該従事者に損害を賠償する。

- (1) 自然災害のとき 災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第84条第1項の規定に基づき、安曇野市消防団員等公務災害補償条例（平成17年安曇野市条例第219号）の例による。
- (2) 武力攻撃のとき 武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律施行令（平成16年政令第275号）第43条及び第44条の規定による。
- (3) 訓練参加のとき 安曇野市防火防災訓練災害補償等共済制度取扱要綱（平成17年10月1日告示第170号）の例による。

（協定の有効期間）

第8条 この協定の有効期間は、協定を締結した日から1年間とする。  
2 前項に規定する有効期間満了1月前までに、甲、乙いずれからも申出がないときは、期間満了の日の翌日から1年延長されるものとし、その後も同様とする。

（協議）

第9条 この協定の各条項の解釈について疑義が生じた事項、この協定に定めのない事項又はこの協定を実施するために必要な事項については、甲乙協議して定めるものとする。

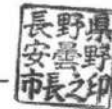
この協定の締結を証するため、この協定書を2通作成し、甲乙両者記名押印のうえ、各自その1通を保有する。

平成 29年 1月 20日

甲 安曇野市豊科6000番地  
長野県安曇野市

市長

宮澤宗弘



乙 長野市大字安茂里宇伊勢宮2167番地9  
公益社団法人 長野県柔道整復師会

会長

内山富之





安曇野市三郷救護所



黒シート

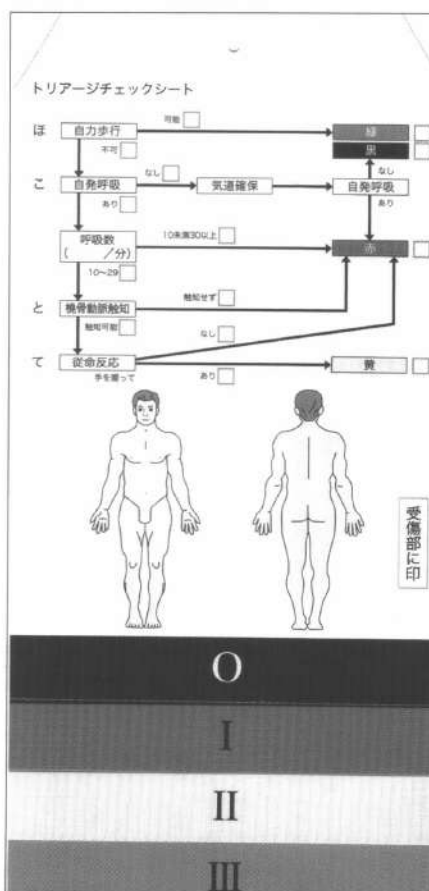
松本広域圏救急・災害医療協議会 ●災害現場用

No.	氏名	年齢	男・女
住所	連絡先 TEL.		
発症場所	来院方法 救急車 自家用車 徒歩 その他		
トリアージ実施時刻	実施者 (医師 その他)	実施場所	
1) 月 日 時 分	1) 氏名:	1) 救護所 病院	
2) 月 日 時 分	2) 氏名:	2) 救護所 病院	
一次トリアージ (1回目): チェックシート参照			
1): <input type="checkbox"/> 黒0 <input type="checkbox"/> 赤1 <input type="checkbox"/> 黄II <input type="checkbox"/> 緑III			
要保護者: <input type="checkbox"/> こども <input type="checkbox"/> 妊婦 <input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 病人 <input type="checkbox"/> ( )			
二次トリアージ (2回目) (カテゴリー変更: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無)			
2): <input type="checkbox"/> 黒0 <input type="checkbox"/> 赤1 <input type="checkbox"/> 黄II <input type="checkbox"/> 緑III			
症状・受傷部位・傷病名	(1)		
	(2)		
特記事項 (処置内容等)	(1)		
	(2)		
搬送機関名	救急隊	収容医療機関名	病院

21.8

O  
I  
II  
III

トリアージタグ表



トリアージタグ

## 平成29年度 松本市医療救護訓練

中信地区 権藤 俊和

平成29年9月3日（日）午前8時30分から災害発生時における医療救護活動の手順を確認、検証するための「松本市医療救護訓練」が行われた。本年度は10地区の合同訓練を四賀地区において臨時医療救護所を設置し、その他13地区に医療救護所を設置して、松本市医師会、松本市歯科医師会、松本薬剤師会、災害対応病院、県看護協会、県放射線技師会、県柔道整復師会、医薬品等事業者、在宅酸素事業者、長野県、松本保健福祉事務所、松本広域消防局等の機関及び団体の参加により行われました。

5月16日に開催された「第1回松本市医療救護訓練実行委員会」では、臨時医療救護所、医療救護所それぞれでの実施内容が以下のように示されました。

臨時医療救護所では、

- ① 急性期におけるトリアージ（住民参加）
- ② 亜急性期における「災害関連死を防ぐ」ための対応
- ③ 傷病者搬送
- ④ 避難所運営訓練との連携
- ⑤ 要援護者支援訓練との連携

医療救護所においては、

- ① 本部医務班との情報伝達
- ② 体制強化（アクションカードの活用）
- ③ 応急処置（長野県柔道整復師会）

上記実施内容を基に本年度は応急処置として私達「（公社）長野県柔道整復師会」が担当することとなった為に、訓練参加者による「事前打ち合わせ会」を平成29年7月27日（木）芳川公民館に於いて行いました。訓練の趣旨・目的から当日の流れ、具体的な応急処置方法、その他準備品、服装、留意事項等について協議し訓練に備えました。

本年度、柔道整復師会からは6か所の医療救護所へ会員を派遣し、当日の訓練では以下のように行われました。

- ① 出欠確認、自己紹介、カギの保管場所、開け方の確認
- ② 施設管理班・医療活動班・薬剤管理班・情報調整班・記録班の5班それぞれの役割分担を確認
- ③ 薬剤師会による救護ボックスの備品確認
- ④ 簡易ベッド作成
- ⑤ 応急処置実技 [今年度は、県柔道整復師会で八つ折三角巾の作成方法の説明の後、前腕の負傷（骨折）者を想定し副子（シーネ、新聞紙等）、八つ折三角巾等を用いて固定方法の説明を行い各機関・団体の参加者に実施していただきました。]

また、私の参加した明善小学校の反省会では、

- ① 車いすでの避難経路について確認
- ② 災害倉庫に入れるチェックリストの作成及び見直し
- ③ 災害時にどのような災害になるのかシミュレーション出来ないか？等の要望が有りました

私自身、今回初めて災害時医療訓練に参加させていただき最初は少し気が重ったのですが、三師会の先生方も大変好意的で協力的に行われました。

いざという災害時には一人でも多くのマンパワーが必要です。私たちが日々の診療の中で持っている知識・技術をいかに生かせるかが大切で、その為には、災害訓練に参加し、平日頃

より災害・防災活動への意識を持つことだと思  
いました。来年度は更に多くの会場への派遣が

できるよう協力体制を構築していきたいと思  
います。



医療救護所（明善小学校）

## 第44回日整親善ゴルフ大会

副会長 酒井 正彦

平成29年9月10日（日）埼玉県柔道整復師会主管の第44回日整親善ゴルフ埼玉大会が栃木県栃木市のプレステージカントリークラブで全国から180名あまりが参加し開催された。

本大会の主管県は埼玉県で、他県での開催でしたが、会場となったプレステージカントリークラブは、アメリカンスタイルの堂々たるチャンピオンコースで、フェアウエー、グリーン共アンジュレーションが強く近県では見られないコースでありこの会場を選んでいただいた埼玉県柔道整復師会に感謝したいと思います。

当日は、晴天に恵まれ気温は高めでしたが、参加者は他県の会員と情報交換をしながら和気藹々のプレーを楽しんでおりました。

当県からは、磯部栄二顧問、内山富之顧問をはじめ8名が参加した中で、井出啓男先生（監事）が見事優勝を果たしました。

今年の、第45回大会は、静岡県に決定しておりますので、大勢の皆さんに参加していただき他県の方とも交流していただきたいと思います。





## 第44回日整親善ゴルフ大会 井出啓男監事全国制覇

東信地区 石坂 秀司



栃木市プレステージカントリークラブ



参加者の面々

平成29年9月10日（日）栃木市プレステージカントリークラブで「第44回日整親善ゴルフ大会」が「公益社団法人埼玉県柔道整復師会」の主管により開催されました。天候に恵まれ絶好のゴルフ日和、北信地区から、酒井副会長・野本先生、中信地区からは、磯部栄二顧問、東信地区は内山富之顧問・井出啓男監事・柏木副会長・柳原博史プロそして石坂という万全の内容で団体優勝目指し臨みました。

全国から会員・ゲスト・賛助会員ら合わせて181人のゴルフ愛好家が参加し腕を競い合いました。東信地区の5名は、前日の9日（土）より栃木県に乗り込み「鹿沼72CC」で前哨戦にのぞみウォ



会長賞獲得の 酒井副会長と 柳原博史プロ

ーミングアップのかいあってか、なんと井出啓男監事がOUT42 IN39 GROSS81 HDCP12.0 NET69.0 でみごと全国制覇しました。

酒井副会長が19位、柳原博史プロが43位で日整会長賞を獲得、以下90位に磯部栄二顧問その他はそれなりの順位でした。

団体優勝は栃木県、準優勝 埼玉県 3位群馬県。惜しくも長野県は健闘空しく栃木の深い空に散りました。

来年もがんばりましょう。



みごと全国制覇した井出啓男監事 賞品新型ルンバをゲットし優勝のご挨拶



# 平成29年度スポーツ医科学サポート会議

主催：公益財団法人 長野県体育協会

スポーツ支援部 北信地区 高原 義勝

平成29年9月21日（木）長野県スポーツ会館2階大会議室において、平成29年度スポーツ医科学サポート会議が開催された。

本年度の会議のテーマは「第72回国民体育大会 愛顔（えがお）つなぐえひめ国体に向けて！」今回は、歯科医の金児晴夫先生に「スポーツと歯について」の演題でご講演をいただいた。

金児先生は、かねこ歯科医院の院長であり、長野県歯科医師会の学術部部員で、日体協公認のスポーツデンティストをされている。

講演を聞く前の私の勝手なイメージとしては、いわゆる歯の噛み合わせについてのお話かな？と思っていたが、実際にはまったく違う内

容でした。

スポーツデンティストである金児先生としてのアスリートに対する指導のメインは、「いかに噛みしめないようにするか！」簡単に要約すると、噛みしめることによって、体に余計な力が入り（いわゆる「リキミ」）選手が持っている本来のパフォーマンスを十分に発揮できない状態に陥ってしまう。この状態が長期間続くことにより、結果的には様々な故障の根源にもなりうるのである。噛みしめることによる歯への負担を減らし、食事の際によく噛んで食べることが出来る歯を育てることで、若いアスリートの基本的な体作りにも大きく貢献することに繋がるのである。



# 松本市市制110周年記念事業 第1回松本マラソン 救護活動報告

中信地区 学術部 高木 ただお 肇男

近年のマラソン競技人口の増加に伴い、松本市は2017年10月1日（日）に市制施行110周年記念事業として第1回松本マラソンを開催した。健康寿命延伸都市をスローガンに掲げる松本市としては初となる日本陸上競技連盟公認のフルマラソン大会で、全国から集まった約1万人のランナーが松本のまちを駆け抜けた。今回、長野県柔道整復師会中信地区は7名の会員が救護のボランティアとして大会運営に参加した。その活動について報告する。

## 【救護活動概要】

当日の松本地方の天候は晴れ、平均気温16.4度（最低7.2度・最高24.4度）、湿度64%、風速：南南東の風3.1m / s、気圧952.4hPaの良好なコンディションのもと開催された。

第1回松本マラソンの救護活動には長野県柔道整復師会の7名のほか、長野県鍼灸師会から13名、松筑鍼灸マッサージ師会から50名の会員が参加した。

信州スカイパーク陸上競技場サブトラック入口付近に配置された4張りのテントに3団体がブースを設営して、ランナーのケアを行なった。（救護ブース配置図参照）

## 【救護活動内容】

中信地区会員は午前8時30分に会場内のブースに集合し、長机2台を使い受付を設け、テント内にポータブルベッド4台と椅子を設置してケアの準備にあたった。

直前のミーティングでは、今回のために作成した受付表及びトリートメントシートの記入法や1人5分を目安にケアを行なう事を申し送り、意思統一をはかった。

また一般的なケアを必要とする場合にはマッサージ・ストレッチ・アイシング・テーピングによる対応を行ない、熱中症や脱水症状による意識障害や多量の出血等、緊急性の高い場合には救護本部に連絡し、場合によっては救急車の出動を要請する事項も確認した。

今回のコースはスタート地点とゴール地点が別々の競技場であったため、スタート前のランナーのケアはなかったものの、午前11時頃からはサブスリー（フルマラソンで3時間をきる事）で完走したランナーや時間制限のため途中棄権によりバスで移動して来たランナーがケアを希望しブースの方へ来場された。その後、時間経過に伴いゴールしたランナーが集中して訪れたため途中対応しきれず、マッサージを希望するランナーには他のブースを案内させていただく事もあった。

午後3時イベント終了・徹収開始というスケジュールの関係で午後2時に受付を打ち切り、2時30分でランナーのケアを終え、会場の後片付けをして救護活動を終了した。

## 【救護活動データ】

今回のマラソン大会の救護活動において、ケア・処置を行なったランナーの総数は87人、そのうち男性75人・女性12人で全員がフルマラソン参加者であった。

ケア・処置を行なった総部位数は286部位でその内訳は1部位8人、2部位24人、3部位16人、4部位21人、5部位11人、6部位6人、7部位1人であった。

部位別ではほとんどが大腿・下腿部に症状を訴え、その他には腰臀部・膝関節・足関節・足

底部が多かった。上肢は左右の上腕のケアを受けた1人のみであった。

主な部位数は下腿部107、大腿部105、腰臀部34、膝関節15、背部8、足関節7、足底部7、上腕2、趾関節1であった。

(円グラフ参照)

#### 【まとめ】

今回のマラソン大会は松本市では初開催となる記念すべきフルマラソン大会であった。

私自身も球技の救護活動には参加した事があるものの、マラソン大会の救護活動は初参加であったため、過去に長野マラソン等の大会で救護活動を経験されている会員の経験談を事前に聞かせて戴き、救護活動にあたった。

当日は天候にも恵まれ、気温の急激な上昇もなく良好なコンディションのもと競技が行なわ

れたためか、下肢の痙攣をおこして救護ブースを訪れたランナーはいたものの、熱中症や脱水症状で救急搬送が必要な重症者はいなかった。

今回の救護活動を通じて自分自身の危機管理のためにも、緊急時に対応できる知識や技術のスキルアップの必要性を再考する良い機会であった。

来年度以降も、松本マラソンは継続して開催されて行くものと思われる。県内外から多数のランナーがエントリーする大会なので、長野県柔道整復師会としては今後も行政と協力し、継続して救護のボランティア活動に携わって行く事が大切であると考えている。

次回大会にも、大勢の会員の皆様の参加ご協力をよろしくお願いします。

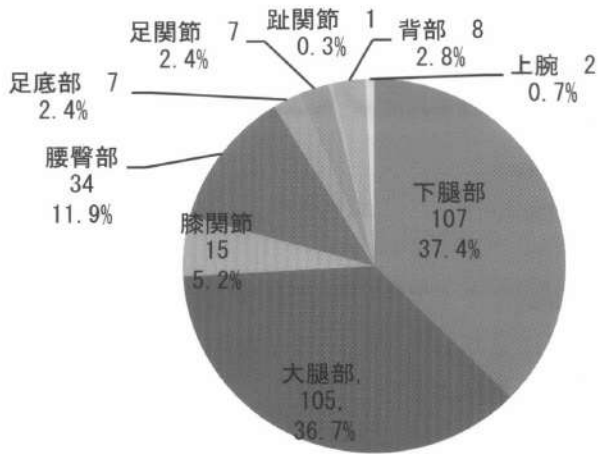


救護活動風景



救護活動に参加した会員





処置・ケアをした部位の割合

午前 8 時 20 分	開会式
8 時 30 分	松本市総合体育館前 マラソンスタート
9 時 00 分	信州スカイパーク陸上競技場 ファミリーラン (2km) スタート
9 時 50 分	ファミリーラン表彰式
10 時 40 分	マラソン先頭ランナー フィニッシュ
11 時 30 分	マラソン表彰式
午後 2 時 00 分	マラソン最終ランナー フィニッシュ

当日のスケジュール

■ 配置場所



救護ブース	スタッフ	機材
長野県柔道整復師会様	参加者 8名	救急机 4台 車いす 10脚 敷シート 3枚
長野県鍼灸師会様	参加者 13名	救急机 4台 車いす 10脚 敷シート 3枚
松筑鍼灸マッサージ師会様	参加者 2名	救急机 50名 救急机 8台 車いす 20脚 敷シート 6枚

◆共用機材 ◆車いす 1台 ◆テントサイズ 2間×3間

救護ブース配置場所

地域	エントリー数
北海道・東北	75 人
関東	1,470 人
東京都	1,183 人
北陸	272 人
東海	1,143 人
近畿	698 人
中国・四国	119 人
九州	89 人
海外 (8 か国)	94 人
県内 (市外)	3,325 人
松本市内	1,562 人
計	10,030 人

ランナーの内訳

トリートメントシートと受付表

## 第26回日整全国少年柔道大会

中信地区 神農 来栄

10月8日(日)、東京講道館で開催されました！ 内山貴之会員監督、私神農がコーチとして乗り込んでいきました。長野県の少年チームはいつも組み合わせが悪く！？今年も優勝候補福岡と広島の勝者との初戦となっていました。

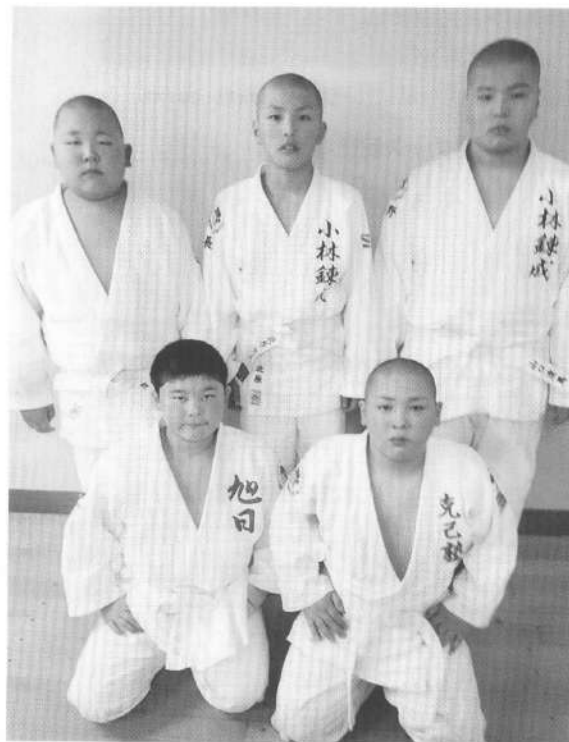
福岡対広島、息詰まる熱戦を制して勝ち上がってきたのは、2年連続小学生日本一の選手を率いる広島選抜が上がってきました。体格では全く引けを取らない長野県チーム！先鋒、次鋒、中堅とかなり押し気味に試合を進めましたが、引き分け。相手チーム副将は日本一強い小学生！長野県チームの選手も健闘しましたが、地力の差は大きく1本負け。大将の選手も気迫

ある試合で1本を取りに行きましたが、相手も必死に守り引き分け。残念ながら初戦敗退となってしまいました。

近年、長野県も選抜チームを組むようになりましたが、毎年早い段階で強豪県との対戦が多く、初戦、2回戦敗退となってしまいます。しかし、その差は本当に微差です。ここ数年県内レベルも上がってきているので、全国の表彰台の上に立つ日もそう遠くないと思っています。日本柔道の「要」である少年柔道の一指導者として、子供達を心身共に強い子に育てつつ、全国の表彰台を目指して頑張っていきたいと思っています！熱い応援よろしくお願いします！



5人整列



日整5人



# 厚生労働大臣旗争奪第41回日整全国柔道大会

10月8日

東信地区 土屋 樹

平成29年10月8日東京春日の講道館にて、厚生労働大臣旗争奪第41回日整全国柔道大会が開催されました。本大会は全国15ブロックの代表選手が出場し、私自身も北信越東部代表として出場させていただきました。

私は今大会が初出場でしたが、チーム編成が年齢別であることやルールも現在の審判判定とは違ったものが採用されており、非常に面白味のある大会でした。

また、出場選手も学生時代に全国大会などで入賞経験のある選手が多数参加しており、退会のレベルも高く、見る側としても見応えのある大会であったと思います。

北信越東部からは私以外に、岩下富夫監督の元、東信の岩下貴士選手、中信の斉藤公志郎選手、村山洸介選手、新潟の牛木幹人選手が出場しました。

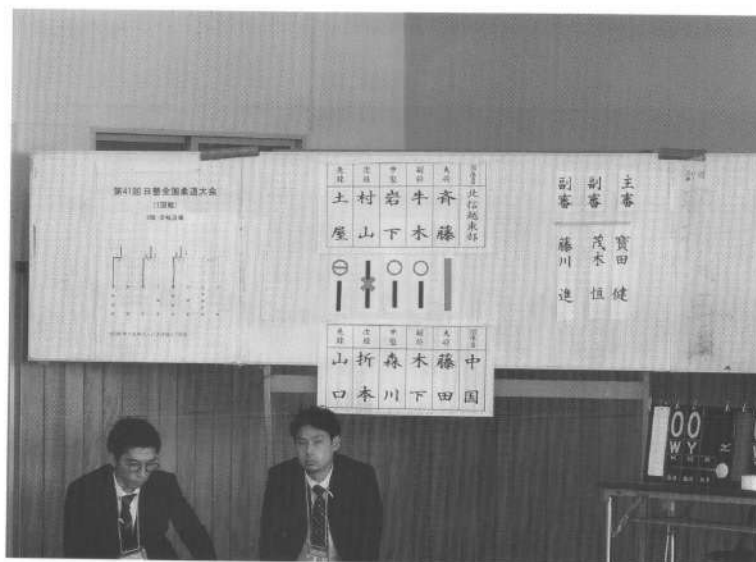
結果と致しましては1回戦、中国に3-0で

勝ち。2回戦、南関東Bに1-2で敗れ、南関東Bがそのまま準決勝、決勝と接戦を制し栄光を手に入れました。

南関東は昨年の優勝チームであった為、何とか2連覇を阻止したいという思いで試合に臨みましたが、苦汁を飲む結果となりました。

この大会は柔道の大会ではありますが、参加した選手、審判、役員、関係者のほとんどが柔道整復師の先生ばかりで、会場では試合のみならず、仕事の情報交換、先生同士の新たな出会いや繋がりが生まれたり、業界にとっては非常に意味のある大会であるように感じました。また私自身も、そういった大会に参加できたことをとてもうれしく思います。

最後になりますが、応援下さいました皆様、大会開催にあたりご尽力いただきました関係者、役員、会員の皆様に厚く御礼を申し上げます。







## 日整全国柔道大会報告会（懇親会）及び合同練習

スポーツ支援部 南信柔道委員 伊藤 篤

平成29年12月9日（土）午後3時30分より、本会会館柔道場において会員及び選手9名で柔道合同練習が行われました。

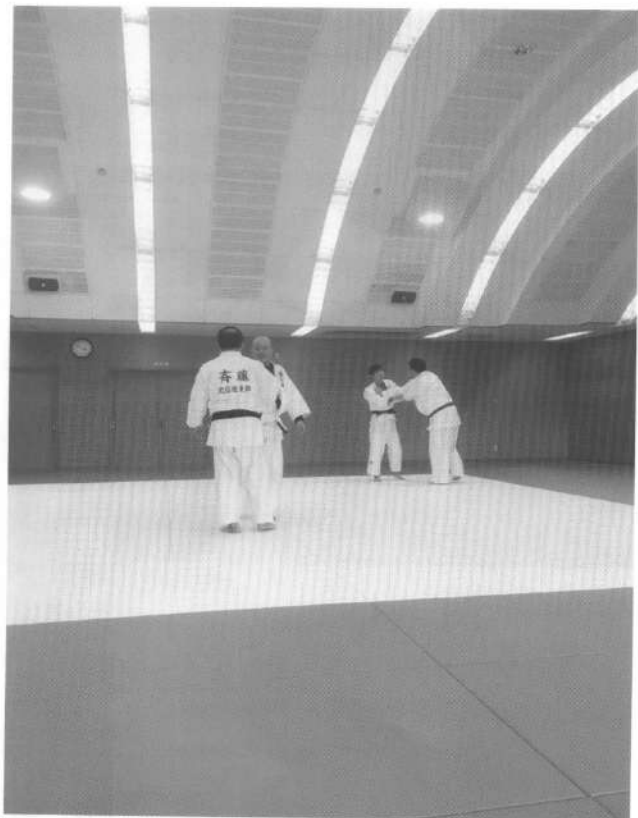
高田会長・安藤副会長・保尊スポーツ支援部長の挨拶で始まり、選手の活躍をそれぞれ賞賛されておりました。

挨拶の後には準備体操を行い、打ち込みで身体をほぐしてから乱取りが始まりました。「怪我をしないように約束乱取りで」ということでしたが、だんだんと熱が入っていく会員もおられました。しかし、とても楽しそうに行ってい

る姿から、柔道が好きなのだなと感じました。1時間弱の練習ではありましたが、若い世代の育成にもなったと思います。そして、とても良い汗をかき終わりとなりました。

この後は会場をホテル国際21へ移し、午後7時より北信越ブロック柔道大会及び北信越学会慰労会が併せて開催されました。有志が一堂に会することで親睦を深めると共に、様々な情報交換も行われ有意義な時間となりました。

最後は役員を壇上に上げて、万歳三唱で締めくくられました。



## 平成29年度 中信柔道整復接骨学会

中信地区 吉澤 貴史

平成29年12月10日、松本市駅前会館（歯科医師会館）にて、中信柔道整復接骨学会が開催され、58名の会員が参加されました。本年度の会員研究発表は松本北ブロック・松本南ブロック・安曇南ブロックの3ブロックとなり、そのうちの2題は活動報告という内容でした。

第1席は松本南ブロック畔上英樹会員による『小学生における足底アーチサポートの有用性』の発表がありました。近年の子供たちは歩行不足であることに視点を置き、足底のアーチの機能低下をどのように改善するか？と言った試みは素晴らしかったと思います。今回の発表内では、足底へのアーチサポートテーピングを貼付した状態と貼付していない状態での50m走タイムの比較でしたが、もっと他のこと（長距離走・幅跳び・高跳びなど）での比較を行ってデータ化しても面白いのでは？と感じました。

第2席は松本北ブロック折口裕史会員による『松本市市制施行110周年記念事業・第1回松本マラソン救護活動報告』の発表がありました。松本市で初めて行われた日本陸連公認大会となり、全国各地より参加者が来たそうです。そんな中で、我々中信地区の会員7名が救護活動のボランティアとして参加し、出場したランナーたちのケアを行ったとのこと。今回の松本マラソンは42.195kmのフルマラソンと2kmのファミリーランの2種目が行われ、フルマラソンに関しては高低差90mの厳しいコースレイアウトだったという事もあり、沢山のランナーがケアに訪れ、そのランナーを限られた時間内でケアを行わなければならない、他団体（長野県鍼灸師会・松筑鍼灸マッサージ師会など）と連携しながらケアをしたそうです。報告自体は細かく救護活動データが記されていて、来年の救

護時にも役に立つと思います。（松本マラソンは来年も行われるとのこと）

第3席は安曇南ブロック中村吉孝会員・井出克行会員による『安曇野市との災害時協定締結と訓練活動報告』の合同報告がありました。平成29年1月20日に安曇野市と（公社）長野県柔道整復師会との間で災害発生時の相互協力に関する協定が結ばれました。この協定は行政や三師会と共に相互協力を行うというもので、安曇野市からの要請や大規模震災（震度6弱以上）が発生した際に指定された場所にて業務協力をするそうです。協定を結ぶために沢山の苦労があったと聞きます。しかし、一番肝心なのは協定締結後の今、我々はきちんと災害時に救護活動が出来るかどうかという事です。訓練に参加されている様子や内容の話を聞きましたが、トリアージの行い方や応急処置の留意点など他団体の先生方と一緒に行ったそうです。12月に入って長野県北信・中信で震度4の地震が深夜に発生しました。今回は震度4であったので大きな被害は報告されていませんでしたが、もしこの地震が震度6や7であった時、自分は本当に救護を行うことが出来るのであろうかと考えさせられた活動報告でした。

3題の会員研究発表後は中信松本病院整形外科の磯部研一先生と小林博一先生に総評を頂きました。毎年お忙しい中、我々柔道整復師会のためにご尽力を頂いたことに感謝しております。

今年度は、特別講演と市民公開講座を行いました。

特別講演は（株）エス・エス・ビーより富田孝次様をお迎えし『接骨院経営に役立つ超音波観察装置』についてご講演頂きました。近年、

我々の業界でも超音波観察装置による損傷部位の確認を行う先生方が増えてきました。整形外科の先生と話をした時も、15年ほど前から整形外科でも超音波観察装置を積極的に取り入れ、逆に『超音波観察装置を取り扱えない整形外科医は整形外科医ではないよ』と笑いながら言っておりました。冗談もあったとは思いますが、それくらい普及しているという現実を知ることになりました。しかし、超音波観察装置の最新型はとても鮮明に画像が映し出されるようになったとは言え、やはりしっかりと解剖学を学び直し、更に画像を判断出来るようになる訓練を沢山積み重ねなければなりません。そして、超音波観察装置は最後に確認するためのもので、最初に使うものではない。まずは問診や視診や徒手検査などをしっかり行い、更に確認するために使うものだと富田様はおっしゃっておりました。我々柔道整復師に求められるスキルアップツールの一つなのではないかと感じた講演でした。

最後に市民公開講座として長野県立木曽病院整形外科より中曽根潤先生をお招きして『骨関節再建治療と初期治療との関わり』をご講演頂きました。中曽根先生は下肢の外科を専門とされ、特に創外固定を用いた骨延長や変形矯正を

積極的に取り組んでいるとお聞きしました。骨延長や変形矯正は不要な部分を取り除いたり切れ込みを入れたりして、その後に新しく骨が出来るスペースを作り出し、創外固定を施し調整していきます。骨が再生し癒合するまでは骨と骨の間には空洞があるという訳です。それを創外固定によって保持し調整するそうです。例えば粉碎骨折し骨癒合せず偽関節になり始めていた脛骨を、創外固定を用いた骨延長術で、正常歩行だけではなくダンスが踊れるまで回復させた映像を見た時はびっくり致しました。初検時は、粉碎骨折が骨癒合せずに2ヶ月ほど固定され、さらに化膿までしていた状態から、そこまで回復出来たのは本当に素晴らしい技術だと痛感致しました。今回は創外固定の話だけではなく、先生が普段から携わる色々な疾患についてお話を頂くことが出来ました。限られた時間の中だったので、もっともっとお聞きしたいところでしたが、本当に勉強になったお話でした。

以上をもって、全スケジュールが終了し、表彰・撮影と続き無事プログラムを終了しました。来年への大きな課題も残る学会でしたが、その分得られたものも大きかったのではないかと思います。



中曽根潤先生



富田 孝次様



発表者



記念写真

## 第26回日本柔道整復接骨医学会を終えて

東信地区 中村 元

第26回日本柔道整復接骨医学会が11月3、4日（金、土）に大阪府大阪府立国際会議場グランキューブにて開催されました。長野県からは北信地区3名、東信地区12名、中信地区1名、南信地区13名の計29名が参加致しました。今大会のテーマは、「地域のゲートキーパーとしての柔道整復師」—安心・安全な柔道整復の提供のために—。

東信地区からは國友康晴会員の「小胸筋ストレッチへの呼吸介入による筋柔軟性の変化」、竹田悠毅会員の「慢性足関節不安定症におけるATFLの長さ変化と足趾力」、掛川晃会員の「前距腓靭帯と踵腓靭帯の腓骨付着部と交通線維の構造」、廣川喜博会員の「急性足関節外側靭帯損傷における手技後の荷重能力調査」、私は「足関節テーピングが足指把持力に及ぼす影響」の題で発表させていただきました。

発表が3日の私は、発表までガチガチに緊張してしまい、いくつか聞きたい発表があったにも関わらず気がそぞろになり聴き逃してしまったり、スライドデータの提出の時間まで発表用のスライドを何度も眺めては直したりしていました。発表の時間が迫り私の前の演者が発表し

ていましたが、内容はほぼ頭に入ること無く、前の演者が座長にデータの取り方について色々質問され、しどろもどろになっていたのを見て、余計に不安をつのらせながら壇上に向かいました。緊張でなにを話したか覚えてないのですが、様々な先生方に見に来ていただき、拙いながらも終えることが出来ました。

3日の夜は登録有形文化財にも指定されている鯛よし百番にて東信支部の先生方と一緒に懇親会に参加させていただきました。大正時代に築かれたものをそのままに、現在も料亭として使われており、当時の建築美術の豪華絢爛な装飾の名残が味わえる建物として知られています。龍や獅子、眠り猫や金の屏風など様々な内装を見物しながら会は始まり、たっぷりの海鮮や野菜の鍋料理をいただきながら、終始笑顔に包まれた会の雰囲気、発表で緊張しきっていた私もやっと肩の力を抜くことができました。

今回の研究に際し、様々な文献に触れ、大会では多様な技術と知識を学ぶことが出来ました。これからも自分の成長とより良い施術の提供ができるよう一層に精進したいと思います。



## 第22回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会

中信スポーツ支援部 高原 祐樹

去る平成29年11月26日、松本総合体育館メインアリーナに於いて第22回醍醐敏郎杯全国少年柔道錬成大会が行われ、全国各地から日頃厳しい練習に明け暮れる選手達が松本に集結しました。これぞ全国大会！早朝から会場内は物凄い緊張感に包まれておりました。私は今年も中学生の部において審判をさせて頂きましたが、やはり、技の勢い、試合運びにとっても迫力があり驚かされた試合がたくさんありました。

体格は小さいながらも、大きな選手に向かっていく姿はとても輝いておりました。

今年の大会においては大きな怪我もなくスムーズな試合進行となり、毎年レベルの向上を感じるものであります。

最後になりましたが、連日の運営に携わった会員方、審判や補助員の皆様に心より感謝を申し上げます。





## 南信地区学術大会・学術講演会 (市民公開講座)

南信地区 学術部 佐藤 光洋

平成29年11月26日（日）駒ヶ根市「アイパル」にて南信地区学術大会・学術講演会（市民公開講座）が開催された。

先行して午前9時開会した学術大会の会員発表「自由テーマ」に対し3名の会員が発表を行った。

第1題「シンスプリントに対するテーピングの一考察」では高木観志座長進行により飯伊ブロックの原翔一郎会員がキネシオテーピングを用いたシンスプリントに対する治療法を報告。

本テーピング法の特筆したところは異なる材質のテーピングを組み合わせた方法だという事。テーピングの効果を判り易く評価するために理学療法・手技療法・ストレッチなどを行わず、テーピング貼付前後でアンケートを取り評価していく手法を用い有効度を客観的に評価した発表であった。発表後にテーピング法の実演が行われた。

第2題「筋・筋膜性腰痛症の患者に対する股関節伸展ストレッチの効果」では秋山友彦座長進行により諏訪ブロック赤羽翔会員が筋・筋膜性腰痛症例に対する股関節伸展ストレッチ方法を報告。

腰部のケアだけでなく股関節伸展ストレッチを行うことで治療期間を短縮できるケア方法の報告だけでなく急性期腰部椎間板ヘルニアに対しては効果が認められなかったという成功以外の注意症例報告もあった。発表後にストレッチの実演が行われた。

第3題「肩関節可動域に対する遠位筋膜アプローチ」では、佐藤光洋座長進行により上伊那ブロック吉原賢一会員が肩部へ直接接触らず大腿

部へ筋・筋膜リリースを行うことで肩関節可動域の改善を図り良好な治療成績を上げた症例を報告。

肩関節可動域改善方法に大腿筋膜へのアプローチする方法で、部位ごとに狙う大腿筋を判り易く分類した工夫があり頸部～肩関節のケア方法の幅を広げる内容で、どの会員にも直ぐに試せる内容を禁忌事項も説明した内容であった。発表後に遠位筋膜アプローチの実演が行われた。

時間の遅延なく学会は終了し10時50分より一般聴講者も参加した学術講演会が開かれ、昨年の県解剖学実習で基調講演をされた相澤病院スポーツ疾患センターでセンター長としてご活躍の伊坪敏郎先生による「スポーツ外傷・障害の基礎」と題した講演を行っていただいた。

講演では一般の方20名、他地区会員4名、南信地区会員62名計86名が参加し、重症度の高い頭・頸部外傷から心肺蘇生法の必要性をまず説明して頂き、各論として腰部、下肢の疾患、上肢の疾患を、一般の方にも判り易くご解説いただいた。90分と長い講演の中、途中休憩として会場にクイズを投げかけるなど、聴講者を飽きさせない工夫があり、加えて腰痛に関しての後屈時痛は要注意とか寛骨の剥離骨折に注意等、我々会員だけでなく指導者やご家族向けの注意喚起をして頂いた伊坪先生の講演に感銘を受けた。伊坪先生の専門である肩関節・肘関節の各論では手術の術式の説明を写真とともにご解説いただき、一般だけでなく我々医療者向けのお話もあり大変勉強になった。講演会終了後、来賓として高田保（公社）長野県柔道整復師会会長と共に講師伊坪敏郎先生にもご参加いただき

懇親会が盛大に開かれた。

懇親会の席では伊坪敏郎先生に「患者さんを紹介しあう先生方と顔が見える関係を構築することは大変重要だと思っています。」とのお言葉を賜り、基幹病院との良好な関係構築に繋がる素晴らしい交流会となった。

伊坪先生と高田会長を囲んでの宴席は終始和やかに進み参加者は親交を深め合った。

今回、講演会の実行委員責任者として初めて講演会の立ち上げに関わったのですが、講師との打ち合わせ、会場手配・準備、講演会ポスター・学会誌作成等、こんなにもやらなければならない事が多く大変だという事を知り、今まで様々な講演会・学会を作ってきた先生方に尊敬の念と深い感謝を申し上げます。

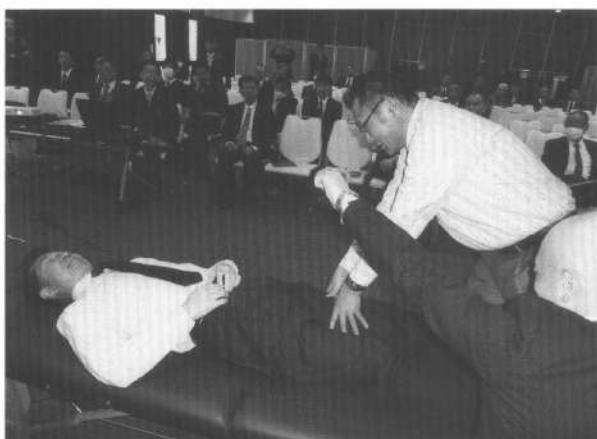
今回実行委員でご協力賜りました各会員・学会にご参加・ご協賛下さった南信地区会員、講師の伊坪敏郎先生にお声かけ頂いた井坪克人学会顧問、交流会の主催でご尽力いただく傍らで様々な問題を解決して頂いた北原弘靖上伊那ブロック事業部長、学会誌・ポスター作製責任者で司会進行を引き受けて頂いた清水仁美会員、学会開催までの手順をご教示頂いた澁谷善宏上伊那ブロック総務部長、無理難題を快く引き受けて頂いた秋山友彦諏訪ブロック学術部長、高木観志飯伊ブロック学術部長、会場手配・会場準備に御尽力頂き学会の統括をしてくださいました宮下厚南信地区会長、各役員の手配や学会開催までの手順をご教示頂き最後まで助けて頂いた原隆南信地区学術部長にこの場をお借りし心より感謝の思いをお伝えし報告とします。



原先生実技



赤羽先生実技



吉原先生実技



発表者表彰



宮下会長挨拶



講師写真



安藤副会長挨拶

# 平成29年度新入会員研修会

南信事業部長 上原 哲

平成29年9月10日（日）事業部主催の、平成29年度新入会員研修会が、長野県柔道整復師会館で開催されました。

新入会員研修対象者 東信地区12名 北信地区35名 中信地区23名 南信地区11名

受講出席者 63名 欠席 18名（5年間に3回の受講が必修）



倉科正 副事業部長の司会進行で始まり、高田保 会長から、受講後は情報の取得に努め日々の業務に生かし又、本会・地区の事業に積極的に参加する事で、柔道整復師として資質向上をして欲しいと挨拶がありました。

続いて、今回初めて参加された新入会員22名の自己紹介がありました。

## (1) 高田保 会長講義

柔道整復師の歴史と現在、これからについて。接骨医のはじまり（江戸時代の文献紹介）骨を接ぐときの心得として「患者の気持ちを察して施術する」と記載がありました。そして、先人達が苦勞して柔道整復師としての地位を築いてきたのです。

現在、社団会員は公益事業に貢献しており、柔道整復師の社会的責任と今後の役割が大切です。そして、社団入会にメリットがあるようにしていきます。

## (2) 西條賢治 学術部長講義

学術に対する考え方（理想と現実）新入会員の学術は医療人としての基礎を築く時です。積極的に論文の発表をして下さい。そして、接骨医学会に入会し、5年間勉強して認定柔道整復師になるようにしてください。

## (3) 宮下厚 IT広報部長講義

信州整骨内報はこれからペーパーレス化していく予定です。内報を見るようにして下さい。広報ほねつぎ（年2回発行）は長野県柔道整復師会の公益・公共事業を周知して頂くために、全国健康保険協会長野支部、県内27の健康保険組合、県内6の共済組合、公的審査員へ送付します。是非、投稿して下さい。

## (4) 田中健一 スポーツ支援副部長講義

長野県体育協会・中学校体育連盟・スポー





ツドクター協議会・長野県柔道連盟等、意思疎通を図り、国体・中体連へ会員を派遣し、救護活動をして柔整師の知名度を上げる活動をしています。(安曇野ハーフマラソン、全中陸上大会トレーナー活動の写真を交えて説明) 又、柔道長野県代表チームを決め、日整の全国大会へ出場。北信越ブロック柔道大会では、選考会・壮行会をして出場を支援しています。

約2時間の研修会は、新入会員にとって充実した時間であったと思います。

本会の事業に積極的に参加して頂き、自己研鑽を積み活躍されることを期待致します。



東垣外竜	1/27	豊丘村地域ミニデイ教室	10	豊丘村
伊藤睦	3/6	〃	25	〃
伊藤睦	5/10	〃	18	〃
東垣外竜	5/31	〃	12	〃
竹内・高木・東垣外	6/3	北部デイ（通所型A）	14	飯田市
高木観志	6/10	〃	15	〃
東垣外竜	6/17	〃	15	〃
竹内敏弘	6/24	〃	13	〃
木下甲太郎	5/16	JAめぐり（通所型A）	13	飯田市
木下芳郎	5/23	〃	11	〃
小嶋静人	5/30	〃	15	〃
奥村幸志	5/31	〃	12	〃
木村浩士	1/5	諏訪市「健康柔ら体操教室」	3	諏訪市
原 隆	1/23	〃	15	〃
阿部光典	2/6	〃	13	〃
秋山友彦	2/15	〃	22	〃
木村浩士	3/2	〃	20	諏訪市
濱ひろみ・木村浩士	5/9	〃	31	〃
阿部光典・野口邦治	5/23	〃	5	〃
秋山友彦・濱ひろみ	5/30	〃	16	〃
木村浩士・野口邦治	6/9	〃	15	〃
阿部光典・秋山友彦	6/13	〃	27	〃
濱ひろみ・阿部光典	6/20	〃	9	〃
秋山友彦・濱ひろみ	6/27	〃	0	〃
濱ひろみ	1/13	飯島ふれあいサロン	10	諏訪市
〃	2/3	〃	8	〃
〃	3/3	〃	10	〃
〃	4/7	〃	10	〃
〃	5/12	〃	11	〃
〃	6/2	〃	21	〃
濱ひろみ	4/22	清水4区いきいき健康教室	8	諏訪市
〃	5/20	〃	11	〃
〃	6/10	〃	6	〃

●東信地区の活動はありませんでした。担当者 金見 充

松村秀樹	6/24	〃	13	〃
村松文次	2/4	いいだデイ (通所型A)	12	飯田市
馬場修平	2/11	〃	10	〃
小島誠	2/18	〃	15	〃
木下甲太郎	2/25	〃	13	〃
小島誠	3/4	〃	14	〃
小嶋静人	3/11	〃	13	〃
原翔一郎	3/18	〃	12	〃
村松文次	3/25	〃	11	〃
馬場修平	4/1	〃	13	〃
木下芳郎	4/8	〃	11	〃
小島誠	4/15	〃	11	〃
木下甲太郎	4/22	〃	13	〃
小嶋静人	5/6	〃	12	〃
原翔一郎	5/13	〃	10	〃
村松文次	5/20	〃	9	〃
馬場修平	5/27	〃	12	〃
木下芳郎	6/3	〃	13	〃
木下甲太郎	6/10	〃	9	〃
小島誠	6/17	〃	8	〃
小嶋静人	6/24	〃	10	〃
北林武文	1/11	松川町 ひまわり荘	6	松川町
北林・尾曾・小澤	1/18	〃	6	〃
尾曾元広	1/25	〃	6	〃
小澤雄司	2/1	〃	4	〃
北林武文	2/8	〃	4	〃
北林・尾曾・小澤	2/15	〃	4	〃
北林・尾曾・小澤	2/22	松川町 ひまわり荘	4	松川町
北林・尾曾・後藤	4/5	〃	5	〃
尾曾元広	4/12	〃	5	〃
後藤安成	4/19	〃	5	〃
北林武文	4/26	〃	5	〃
尾曾元広	5/10	〃	5	〃
北林・尾曾・後藤	5/17	〃	5	〃
後藤安成	5/24	〃	5	〃
北林武文	5/31	〃	5	〃
尾曾元広	6/7	〃	5	〃
後藤安成	6/14	〃	5	〃
北林・尾曾・後藤	6/21	〃	5	〃
北林・尾曾・後藤	6/28	〃	5	〃
北林・尾曾・小澤・後藤	1/26	コスモス松川デイ	6	松川町
北林・尾曾・小澤・後藤	1/30	〃	6	〃
北林・尾曾・小澤・後藤	3/13	〃	9	〃
北林・尾曾・小澤・後藤	3/23	〃	9	〃
北林・尾曾・後藤	5/18	〃	5	〃
北林・尾曾・後藤	5/22	〃	5	〃

〃	6/14	〃	5	〃
〃	6/20	〃	4	〃
〃	6/28	〃	5	〃

●南信地区 担当者 田中兼次

氏名	月日	会場	人数	地区(市町村)
田中兼次・古賀修平	1/5	いきいきランド 午前班・午後班	26	下條村
〃	1/12	〃	30	〃
〃	1/19	〃	30	〃
〃	1/26	〃	30	〃
〃	2/2	〃	37	〃
〃	2/9	〃	11	〃
〃	2/16	〃	30	〃
〃	2/23	〃	27	〃
〃	3/2	〃	31	〃
〃	3/9	〃	39	〃
〃	3/16	〃	32	〃
〃	3/23	〃	34	〃
田中兼次・古賀修平	5/11	いきいきランド 午前班・午後班	40	下條村
〃	5/18	〃	36	〃
〃	5/25	〃	34	〃
〃	6/1	〃	35	〃
〃	6/8	〃	37	〃
〃	6/15	〃	36	〃
〃	6/22	〃	33	〃
〃	6/29	〃	31	〃
松村秀樹	1/7	竜東デイ(通所型C)	10	飯田市
木下陽子	1/14	〃	9	〃
木下陽子	1/21	〃	9	〃
松村秀樹	1/28	〃	9	〃
松村秀樹	2/25	竜東デイ(通所型A)	8	〃
丸山申介	3/4	〃	8	〃
竹下祥一	3/11	〃	8	〃
木下陽子	3/18	〃	8	〃
石原尚幸	3/25	〃	8	〃
松村秀樹	4/1	〃	11	〃
木下陽子	4/8	〃	11	〃
木下陽子	4/15	竜東デイ(通所型A)	11	飯田市
丸山申介	4/22	〃	9	〃
石原尚幸	5/6	〃	11	〃
丸山申介	5/20	〃	8	〃
松村秀樹	5/27	〃	13	〃
木下陽子	6/3	〃	14	〃
木下陽子	6/10	〃	11	〃
石原尚幸	6/17	〃	13	〃

降旗秀徳	3/27	〃	20	〃
下里泰伸	1/16	生坂高齢者センター	9	東筑摩郡生坂村
〃	1/23	〃	9	〃
〃	2/6	〃	10	〃
〃	3/6	〃	10	〃
降旗秀徳	1/4	豊科老人福祉センター	18	安曇野市豊科
降旗秀徳・森本健雅	1/11	〃	24	〃
〃	1/18	〃	15	〃
〃	1/25	〃	20	〃
〃	2/1	〃	22	〃
〃	2/8	〃	20	〃
〃	2/15	〃	23	〃
森本健雅	2/22	〃	21	〃
降旗秀徳・森本健雅	3/1	〃	21	〃
〃	5/10	安曇野市社協穂高支所	10	安曇野市穂高
降旗秀徳	5/17	〃	9	〃
森本健雅	5/24	〃	10	〃
降旗秀徳	6/7	〃	9	〃
森本健雅	6/14	〃	10	〃
降旗秀徳	6/21	〃	9	〃
高田保	1/26	上松町いきいき広場こまくさ	18	木曾郡上松町
〃	2/27	〃	16	〃
〃	3/29	〃	16	〃
〃	4/27	〃	18	〃
〃	5/25	〃	20	〃
〃	6/29	〃	17	〃
〃	1/10	高田整骨院	4	〃
〃	1/17	〃	8	〃
〃	1/24	〃	6	〃
〃	1/31	〃	6	〃
〃	2/7	〃	5	〃
〃	2/15	〃	6	〃
〃	2/21	〃	5	〃
〃	2/28	〃	5	〃
〃	3/8	〃	4	〃
〃	3/15	〃	5	〃
〃	3/21	〃	5	〃
〃	4/4	〃	4	〃
〃	4/11	〃	4	〃
〃	4/18	〃	6	〃
〃	4/25	〃	5	〃
〃	5/9	〃	3	〃
〃	5/16	〃	5	〃
〃	5/23	〃	5	〃
〃	5/30	〃	5	〃
〃	6/6	〃	5	〃



## 《A》

石川県⇒施術所に直接電話がきた事例は確認されていない。

石川県にコアジャパンは入っていないが、他県の協会けんぽから月2件程度の返戻がある。

長野県⇒国保、後期高齢への参入及び電話での問い合わせは確認出来ていない。

また、電話での問い合わせについては、回答しない様指導している。

福井県⇒国保、後期高齢への参入及び電話での問い合わせは今のところない。

富山県⇒国保、後期高齢への参入及び電話での問い合わせは今のところない。

## 《Q. 長野県》

公益社団法人運営に際し、長野県では地区（実際の支部）を外部の任意団体として取り扱ってきましたが、任意団体が故にその地区に入らなくとも良いでは無いかとの考えもでき、実際に地区に加入しない等の事案も発生しております。

つきましては、各県でも支部等の下部組織があると思いますが、その位置付け等ご教示の程よろしく願いいたします。

## 《A》

新潟県⇒支部は本会と一体化されているため、支部会費の徴収は行っていない。

石川県⇒支部でも公益法人の冠を付けているので、当然会計は一本化である。

福井県⇒5支部あるが、いずれも任意団体（外部団体）としてあるため支部ごとに会費を徴収している。本会の会員は全て支部に所属している。

富山県⇒外部団体としてあるが、委任状をもらい支部の会費を本会で徴収している。

## 《Q. 福井県》

来年10月に行われる福井しあわせ元気国体に救護班として参加すべく準備を進めているが、本大会のような全国レベルの競技大会における日当・手当、支給の方法、一日の金額等をご教示願いたい。

## 《A》

石川県⇒全国レベルの大会は無いが、各種スポーツ大会等のボランティア活動への支給は半日千円、一日2千円、交通費2千円、各活動に対し弁当代として千円の支給を行っている。

長野県⇒国体に関しては、何日活動しても、競技団体より手当がある場合は5千円。競技団体より手当の無い場合は1万円と規約で定めてある。

新潟県⇒10年ほど前の新潟国体で救護・コンディショニングのボランティア活動を行った際は、準備段階で一回だけ旅費日当の支給を行ったのみであったが、後日、体協会長と当会の会長名で感謝状を贈ることで会としての誠意を表した。

富山県⇒平日は1万5千円+交通費、休日は8千円+交通費。

（交通費はバスの代金往復、因みに千円から3千円）

## 【北信越ブロック会会則改正（案）について】

福井県より、事前に配布された改正案には表彰規程等、会長会申し合わせ事項が盛り込まれていないため、もう一度精査した上で改正してはとの意見が出され承認された。

## 【日整（業界）改革の概要】

日整より、豊島良一政策部長、三橋裕之総務部長においでいただき、柔道整復師界の改革について下記事項の説明をしていただいた。

## 1. 教育改革

・柔道整復師学校養成施設カリキュラム等

改善検討委員会

- ・ 養成校カリキュラム変更に伴う外部での  
臨地実習について
- ・ 臨地実習施術所の要件
- ・ 養成校の外部臨地実習について
- ・ 臨地実習指導者講習会プログラム案

・ 制度改革へ

- ・ 審査会の権限強化
- ・ 施術管理者の要件見直し

3. 電子請求に係わるモデル事業の実施

- ・ 電子請求フローチャート

2. 協定書の見直し制度改革はこうなる

4. 亜急性の議論 等

## 救護・トレーナー派遣状況報告

スポーツ支援部長 保尊 伸昭

平成29年7月から12月までにおける当会の重要公益事業である中体連や国体、各種スポーツ大会への救護・トレーナー派遣の状況を地区ごと報告いたします。この活動は我々の職能を活かし、スポーツ現場で起こる骨折、捻挫の応急処置をはじめ、捻挫、肉離れ等の急性外傷の処置、様々なスポーツ傷害への対応を行っております。地域社会への貢献を目的とし（公社）長野県柔道整復師会そして社団会員と社団外の柔整師との区別を明確にする一面も持ち合わせるものであり、地域社会が社団会員柔整師（整骨院・接骨院）へのさらなる信用と理解が深まる

ことを期待いたします。現場での活動は多岐にわたり外傷の処置（アイシング、整復、固定）、テーピング、ストレッチ、手技、スポーツマッサージ、選手のケガやトレーニング指導等今後も施術所内外のノウハウを活かした救護・トレーナー活動を通し地域社会に貢献いたします。

県下各地で多種目にわたる活動に携わっていただいた会員の方々のご協力に感謝申し上げますとともに、これからも継続してゆきますので益々のご協力をお願いいたします。

以下 派遣者一覧

東信地区 救護・トレーナー派遣状況報告 平成29年7月～12月（担当部員 横関 康寿）

氏名	活動日	競技名	会場
秋山 弘	8月20日	立科町少年スポーツ大会	立科中学校
〃	8月27日	立科町分館対抗バレーボール大会	権現山運動公園
〃	10月22日	中体連新人東信サッカー	浅科中学校
浅川 健一	10月1日	中体連新人佐久サッカー	浅科中学校
〃	10月22日	中体連新人東信サッカー	中込中学校
飯田 秀男	10月1日	アサマ2000スカイレース	高峰高原
石坂 秀司	10月7日	中体連新人上小柔道	上田城跡公園体育館
市川 敦	10月1日	県四地区対抗柔道大会	小諸市武道館
井出 陽人	10月21日	中体連新人佐久女子バスケットボール	佐久穂中学校
〃	11月3日	中体連新人佐久女子バレーボール	佐久穂中学校
内山 貴之	7月2日	国体予選選考会	小諸市武道館
〃	10月1日	アサマ2000スカイレース	高峰高原
〃	10月8日	上田古戦場ハーフマラソン	上田古戦場公園
〃	10月14日	高体連東信総合体育大会柔道	小諸市武道館
荻原 誠	7月15～16日	中体連県総合体育大会剣道	青木村総合体育館
〃	8月19～20日	北信越国民体育大会剣道	福井県立武道館
〃	10月7日	中体連新人上小剣道	上田第一中学校
〃	10月21日	中体連新人東信剣道	小諸東中学校
柏木 亮輔	10月7日	中体連新人佐久ソフトテニス	白田運動公園
〃	10月21日	中体連新人東信サッカー	中込中学校
〃	11月3日	中体連新人佐久女子バレーボール	佐久穂しらかば体育館
菊池 和哉	10月1日	中体連新人佐久サッカー	野沢中学校

スポーツ支援部の活動報告

〃	10月7日	中体連新人佐久サッカー	野沢中学校
〃	10月21～22日	中体連新人東信サッカー	浅間中学校
〃	11月18日	中体連新人東信女子バレーボール	東御ふれあい体育館
國友 康晴	10月8日	上田古戦場ハーフマラソン	上田古戦場公園
糊澤 秀樹	9月3日	依田窪柔剣道大会	長門町民体育館
小池 祐貴	10月14～15日	中体連新人上小男子バスケットボール	塩田中学校
〃	11月11～12日	中体連新人東信男子バスケットボール	軽井沢中学校
小平 一人	11月5日	佐久市柔道選手権大会	佐久市武道館
小宮山 潤	10月1日	アサマ2000スカイレース	高峰高原
桜井 秀信	9月3日	中体連新人水泳	佐久長聖中学校
〃	10月7日	中体連新人佐久ソフトテニス	小諸乙女湖テニスコート
田口 信宏	10月7～8日	中体連新人上小サッカー	丸子中学校
〃	10月21～22日	中体連新人東信サッカー	立科中学校
竹田 悠毅	10月8日	上田古戦場ハーフマラソン	上田古戦場公園
〃	10月21日	中体連新人東信サッカー	浅科中学校
田中 敏浩	11月3日	中体連新人上小男子バレーボール	東御東部中学校
〃	11月19日	中体連新人東信男子バレーボール	塩田中学校
田中 侑里	10月21日	中体連新人東信柔道	小諸市武道館
土屋 進	10月21～22日	中体連新人佐久男子バスケットボール	軽井沢中学校
寺嶋 久程	7月15～16日	中体連県総合体育大会ソフトボール	小諸市総合運動場
〃	8月5～6日	北信越ブロックスポ少交流大会卓球	佐久市総合体育館
〃	10月7日	中体連新人佐久剣道	小諸東中学校
〃	10月14～15日	高体連東信大会剣道	上田市自然運動公園
〃	10月21～22日	中体連新人佐久女子バスケットボール	海瀬・佐久穂体育館
〃	11月3日	中体連新人佐久男子バレーボール	小諸東中学校
〃	11月11～12日	中体連新人東信女子バスケットボール	佐久市総合体育館
〃	11月19日	佐久市小学生駅伝大会	駒場公園
内藤 守春	11月5日	佐久市柔道選手権大会	佐久市武道館
中村 元	10月7日	中体連新人佐久サッカー	佐久市陸上競技場
〃	10月8日	上田古戦場ハーフマラソン	上田古戦場公園
廣川 喜博	10月7日	中体連新人佐久サッカー	浅科中学校
〃	10月9日	中体連新人佐久陸上	佐久市陸上競技場
〃	11月18～19日	中体連新人東信女子バレーボール	東御東部中学校
福田 晋也	10月7日	中体連新人上小ソフトテニス	東御中央公園
〃	10月22日	中体連新人上小女子バスケットボール	青木村総合体育館
〃	11月3日	中体連新人上小女子バレーボール	北御牧中学校
堀内 将之	10月21日	中体連新人上小女子バスケットボール	青木村総合体育館
松澤 真	10月1日	アサマ2000スカイレース	高峰高原
〃	10月7～8日	中体連新人上小サッカー	塩田中学校
〃	11月3日	中体連新人上小女子バレーボール	東御ふれあい体育館
柳原 靖	8月20日	立科町少年スポーツ大会	権現山体育館
〃	8月27日	立科町分館対抗バレーボール大会	権現山体育館
〃	10月1日	中体連新人佐久サッカー	立科中学校
横関 康寿	8月18～20日	北信越国民体育大会ソフトテニス	福井県越前市
〃	10月28日	中体連新人東信ソフトテニス	東御中央公園
依田 篤志	10月21日	中体連新人佐久男子バスケットボール	御代田中学校

北信地区 救護・トレーナー派遣状況報告 平成29年7月～12月 (担当部員 高原 義勝)

氏名	活動日	競技名	会場
原 和正	7月1日～2日	長野県体操競技選手権	ホワイトリング・サブアリーナ
〃	7月21日～23日	北信越国民体育大会 ボウリング	福井県
〃	9月29日～10月5日	国民体育大会 ボウリング	愛媛県松山市
石田 拓未	7月16日(日)	中体連 県大会 ソフトテニス	南長野運動公園庭球場
〃	10月15日(日)	北信中学軟式野球	長野県営球場
大口 友久	7月16日(日)	中体連 県大会 バドミントン	中野市民体育館
〃	10月22日(日)	中野・下高井中学バスケットボール	飯山市民体育館
〃	11月3日(金・祝)	中野・下高井中学バレーボール女子	中野平中学校
久井 真	7月16日(日)	中体連 県大会 バスケットボール	高山村立高山中学校
〃	9月17日(日)	長野上水内中学サッカー	豊野中学校
〃	10月8日(日)	北信中学ソフトボール	若穂中央公園多目的広場
〃	10月15日(日)	更埴中学バスケットボール	千曲市戸倉体育館
〃	10月22日(日)	更埴中学ハンドボール	埴生中学校体育館
小島 弘光	7月16日(日)	中体連 県大会 水泳	アクアウイング
〃	9月3日(日)	北信中学水 泳	須高広域総合プール
山内 明	7月16日(日)	中体連 県大会 柔道	長野運動公園柔剣道場
〃	10月15日(日)	長野上水内中学剣道	松代中学校
〃	10月29日(日)	長野上水内中学柔道	長野運動公園柔剣道場
〃	11月19日(日)	北信中学柔道	長野運動公園柔剣道場
塚田 剛	7月16日(日)	中体連 県大会 ハンドボール	千曲市戸倉体育館
松田 和也	9月17日(日)	長野上水内中学サッカー	東北中学校
古岩井裕之	9月17日(日)	長野上水内中学サッカー	犀陵中学校
淵田 高章	10月8日(日)	長野上水内中学ソフトテニス	長野運動公園庭球場
堀内健太郎	9月18日(月・祝)	北信中学陸上競技	長野市営陸上競技場
小林 尚生	9月17日(日)	更埴中学サッカー	千曲市サッカー場
樋口 知宏	9月17日(日)	上高井中学サッカー	福島グラウンド
吉澤 賢治	10月15日(日)	上高井中学バスケットボール	須坂市立相森中学校
〃	11月12日(日)	北信中学バドミントン	長野運動公園総合体育館
寺内 亨	10月15日(日)	中野・下高井中学柔道	中野市武道館
小林 秀樹	10月22日(日)	長野上水内中学バスケットボール女子	豊野中学校
〃	11月3日(金・祝)	長野上水内中学バレーボール女子	更北中学校
〃	11月12日(日)	北信中学バスケットボール女子	豊野中学校
柳澤 卓三	10月22日(日)	北信中学サッカー	リバーフロントスポーツガーデン
柳澤 英翔	10月22日(日)	北信中学サッカー	リバーフロントスポーツガーデン
関 賀文	10月22日(日)	長野上水内中学バスケットボール男子	飯綱中学校
高原 義勝	10月22日(日)	長野上水内中学バドミントン	長野運動公園体育館
篠崎 裕一	11月3日(金・祝)	長野上水内中学バレーボール男子	篠ノ井東中学校
西澤 亘	11月3日(金・祝)	長野上水内中学バレーボール男子	篠ノ井西中学校
〃	11月19日(日)	北信中学バレーボール男子	篠ノ井西中学校
田中 翔太	11月3日(金・祝)	長野上水内中学バレーボール女子	東部中学校
〃	11月19日(日)	北信中学卓球	長野運動公園総合体育館
脇本 裕	11月3日(金・祝)	更埴中学バレーボール	坂城中学校
肥後 和樹	11月3日(金・祝)	上高井中学バレーボール男子	須坂市立墨坂中学校
鶴田 大輝	11月3日(金・祝)	上高井中学バレーボール女子	須坂市立東中学校



スポーツ支援部の活動報告

西條美由紀	11月12日(日)	北信中学バスケットボール男子	市営豊野体育館
伊豫田幹幸	11月12日(日)	北信中学体操	ホワイトリング
小林 克徳	11月19日(日)	北信中学バレーボール女子	裾花中学校
野竹富士雄	11月10日～13日	東日本女子駅伝競走大会	福島市信夫ヶ丘競技場
野竹 康之	11月10日～13日	東日本女子駅伝競走大会	福島市信夫ヶ丘競技場
窪田 勝	11月10日～13日	東日本女子駅伝競走大会	福島市信夫ヶ丘競技場
大口 友久	9月24日	北信州ハーフマラソン	飯山市保健センター西側
松田 和也	9月24日	北信州ハーフマラソン	飯山市保健センター西側
小橋 義彦	9月24日	北信州ハーフマラソン	飯山市保健センター西側
宮本 義豊	9月24日	北信州ハーフマラソン	飯山市保健センター西側
篠崎 裕一	9月24日	北信州ハーフマラソン	飯山市保健センター西側
熊井 貴一	9月24日	北信州ハーフマラソン	飯山市保健センター西側
久井 真	9月24日	北信州ハーフマラソン	飯山市保健センター西側
小橋 茂之	9月24日	北信州ハーフマラソン	飯山市保健センター西側
小橋 香穂	9月24日	北信州ハーフマラソン	飯山市保健センター西側
山崎 裕	10月7日	マルチサポート クロスカントリースキー	

中信地区 救護・トレーナー派遣状況報告 平成29年7月～12月 (担当部員 高原 祐樹)

氏名	活動日	競技名	会場
磯部 栄二	7月16日(日)	県大会卓球	松本平広域公園
今村 勇治	7月9日(日)	県大会相撲	木曾町民相撲場
荻上 敦志	10月22日(日)	松本市中大会バスケットボール	南部体育館
小澤 成幸	7月2日(日)	県陸上競技競技	松本平広域公園
〃	7月16日(日)	県大会軟式野球	筑北村やすらぎ球場
〃	11月3日(祝)	松本市中大会バレーボール	清水中学校
〃	10月8日(日)	松本市中大会軟式野球	寿運動広場
〃	10月22日(日)	中信大会軟式野球	坂北野球場
〃	11月12日(日)	中信大会バトミントン	信州スカイパーク
〃	12月10日(日)	松本武道祭	松本総合体育館
忍田 行憲	11月19日(日)	中信大会バレーボール	三郷文化公園体育館
川窪 武志	10月29日(日)	塩筑大会バスケットボール男女	塩尻中学校体育
北澤 誠也	9月10日(日)	ぶどうの郷ロードレース	塩尻市
曾根 直紀	10月8日(日)	安曇野市中大会サッカー	豊科南中学校
征矢野勝利	10月8日(日)	松本市中大会軟式野球	スカイパーク多目的広場
〃	10月22日(日)	松本市中大会バトミントン	梓川体育館
嶋崎 健一	9月10日(日)	ぶどうの郷ロードレース	塩尻市
〃	11月12日(日)	中信大会バスケットボール	塩尻市立体育館
〃	10月23日(日)	松本市中大会バトミントン	梓川体育館
竹下 真悟	7月16日(日)	県大会サッカー	アルウィン芝生
〃	9月10日(日)	ぶどうの郷ロードレース	塩尻市
〃	10月8日(日)	塩筑大会サッカー	中央スポーツ公園
〃	10月22日(日)	中信大会サッカー	丘中学校
竹内 泰二	11月13日(日)	中信大会バスケットボール	塩尻中学校
〃	7月13日～7月15日	北信越国体硬式テニス成人男女	福井県福井市
〃	9月30日～10月3日	本国体硬式テニス成人男女	愛媛県松山市

高原 祐樹	10月8日(日)	安曇野市中大会ソフトテニス	豊科南部公園テニスコート
〃	10月15日(日)	安曇野市中柔道	豊科武道館
〃	10月22日(日)	松本市民祭柔道	松本柔剣道場
〃	11月26日(日)	醍醐杯	松本総合体育館
中條 昌信	11月3日(日)	松本市中大会バレーボール	梓川中学校
〃	11月3日(日)	松本市中大会バレーボール	鉢盛中学校
〃	11月6日(日)	松本市中大会バレーボール	松島中学校
〃	11月19日(日)	中信大会バレーボール	鉢盛中学校
降旗 秀徳	10月29日(日)	安曇野市中大会バスケットボール	穂高西中学校
〃	10月22日(日)	中信大会サッカー	豊科南中学校
〃	11月12日(日)	中信大会バスケットボール	穂高西中学校
保尊 伸昭	7月16日(日)	県大会バレーボール	安曇野市穂高総合体育館
松村 直行	11月5日(日)	県大会柔道	三郷文化公園体育館
松尾 雄太	7月16日(日)	アルウィン芝生	県大会サッカー
〃	9月10日(日)	ぶどうの郷ロードレース	塩尻市
丸山 主税	10月8日(日)	安曇野市中大会軟式野球	堀金グラウンド

南信地区 救護・トレーナー派遣状況報告 平成29年7月～12月 (担当部員 伊藤 浩兼)

氏名	活動日	競技名	会場
諏訪ブロック			
伊藤 篤	9月3日	中体連水泳	すわっこランド屋外プール
赤羽 翔	10月8日	中体連サッカー	長峰中学校グラウンド
濱 ひろみ	10月8日	中体連野球	茅野市営野球場
野口 邦治	10月8日	中体連野球	茅野市運動公園野球場
伊藤 篤	10月22日	中体連バレーボール男子	岡谷南部中学校体育館
増澤 孝信	10月22日	中体連バレーボール女子	岡谷北部中学校体育館
宮坂 卓治	10月22日	中体連バスケットボール男子	茅野市運動公園総合体育館
原 隆	10月22日	中体連バスケットボール女子	富士見中学校体育館
藤田 良輔	11月12日	中体連バレーボール男子	茅野市運動公園総合体育館
大森 省吾	11月12日	中体連バレーボール女子	岡谷南部中学校体育館
大森 省吾	11月19日	中体連ハンドボール	岡谷北部中学校体育館
上伊那ブロック			
平沢 俊秀	10月8日	中体連サッカー	宮田中学校校庭
福沢 茂典	10月8日	中体連サッカー	赤穂中学校校庭
北原 弘靖	10月8日	中体連軟式野球	大芝球場
片桐 宣洋	10月8日	中体連軟式野球	伊那市営球場
酒井 肇	10月8日	中体連卓球	伊那市民体育館サブアリーナ
北村 豊	10月22日	中体連バレーボール男子	中川村社会体育館
吉原 賢一	10月22日	中体連バレーボール女子	飯島中学校体育館
佐藤 光洋	10月22日	中体連バスケットボール男女	伊那中学校体育館
清水 仁美	10月22日	中体連バスケットボール男女	伊那中学校体育館
飯伊ブロック			
西森 六三	10月7日	中体連柔道	飯田市武道館
関島 康道	10月7日	〃	〃
伊藤 浩兼	10月8日	中体連サッカー	喬木中学校グラウンド

スポーツ支援部の活動報告

伊藤 陸	10月8日	〃	〃
石原 尚幸	10月8日	〃	〃
矢澤 克浩	10月8日	〃	高森中学校グラウンド
田中 兼次	10月8日	中体連軟式野球	桐林グラウンド
土屋 隆恆	10月8日	〃	県営飯田球場
北林 武文	10月8日	〃	喬木村民グラウンド
高木 観志	10月8日	〃	高森町民グラウンド
竹内 敏弘	10月22日	中体連バスケットボール男子	豊丘中学校体育館
木下 陽子	10月22日	〃	〃
原 翔一郎	10月22日	中体連バスケットボール女子	豊丘村民体育館
原 友仁	10月22日	〃	〃
木下甲太郎	10月22日	中体連バレーボール男子	阿智中学校体育館
星野 良和	10月22日	〃	〃
奥村 幸志	10月22日	中体連バレーボール女子	緑ヶ丘中学校体育館
馬場 修平	10月22日	〃	〃
後藤 安成	10月22日	中体連卓球	高森町民体育館
古賀 修平	11月11日	中体連柔道	飯田市武道館
関島 康道	11月11日	〃	〃
松村 秀樹	11月12日	中体連卓球	高森町民体育館
井坪 克人	11月19日	中体連バスケットボール男子	緑ヶ丘中学校体育館
小池 輝宗	11月19日	〃	〃
木下甲太郎	11月19日	中体連バスケットボール女子	豊丘中学校体育館
東垣外 竜	11月19日	〃	〃

# 介護予防事業報告（平成29年1月～6月）

介護班長 伊藤 睦

●北信地区 担当者 松本 毅

氏名	月日	会場	人数	地区(市町村)
小橋・樋口他8名	1/11	ひざ腰らくらく教室（西部公民館）	15	中野市
布施谷・高橋（和）他1名	1/18	〃	15	〃
大塚・布施谷他1名	1/25	〃	15	〃
松本・松田他1名	2/1	〃	15	〃
高橋（文）・鶴田他1名	2/8	〃	15	〃
樋口・高橋（文）他8名	2/15	〃	15	〃
鶴田・松本他1名	2/22	〃	15	〃
松田・丸山他1名	3/1	〃	15	〃
小林・大塚他1名	3/8	〃	15	〃
高橋（和）小橋他1名	3/15	〃	15	〃
丸山・中島他8名	3/22	〃	15	〃
中島・小林他1名	3/29	〃	15	〃
大塚・小橋他	6/30	ひざ腰らくらく教室（中野保健センター）	12	中野市
松本毅	1/14	すこやか倶楽部1班（飯山老健センター湯の入）	14	飯山市
藤巻雄太	1/28	〃	14	〃
〃	2/18	〃	10	〃
肥後和樹	3/4	〃	13	〃
松本毅	3/18	〃	14	〃
肥後和樹	4/4	〃	11	〃
山崎裕	4/14	〃	10	〃
藤巻雄太	4/26	〃	11	〃
沼田鉄平	5/12	〃	11	〃
松本毅	5/24	〃	12	〃
廣川さつき	6/6	〃	14	〃
山崎裕	6/16	〃	12	〃
藤巻雄太	6/28	〃	13	〃
肥後和樹	1/7	すこやか倶楽部2班（飯山老健センター湯の入）	15	飯山市
藤巻雄太	1/21	〃	15	〃
肥後和樹	2/4	〃	16	〃
松本毅	2/25	〃	17	〃
〃	3/11	〃	16	〃
中島琢磨	3/25	〃	16	〃
松本毅	4/5	〃	13	〃
肥後和樹	4/18	〃	14	〃
山崎裕	4/28	〃	14	〃
肥後和樹	5/16	〃	15	〃
沼田鉄平	5/26	〃	14	〃

松本毅	6/7	〃	14	〃
廣川さつき	6/20	〃	14	〃
山崎裕	6/30	〃	14	〃
〃	1/5	すこやか倶楽部3班（飯山老健センター湯の入）	14	飯山市
沼田鉄平	1/19	〃	14	〃
〃	2/2	〃	14	〃
山崎裕	2/16	〃	14	〃
藤巻雄太	3/2	〃	14	〃
山崎裕	3/16	〃	14	〃
沼田鉄平	4/7	〃	11	〃
松本毅	4/19	〃	11	〃
肥後和樹	5/2	〃	10	〃
藤巻雄太	5/17	〃	10	〃
肥後和樹	5/30	〃	11	〃
沼田鉄平	6/9	〃	12	〃
藤巻雄太	6/21	〃	10	〃
〃	1/11	すこやか倶楽部4班（飯山老健センター湯の入）	13	飯山市
肥後和樹	1/25	〃	14	〃
藤巻雄太	2/8	〃	15	〃
沼田鉄平	2/22	〃	15	〃
〃	3/8	〃	15	〃
〃	3/22	〃	15	〃
廣川・松本	4/11	〃	11	〃
沼田鉄平	4/21	〃	11	〃
廣川さつき	5/9	〃	8	〃
山崎裕	5/19	〃	6	〃
藤巻雄太	5/31	〃	6	〃
肥後和樹	6/13	〃	7	〃
沼田鉄平	6/23	〃	8	〃
〃	1/12	すこやか倶楽部5班（飯山老健センター湯の入）	15	飯山市
山崎裕	1/26	〃	15	〃
山崎裕	2/9	〃	16	〃
肥後和樹	2/23	〃	15	〃
〃	3/9	〃	15	〃
山崎裕	3/23	〃	15	〃
藤巻雄太	4/12	〃	11	〃
廣川さつき	4/25	〃	11	〃
松本毅	5/10	〃	10	〃
廣川さつき	5/23	〃	10	〃
山崎裕	6/2	〃	12	〃
松本毅	6/14	〃	11	〃
肥後和樹	6/27	〃	11	〃
松本毅	1/4	すこやか倶楽部6班（飯山老健センター湯の入）	16	飯山市
藤巻雄太	1/18	〃	16	〃
肥後和樹	2/1	〃	15	〃
松本毅	2/15	〃	16	〃



沼田鉄平	3/1	〃	16	〃
藤巻雄太	3/15	〃	16	〃
松本毅	3/29	〃	16	〃
松本毅	1/12	はつらつ健康教室（飯山保健センター）	9	飯山市
〃	1/19	〃	9	〃
〃	1/26	〃	9	〃
〃	1/2	〃	9	〃
〃	2/9	〃	10	〃
〃	2/16	〃	10	〃
〃	2/23	〃	10	〃
〃	3/2	〃	10	〃
〃	3/9	〃	10	〃
〃	3/16	〃	10	〃
松本・肥後	3/23	〃	10	〃
松本毅	3/30	〃	10	〃
松本毅	4/17	はつらつ健康教室（月曜日コース）	7	飯山市
〃	4/24	〃	7	〃
〃	5/8	〃	7	〃
〃	5/15	〃	9	〃
〃	5/22	〃	9	〃
〃	5/29	〃	9	〃
〃	6/19	〃	8	〃
〃	6/26	〃	9	〃
〃	4/6	はつらつ健康教室（木曜日コース）	10	飯山市
〃	4/13	〃	11	〃
〃	4/20	〃	10	〃
〃	4/27	〃	8	〃
〃	5/11	〃	10	〃
〃	5/18	〃	12	〃
〃	5/25	〃	10	〃
〃	6/1	〃	13	〃
〃	6/8	〃	11	〃
〃	6/15	〃	13	〃
〃	6/22	〃	13	〃
〃	6/29	〃	13	〃
松本毅	1/24	転倒予防教室I（飯山老健センター湯の入）	4	飯山市
〃	2/14	〃	14	〃
〃	2/28	〃	14	〃
〃	3/14	〃	14	〃
〃	3/28	〃	14	〃
〃	4/1	〃	14	〃
〃	4/15	〃	14	〃
〃	5/6	〃	13	〃
〃	5/20	〃	12	〃
〃	6/3	〃	13	〃
〃	6/17	〃	9	〃

山崎裕	1/17	筋力アップ教室（木島平保健センター）	15	木島平村
〃	1/24	〃	15	〃
〃	1/31	〃	15	〃
〃	2/7	〃	15	〃
〃	2/14	〃	15	〃
〃	2/21	〃	14	〃
〃	2/28	〃	14	〃
〃	3/7	〃	14	〃
〃	4/25	〃	14	〃
〃	5/2	〃	14	〃
〃	5/16	〃	14	〃
〃	5/23	〃	14	〃
〃	5/30	〃	14	〃
〃	6/6	〃	14	〃
〃	6/13	〃	14	〃
〃	6/20	〃	14	〃
〃	6/27	〃	14	〃

●中信地区 担当者 森本健雅

氏名	月日	会場	人数	地区（市町村）
降旗秀徳・中村吉孝	1/6	三郷JA改善センター	30	安曇野市三郷
〃	1/13	〃	26	〃
〃	1/20	〃	30	〃
〃	1/27	〃	28	〃
〃	2/3	〃	29	〃
〃	2/10	〃	25	〃
〃	2/17	〃	23	〃
〃	2/24	〃	23	〃
〃	3/3	〃	25	〃
降旗秀徳	1/24	〃	18	〃
〃	2/21	〃	16	〃
〃	3/21	〃	17	〃
降旗秀徳・森本健雅	1/10	安曇野市社協堀金支所	14	安曇野市堀金
森本健雅	1/17	〃	12	〃
降旗秀徳	1/24	〃	14	〃
森本健雅	2/7	〃	13	〃
降旗秀徳	2/14	〃	13	〃
森本健雅	2/21	〃	15	〃
降旗秀徳	3/7	〃	15	〃
〃	3/14	〃	14	〃
森本健雅	3/21	〃	12	〃
降旗秀徳	1/23	堀金田多井区公民館	20	安曇野市堀金
森本健雅	2/13	〃	19	〃
降旗秀徳	2/27	〃	20	〃
森本健雅	3/13	〃	20	〃

# 第35回NJSゴルフコンペ開催（中信地区）

中信地区 倉科 正

快晴の中 第35回NJSゴルフコンペが9月23日（祝）に木曾高原宇山カントリークラブで開催をいたしました。



**【団体戦】** 各地区上位4名のネットの合計

- 優勝 南信（合計289.8、井坪克人70.2矢澤克浩70.8吉原賢一73.6宮下厚75.2）
- 準優勝 東信（合計303.2、柏木久明74.2内山富之75.2柳原博史75.4石坂秀司78.4）
- 3位 北信（合計306.8、野本真一72.2中澤袈娑春73.8竹内正79.4西條義郎81.4）
- 4位 中信（合計308.8、佐々木克明71.6中島今朝光76.2降旗秀徳79.8柳沢恵一81.2）

**【個人戦】** 新ペリア方式

優勝	井坪克人	（南信地区）	40・41	グロス81	HDCP10.8	ネット70.2
準優勝	矢澤克浩	（南信地区）	46・44	グロス90	HDCP19.2	ネット70.8
3位	佐々木克明	（中信地区）	51・47	グロス98	HDCP26.4	ネット71.6
BB賞	峯村富士	（北信地区）	55・56	グロス111	HDCP28.8	ネット82.2
BM賞	倉科 正	（中信地区）	65・60	グロス125	HDCP40.0	ネット85.0

【個人戦】 グロス

優勝 柳原博史 (東信地区) 40・39 グロス79  
準優勝 井坪克人 (南信地区) 40・41 グロス81  
3位 上原 哲 (南信地区) 44・43 グロス87

【参加選手】

南信地区 宮下厚、井坪克人、吉原賢一、濱ひろみ、小野啓吉、木下芳郎、片桐宜洋  
上原哲、伊藤睦、矢澤克浩、小嶋静人

東信地区 柏木久明、内山富之、柳原博史、石坂秀司

北信地区 野本真一、中澤袈裟春、竹内正、西條義郎、峯村富子

中信地区 佐々木克明、中島今朝光、降旗秀徳、柳沢恵一、磯部栄二、竹内泰二

保尊伸昭、倉科正

トーク 徳武修一

以上 敬称略

【景品スポンサー】

(株)トーク、(株)エス・エス・ビー 北信営業所、テイコクファルマケア(株)、(株)TOSCOM、  
(有)増田薬品、高田保会長

以上 敬称略



優勝チーム 南信地区



優勝 井坪克人会員



準優勝 矢澤克浩会員



第3位 佐々木克明会員



南信地区 3連覇 おめでとうございます



BB賞 峯村富子会員



第7位 磯部栄二顧問



BM賞 倉科正会員



ベストグロ 柳原博史会員





# 平成29年度 日本赤十字社長野県支部合同 災害救護訓練参加報告

南信地区事業部 矢澤 克浩

平成29年10月14日（土）午前8時30分より下伊那赤十字病院をメイン会場に合同災害訓練が行われ長野県柔道整復師会赤十字奉仕団として南信地区から18名（石田国博・伊藤浩兼・伊藤睦・上原 哲・尾曾共春・北原弘靖・木下甲太郎・木村浩士・竹内敏弘・土屋隆恒・福沢茂典・藤田良輔・松村秀樹・丸山 剛・宮下厚・矢澤克浩・渡邊 尋・小野真理恵）の参加がありました。

訓練は、南信地域を震源とするM7程度、最大震度6強の地震で長野県南部に死者負傷者およそ1300人、全壊およそ1500棟、半壊4500棟、ライフラインの寸断等、甚大な被害を受け下伊那赤十字病院が半壊したとの想定のもと国内型緊急対応ユニット（dERU）を屋外設置し、仮設の診療スペースを確保した上で救護活動を展開する「移動式仮設診療所設置及び運営訓練」を新たに加えあらゆる災害形態及び規模に対応した救護活動の実施ができる事を目的に進められました。

この訓練の中で柔道整復師は、長野県赤十字救護隊と合同で炊き出し用テント、負傷者搬送用テントの設営、dERU展開・資機材準備、簡易ベッド、担架等の立ち上げ支援をした後9班（柔道整復師2名救護隊2名=4名編成）に分かれ班ごと担架搬送時の声掛け、担架からベッドへの載せ替えの方法、その他打ち合わせなどして実働訓練開始に備えました。

午前10時40分、実働訓練が開始され名子原体育館（災害現場）から倒壊のおそれがある中、傷病者を1から5班がトリアージポイントまでの傷病者搬送、トリアージ後に各色分けされたブースへの搬送を担当、6から9班がトリアージ後、軽傷者の応急処置を担当し、約1時間15分の実働訓練を終え各班ごと検証（反省会）し各班長がまとめた反省点などを発表した後、炊き出し訓練のおにぎり&豚汁を頂きました。

昼食後、午後1時より全体の検証報告・講評などが発表され閉会式を終え片付けをした後解散となりました。



訓練参加者



テントの設営



dERU展開



エアertent設置



傷病者状況確認



傷病者搬送



トリアージポイント



軽傷者への処置

今回の訓練に参加して長野県柔道整復師会赤十字奉仕団としての役割、災害現場での統一した認識、知識、以前県内各地で行われた訓練での反省点など伝達事項を生かせるように事前準備、勉強したうえで訓練に参加した方が災害現場に大切な『連携』がスムーズに行われると感じました。

備、勉強したうえで訓練に参加した方が災害現場に大切な『連携』がスムーズに行われると感じました。

## 平成29年度生涯学習講演会

事業部 権藤 俊和

平成29年10月15日（日）長野市のホテルメトロポリタン長野 3階浅間 に於いて生涯学習講演会が開催されました。本年度は、自転車で世界一周を成し遂げられたサイクリストの小口良平先生を講師にお招きし「夢をあきらめないで～世界一周自転車旅をして感じた故郷の美しさ～」の演題で、87名（東信10名・北信34名・中信8名・南信7名・一般28名）の参加を頂き、各国でのエピソードも交えて故郷の美しさを再認識された事、また、旅で得た経験から「夢を追いかけることの大切さ」、「夢を持つ力について」ご講演戴きました。

講演では、旅をはじめた目的、きっかけとして3つ、

- ・「人生一時成せば足る」自分だけの轍をつくり、自己嫌悪ばかりの自分に自信をつけたい。

- ・自転車ならではのスピードで世界中の「人・自然・文化・風景」との出会いを楽しみたい。

- ・世界一周の夢を実現する過程で、次の自分の夢、新たな夢を探したい。

そして、その実現の為には「時間・お金・覚悟」の3つが必要との事でした。2007年3月から本格的に始めた自転車での世界一周のチャレンジ中には様々なトラブルやアクシデントもあ

ったようですが、世界各国の人々の暖かさや、優しさに支えられて、世界157ヶ国、走行距離155,502km（1日平均150km）を8年半の歳月を掛けて走破し世界一周を成し遂げられた。

旅を振り返ってみて実感された事は、

- ・世界を旅するには、「こんにちは」、「ありがとう」、「おいしい」の3つの言葉が大事。

- ・「旅」を一言で表すと、「シンプルな幸せに気付かせてくれた。」

- ・「百聞は一見に如かず。百見は一験に如かず。」・「知ることから始めよう。」

また今回の講演で一番伝えたいことは、

- ・チャレンジャーで有り続けること。挑戦し続けること。

- ・まずは、自分の生まれた地を離れてみよう。自分のルーツを知る。

- ・夢を発信すること。の3つとの事でした。

今後は南極にそしていつかは月に行きたいとの大きな夢があり、また地元で様々な自転車やアウトドアのイベント開催やカフェ&ゲストハウスを開きたいとも考えているそうです。

小口良平先生には、大変お忙しい中、ご講演いただき感謝申し上げます。また、聴講者には早朝より長時間の講演会にご参加いただきありがとうございました。



## 平成29年度 生活習慣病予防健診

中信地区 権藤 俊和

(一財)全日本労働福祉協会の協力で平成29年度「(公社)長野県柔道整復師会 生活習慣病予防健診」が10月22日(日)に「林友渚カナデアンホール(松本会場)」に於いて31名、また10月29日(日)には「長野県柔道整復師会々館(長野会場)」に於いて39名の方々の申し込みによりそれぞれの会場で健診が行われました。

この健診は、会員の健康とそれを支える家族、従業員の健康管理の為に、毎年(公社)長野県柔道整復師会が福利厚生の一環として行っています。

今年度、松本会場で健診された若い会員ではBコース(基本コース)を希望された会員が多く、また40歳代以上の会員ではAコース(ドッ

ク健診)の腫瘍マーカー検査と超音波検査が追加されたより幅広い検査を希望された会員が多かったです。

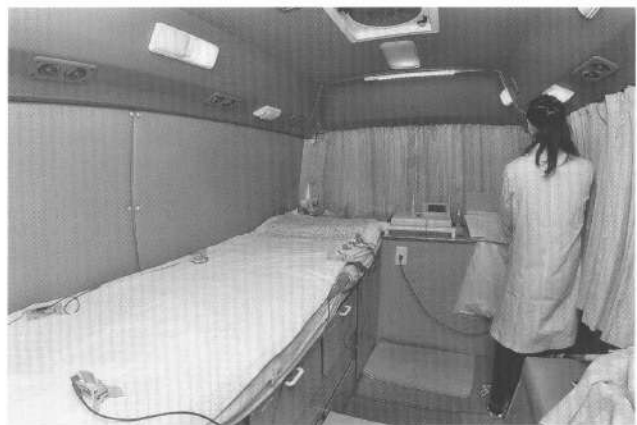
また、オプション検査では、前立腺腫瘍マーカー検査(PSA)とアミノインデックス(AICS)という新しいがん検診を希望された会員も多かったです。

健康の為には、病気の早期発見、早期治療に心掛けることが何よりも大切であり、超高齢化社会を迎え、ここ数年言われている健康寿命を延ばし平均寿命との差を縮め、健康で元気に仕事をしていく為には、年に1回の定期健診をお勧めします。

来年度は是非多くの会員の参加を期待しております。



健診車



健診車内



## 平成29年度 ホストコンピューター定例打合せ

IT広報部副部長 宮沢 康信

平成29年11月17日（金）に事務局ホストコンピューター定例打合せが開催されました。

出席者は本会事務局員5名、宮下厚IT広報部長、導入初期から係わっているコンピューター委員2名、ソフト開発会社2名、保守管理会社5名であった。

この打合せは保険業務、本会会員管理等を行うホストコンピューターシステムの一年間の稼働状況、改善点などを利用者、開発会社、管理会社各々の立場から意見を聞き検討するために年1回開催されている。

このシステムは本会業務に合わせてカスタマ

イズされており、突発的な処理案件や新たに発生した処理、不具合などに対しプログラムの追加、改善を積み重ね仕上がってきています。

今年度はシステムの不具合は1件のみで、その他は改善点、要望、質問で全体の検討案件も少なく、システムとして完成度が高まったと思える内容であった。

会議終了後、開発会社より低予算で可能なグループウェア（システム自体は無料）の提案を受け、ITの進歩の早さに驚き、今後会務の省力化、効率化に役立つ話を聞くことも出来有意義な会議であった。





## (公社)長野県柔道整復師会 平成29年度保険講習会開催

東信地区保険部長 西村 公紀

平成29年11月26日(日)午前10時～12時の日程で「佐久市市民創錬センター」に於いて、公益社団法人長野県柔道整復師会主催 平成29年度保険講習会が開催されました。

講師として関東信越厚生局長野事務所より、医療事務専門官の清水浩一様と指導第一係長の小平健一様にお越しいただき、「柔道整復師の受領委任に係る取り扱いについて」及び「柔道整復師の施術に係る療養費の算定基準」「協定書・受領委任の取扱規程」「柔道整復施術担当者の指導監査・指導監査要綱」について、それぞれ講義を頂きました。

今回は経費削減のため保険部長柏木久明先生のご奔走により、佐久市市民創錬センターを抑

えていただき無事に終了することができました。初めての会場ということもあり、ご出席の先生方には道に迷われた方もおいでのようでしたが、経費削減のためとご理解いただき、ご容赦くださいますようお願いいたします。

尚、当日の出席者は以下の通りです。

東信の参加者は73名(参加義務者76名) 2名欠席

北信の参加者は136名(参加義務者143名) 7名欠席

社団外参加者17名 JB 15名 日本柔道整復師会 1名 無記名・無所属 1名

昨年開催中信・南信の未受講者それぞれ3名中2名が受講しました。



柏木保険部長挨拶



講習会会場

# 平成29年度 長野県柔道整復師会・健康保険組合連合会 長野連合会懇談会

保険部副部長 西條 賢治

恒例の（公社）長野県柔道整復師会と健康保険組合連合会長野連合会との懇談会が、平成29年12月14日（木曜日）午後4時より長野市内のホテルメトロポリタン長野にて開催された。

健康保険組合連合会長野連合会

会 長

曾川 壮平（長野市・長野県農業協同組合）

副 会 長

井出 光昭（諏訪市・エプソン）

保健医療分科会会長

北野 敬（長野市・長野電鉄）

保健医療分科会副会長

北平富美雄（松本市・長野銀行）

柔整師施術療養費審査委員

遠藤 進（長野市・元信濃毎日新聞）

柔整師施術療養費審査委員

富澤 幸正（長野市・北野建設）

柔整師施術療養費審査委員

小坂 征史（長野市・自動車販売店）

事務局長

中村 章

（公社）長野県柔道整復師会

会 長

高田 保（上松町・高田整骨院）

副 会 長

酒井 正彦（長野市・酒井整骨院）

副 会 長

安藤 恒久（岡谷市・安藤整骨院）

副 会 長

柏木 久明（佐久市・かしわぎ整骨院）

東信地区長

石坂 秀司（上田市・石坂整骨院）

北信地区長

西條 賢治（長野市・古牧整骨院）

中信地区長

保尊 伸昭（安曇野市・穂高整骨院）

南信地区長

宮下 厚（駒ヶ根市・宮下整骨院）

常 務

霜村 巖（長野県柔道整復師会）

健康保険組合連合会長野連合会保健医療分科会会長の北野敬様の開会の辞にて始まり、健康保険組合連合会長野連合会会長曾川壮平様が「（公社）長野県柔道整復師会には大変お世話になっております。国の保険財政は大変に厳しい、高齢者医療の医療費負担が重く、県内21組合中6割が赤字となっている。はしご受診等をなくしたい。適正化をよろしくお願ひしたい。」とご挨拶。続いて（公社）長野県柔道整復師会会長高田保より、日頃より長野県柔道整復師会にご理解をいただいていること、また健康保険組合連合会長野連合会とのこのような懇談を持つていただくことへの感謝の意が述べられ、各代表の自己紹介に移る。それぞれからの自己紹介のあと、健康保険組合連合会長野連合会事務局の中村章様の司会により協議事項に入る。

先ず始めに、当面の諸問題ということで意見の交換が行われた。特に健康保険組合連合会長野連合会より要望と・質問が出され、それについて（公社）長野県柔道整復師会側から説明をしていく形で進められた。質問等の内容から支払い側と請求側との対話・懇談がいかに必要なものか毎回感じる。予定の時間も足りないほど活発な受け答えが行われた。

健康保険組合連合会長野連合会からの要望として、一部ではあるが療養費の申請について提示される被保険者証の記号番号をよく確認していただきたい。申請書に記載された記号番号が旧被保険者証の記号番号のまま請求されている。被保険者証の記号番号の変更もありますのでよろしくお願いします（長野県農業協同組合

健康保険組合）。8月の審査会の開催日について、通常と同じ時期の開催をお願いしたい。等要望があった。

その後、会場をかえ懇親会に移り、日頃のお互いの疑問点や誤解されているところを理解されるように説明責任を果たし、有意義な懇談会を終了した。



# 北信越ブロック理事会報告

副会長 酒井 正彦

平成29年11月18日（土）福井県パレスホテルにおいて北信越ブロック理事会が開催された。午後1時～3時まで通常の理事会、午後3時～5時まで日整から豊嶋政策部長・三橋総務部長をお招きしての「日整の政策に関する意見交換会」が行われた。

## 【理事会の議題及び回答】

### 《Q、石川県》

平成26年4月11日付で厚生労働省医政局より各都道府県・保健所を設置する市等に「広告の指導に関する調査（依頼）」があり、当会では会員に広告看板の適正化を指導してきたが、保健所等が行政指導を行った様子もなく、個人契約者の違法広告が横行している。

他県では、行政指導が行われたか、また、違法広告看板に対しどのような対応をしているかご教示願いたい

### 《A》

福井県⇒厚労省からの「広告の指導に関する調査（依頼）」に基づく調査及び指導については把握していないが、当会から保健所に個人契約者に指導を依頼し実施されたことがある。

富山県⇒特に把握していない

新潟県⇒厚労省からの調査依頼があったことは、承知しているが、実施されたか否かについては分からない。

長野県⇒長野市保健所で調査は行ったが指導は行っていない。保健所は広告に関し指導権限はあるが、法的措置がとれないため、過日、当県の自民党県連に、保健所に法的措置がとれる権限を与えていただきたい旨の要望書

を提出した。

### 《Q、富山県》

厚労省は、9月4日柔整療養費の不正請求対策を強化するため、協定書の審査委員会設置要綱と指導監査要綱を改正した。この運用に関しては、47都道府県審査会毎個々の判断にて実施との事である。運用判断に格差が生じることとなるが、これで良いか各県の見解を示してください。

### 《A》

長野県⇒ある程度のすり合わせは必要と思うが、各県により格差は必ず出ると思う

福井県⇒審査基準を統一すべきという事になってはいるが、今までのローカルルールでメリットがある事も事実である。今後、柔整療養費検討専門委員会が出されたものについて従って行くことはやぶさかではない。

石川県⇒運用に関しての詳細はまだ示されていないので、今後の推移を見守りたい

新潟県⇒9月4日、通達は出たが当県では現在のところ今まで通りの運用をしている。今後、動きが出たらそれに合わせて対応を考えて行きたい。

### 《Q、新潟県》

保険者の外部委託会社（コアジャパン）からの照会状況について

- ・国保、後期高齢に入っている（関東・大阪）
- ・直接施術所に電話が来る



## 東信親睦会

上田整研会会長 堀内 将之

平成29年10月28・29日、東信地区 千曲整研会と上田整研会の第2回合同親睦交流会を大田区休養村とうぶにて開催しました。

普段運動する機会が少ない東信地区会員にも運動をして、汗をたっぷりかいてリフレッシュしながら交流を深めて頂こうと、浅川千曲整研会長と打ち合わせる中で、ビーチバレー、ドッジボール大会に決定。

当日は雨模様で天気も悪い中、総勢37名の会員に参加していただきました。

石坂地区長の開会の挨拶のあと、AとBの2チームに別れて早速ビーチバレーからスタートしました。準備運動やストレッチで悲鳴を上げていた方も、いざ試合が始まると別人のような動きに。キレのあるサーブや鮮やかなトス回しからスパイクと大盛り上がり！

日頃言えないことはボールに託して、皆で思いを共有できたかと思います。

試合の結果はリーダーの引っ張る力が強い方に軍配が上がり、石坂地区長のBチームの2連勝という結果でした。

ビーチバレーで力を使い果たし、とても動けないということで、急遽種目を卓球に変更し、和やかな雰囲気の中で第一部の幕を閉じました。

終了後の懇親会は石坂地区長の陣頭指揮の元、BBQ大会を行いました。

乾ききった喉と、空腹のお腹に、山積みのお肉と大量のビールやお酒も次々と皆さんの胃袋へ消えていきました。

毎回恒例となった暖かい豚汁、地区長の更なる団結を深めていく熱い話と、小林事業部長の一本締めで寒さを吹き飛ばし、盛会の中で無事に終えることができました。

今回のような交流会を通して日頃、話せないことを語り合えることで、様々な問題も皆で乗り越えていけると強く感じました。

毎週の会務で休みの無い中、準備の段階から影で支えて下さった会員、大量の差し入れをして下さった会員、そして、会を盛り上げようと参加して下さいました皆様、本当にありがとうございました！



ビーチバレー



卓球



## 北信州ハーフマラソン大会

北信地区 スポーツ支援部 大口 友久

9月25日長野県北部、豪雪地帯で知られる飯山市・野沢温泉村・木島平村で行われた北信州ハーフマラソン大会。コースは3キロ、10キロ、ハーフとあり、3キロは飯山市街地を一周、10キロは木島平村から、ハーフは野沢温泉村からスタートしゴールの飯山市街地を目指します。ゴール会場では飯山地方の物産・特産品の展示、販売等で地元地域の方々の活気を感じました。当日は約2000人のランナーが参加、この北信州を疾走しました。

私たちはゴールのケアボランティア活動に参加しました。会場に到着し準備をしていると、大会役員の方が挨拶に来られ木島平産コシヒカリ（有名ブランド米です）の塩むすびと菜っ葉の漬物をどえらく頂きました。会員皆で美味しく頂きましたが、あまりに多いため終了後も会員で分け合いました。ボランティア活動では飯山市役所の方1名にお手伝いして頂き、受付をしてもらい大変助かりました。

活動中は9月末にもかかわらず日差しが強く暑いくらいでした。最初は3キロの選手がゴールし始め10キロ、そしてハーフのランナー達がゴール。私達のサービステントにも徐々に走り終えたランナーが、マッサージの受付に集まりマッサージの開始。会員達も慣れた様子で次々マッサージを行い、時にはランニング中のフォ

ームの指導、ランニング障害への対応、雑談その他（柔整師の広報活動）を交えながらケアを行いました。

ランナー達が次々ゴールしサービステントの前でマッサージを待つランナーが多くなり始めたその時、ゴールエリアからキラリと汗を光らせながらこちらに向かって来るランナーが一人。「お疲れ様です。」と爽やかな笑顔を見せながら来られたランナーは宮本義豊先生。そして走り終えまだ汗も引かないうちからマッサージを開始。私達も負けていられずペースを上げ2時間半程のサービスで122人のケアを提供することが出来ました。

今回参加して頂いた小橋義彦先生、篠崎裕一先生、宮本義豊先生、久井真先生、松田和也先生、熊井貴一先生、小橋茂之先生、小橋香穂先生、暑いくらいの秋空の下、参加して頂き誠にありがとうございました。





# 塩尻市ぶどうの郷ロードレース

中信地区 竹下 真悟

平成29年9月10日（日）に第9回塩尻市ぶどうの郷ロードレースが松本歯科大学をメイン会場として開催されました。

川窪整骨院から嶋崎健一会員と北澤誠也会員、誠心堂整骨院から松尾雄太会員と私の4名でレース前後の選手のケアを担当しました。

塩尻市ぶどうの郷ロードレースも9回目と言うことで皆様への認知度も高まり、昨今のランニングブームも相まって北は北海道から南は高知県まで全国から1401名のランナーが参加されました。

当日の朝は10℃近くまで気温が下がったせいか7:30の受付とほぼ同時にテーピングやケアの希望者が集まりました。

私と嶋崎会員はぶどうの郷ロードレースのトレーナーも3回目だったので、役員の方とも顔見知りになり特に問題もなく朝一番からのケアを行うことができました。

選手のスタート直後から気温がぐんぐん上がっていき残暑とは呼べないくらいの暑さで最高気温も30℃前後まで上がっていました。その為9月のロードレースなのに熱中症のランナーも大勢出てしまいました。

救急車も数台出動し、救急隊員・救護係のドクターと連携しながら私たちも応急手当のお手伝いをさせていただきました。

救急隊員の方の迅速な対応や、ドクターの的確で素早い検査法は、とても勉強になり普段の施術時の刺激にもなりました。

私たちの持ち場のケアの話に戻りますと、ロードレースのトレーナーを経験したことのある

先生たちはよくわかると思いますが、選手がスタートしてしまうと暇です（笑）。

ただ、今回はこの間に先ほどの熱中症の選手の対応もさせてもらえたので今回のトレーナーは大忙しで、とても充実していました。

選手のゴール後からは、アフターケアや怪我のケアの方たちでブースの前に長蛇の列ができてしまうほどでした。

『選手の状態を素早く判断し、的確なアプローチで短時間の施術で選手の悩みを解決する！』私がトレーナー活動をやっている時が一番楽しい瞬間です！

一人当たりに時間を取れないので、ベッドに案内しながら問診をし、歩く姿勢や一つ一つの動作を注意深く観察しながら施術を行い、数分の施術後にベッドから立ち上がる時に「楽になった！ありがとう！」と言ってもらった時の何とも言えない達成感は普段の施術時とはまた違いトレーナー活動の最高のご褒美だと私は感じます。

今回は私たち4名で185名の方のケアをさせていただきました。改めまして皆さんお疲れさまでした。

私のような若手の柔道整復師は、トレーナー活動などの現場に出ることで外傷に強くなることや地域の信頼を得ることなど、まだまだ厳しくなるであろう現状に対応できる技術・知識などを養うことがとても大切だと思います。

これからも、色々な現場での経験を活かし信頼される柔道整復師を目指していきたいと思えます。



## 上伊那ブロックでの ボーリング大会と暑気払い

南信ブロック上伊那地区 北原 弘靖

今年度より、上伊那ブロックの事業部長という役を任せられ、ついにこの日が来たかと率直に思いました。暑気払いは何をやるかと考える中、ふと思ったことが、ボーリング世代の会員の皆様方は果たして本当に上手いのか？と。私が入会した当時、ボーリング競技で3位入賞した経験があり、「自分もやるなあ」と当時は思いました。

そこで十数年ぶりにボーリングを復活させ、年配の先生方の腕前と自分の腕も錆付いてないかを確認しようと、7月8日(土)15時よりミノワボウルにて、22名の猛者達が参加し、上伊那ブロック杯を開催しました。

まず、競技開始前に始球式を行いましたでしたが、宮下厚会長7ピン、小野啓吉顧問0ピン、飯塚副会長0ピンと散々たる成績でした。

皆様、久しぶりのボーリングのため、ガターになったり、ストライクが取れない度に、「レーンが曲がってる」、「ボールが悪い」など、自

分の腕が悪いのを棚に上げ、言い訳ばかりしながら各会員の皆様、何とか2ゲーム投げ切りました。それでも投げる度に歓声が上がり、終始和やかな雰囲気の中での競技となりました。

福沢副会長には優勝しないように気を使っていたかとおもっています。決して実力で20位になったわけではないと思っておりますし、付度したわけでもありませんが、ご本人より、競技後、ボーリングではなく、来年はやっぱり得意のマレットゴルフに戻すようご指摘がありました。決して不得意ではないと思っておりますが……。

その後は近くの焼き肉屋「縁結」にて例会を行った後、慰労会・表彰式に移り、更に会員同士の親睦を深めることができました。

年々参加者が少なくなる中、ご出席頂いております会員の皆様方には感謝申し上げます、今後とも、事業部への参加・ご協力のほど、宜しくお願い致します。



参加された上伊那ブロック会員の皆様

# 第3回南信州まつかわハーフマラソン大会 救護活動報告

南信ブロック飯伊地区 木下 甲太郎

大会実行委員会（松川町教育委員会事務局）より救護員派遣の依頼があった今大会に、当地区会員5名で参加した活動について報告します。

活動日 平成29年9月10日（日） 7:00～13:30  
 活動場所 下伊那郡松川町中央公民館えみりあ 1階交流室 ランナーケアコーナー  
 ランナー 1,548名  
 種目 ハーフ / 5Km / 3Km / 3Kmファミリー  
 参加会員 5名（北林武文 小澤雄司 矢澤克浩 原翔一郎 木下甲太郎）

## 活動報告

- ・ 処置人数 81名（スタート前 16名 / ゴール後 65名）
- ・ 処置件数 102件（利用者が処置を希望された件数）  
 （内訳） 下腿部30件 / 大腿部19件 / 足関節15件 / 腰部13件 / 膝関節8件 / 殿部4件  
 全身3件 / 背部2件 / 足底部2件 / 股関節1件 / 踵部1件 / 申告なし1件  
 多部位に及ぶ筋痙攣（熱中症の疑い）3件
- ・ 来所時、全ての利用者に体調の確認、必要に応じてバイタルチェックを行った。
- ・ 熱中症・脱水症状が疑われた3名の方については病院への搬送を依頼した。
- ・ 会場内に当会の「のぼり旗」等を設置させていただき、活動と柔道整復師会の業務内容について啓蒙・PR活動を行った。
- ・ 大会本部には下伊那日赤病院を中心とした救護所も設置。救急車1台が常駐。AED付き救護車5台がコースを巡回。消防署職員3名、看護師4名、保健師5名配置。リタイアや病院搬送を要する事態への対応がされていた。
- ・ 重度の筋痙攣、車椅子、過度の多汗の方がみられたが、内科的疾患も疑われるケースでもあったため、日赤の救護所、また我々のケアコーナーを訪れる前に症状やバイタルに応じた振り分けを行う場所の設置が必要と感じた。（大会実行委員会へ報告済み）

**ケガ・痛みへの処置を行います**  
 お気軽にご利用下さい

接骨院 / 整骨院では 骨・筋肉・関節などに発生した  
 「骨折・脱臼・打撲・捻挫・挫傷」など  
 急性・亜急性の外傷、痛みへの施術を行っています

飯伊地区柔道整復師会 / 飯伊接骨院トレーナーズ協会



## 磯部会 50周年記念祝賀会

中信地区 杉原 直樹

平成29年10月21日（土） ホテルモンターニュ松本において磯部会50周年祝賀会が開催されました。

磯部会とは松本市にある磯部整骨院で研修を行った会員を中心に結成されたもので、毎年定期的に勉強会等を行い会員間のスキルアップや親睦を図っております。現在、会員は40名程になります。

今回、磯部栄二会長が先代から引き継ぎ50年になるのを期に開催されました。

当日は生憎の小雨にも関わらず県内を中心に21名の会員と関係者の方が出席されました。

初めに開会の辞を竹内泰二会員、中島今朝光実行委員長の挨拶の後、磯部栄二会長挨拶、顧問の磯部研一医師の挨拶と続き、祝電が披露されました。

磯部栄二会長の挨拶では、研修生や関係者を労うと共に、これまでひた向きに施術に当たってきた事や思い出等を語られました。

この後、メモリアルムービーが上映され50年間の出来事や、研修後開業された会員方を順に紹介されました。

ここで磯部会長の経歴を紹介させて頂きたいと思います。

現在77歳。東京で柔道整復師の免許取得後、研修を積み松本市上土にて「磯部整骨院」を引き継がれました。治療においていち早くカイロプラクティックを取り入れられ、特にガンステッドテクニックを勉強され、アメリカに3度渡り研修を積みました。また、多くの医師や同業の方との親交があり知識や技術の研鑽、習得を図られる一方、今まで得た多くの臨床経験から独自の治療法や補助具等を考案されました。

そういった知識や技術を会員は元より県内、

全国各地へ講演に出向かれ惜しむことなく披露、ご指導されておられます。

また、長野県柔道整復師会会長、日本柔道整復師会理事、日本柔道整復接骨医学会理事・監事、柔道整復研修試験財団情報編集委員長等を歴任されており、そういった功績から長野県知事表彰、厚生労働大臣表彰、日整帰一賞など受賞されました。

さて祝賀会に戻りますと、小林栄寿会員の乾杯の挨拶の後祝宴があり、それぞれ和やかに談笑と美味しい料理に舌鼓をうちました。

後半に差し掛かり、磯部会長ご夫妻に50周年祝いとして、高田保県会長に長野県柔道整復師会会長就任祝いとして、磯部整骨院永年勤続退職表彰として、長らく事務を担当された佐藤恵子さんにそれぞれ記念品が贈呈されました。

磯部会長はお酒も入り感極まったのか、ひな壇で贈呈に臨んだ会員を担ぎ上げ、得意技?の肩車を披露される一幕もありました。

その後、記念撮影、万歳三唱を荻上良尚会員、閉会の辞を宮澤直哉会員と大盛況のうちに閉幕となりました。

二次会もほとんどの方が時間の許す限り出席され大いに盛り上がりました。

私も磯部整骨院には4年間研修でお世話になりましたが、一口に50年といっても半世紀もの間仕事を続けられてきた事に対し、驚きと敬意の念を禁じ得ません。まだまだ現役で施術に当たられると思いますが、これから先、少しでも磯部会長の様に頑張っていけるよう技術の習得、研鑽は元より健康に留意していきたいと感じました。そしてこの先またお祝い出来ることを切に願うと共に、さらなるご活躍を祈念いたしております。



祝賀会会場



記念品贈呈



磯部栄二会長挨拶



メモリアルムービー



宴席



会長の得意技？



記念撮影



二次会



## 『伊那整骨技術研究会と伴に』

南信地区 伊那整骨技術研究会 会長 北村 豊

私が整研会にお世話になってもう長い。若い先生の勉強の会として誘われ、入会して現在迄、勉強では、関節・筋を系統別に、症例発表と研究、各自得意分野の診断、臨床手技や運動の研究。旅行、大相撲観戦、バターゴルフ、スキー、マレットゴルフ等の親睦イベントも大切な交流と考えている。実は上伊那の団結の基はここに有るとも言える。

『スポーツ体験』の中にも臨床に活かせるス



『進歩せざるは退歩なり。』現状維持では時代からどんどん遅れて行ってしまう。人体の構造（解剖）働き（生理）は学校で学んだ何十年前と変わらない。然し、検査法、検査機器、医学の先端部分での進歩は素晴らしい。

我々は医療人として、専門外でも、何でも相談される。又そんな存在でありたい訳で、基礎医学と最近の検査、治療の患者の疑問にお答え出来るだけで信頼される度合いも変わるだろうし、身近な先生になるであろう。整形外科分野でも考え方、アプローチ法が昔と随分違う。治療も熟練は必要で、これで良いと云う限界などは無い。

知っていて困る知識、身に付けていて困る技術はない。求める事求められる事は何か。考えたり、実行して行かなければいけない事は何

スポーツ特有の外傷、注意の必要な事故など会員は“転んでもただ起きない。”慰労会でも各自の治療体験や、保険の困った事、珍しい症例、要注意症例の検討と情報交換。正に雑談の中にもダイヤモンドや真珠が隠れている。会の方針は“来る者は拒まず、去る者は追わず。”そんな気楽な楽しい勉強の会、技術、知識の研鑽の場である。



か。自分に足りないものは何か。“井の中の蛙”にならない為にも、常に刺激を受け続け、学び続ける勉強会で有りたい。

【一例】CTスキャナー、MRI、はもとより、診断も著しい進歩のPET-CTやRI、を知って置くべきである。読影だけでなく、基本理論くらいは知って患者と話したい。血液検査による癌のマーカー、遺伝子阻害薬等一般患者の知っているごく普通の知識を超える知識や理論を知っている必要が有るのではないだろうか。X線写真は静止画で読映可能だが、本来超音波映像は静止画ではなく、動画で判断するもので、静止画では無理が有る。（文献としては止むを得ないのでは有っても）又、正確な診断を導くには熟練が必要となる。





## この一年間 私的研究会の報告

南信地区 矢嶋 大輔

八ヶ岳カンファレンスルーム（旧 諏訪地区私的研究会）は、主に南信地区諏訪ブロック会員有志によって活動しています。会員による症例報告や実技などを通して臨床を学んだり、柔道整復師の現状の問題を取り上げ、問題点の把握や今後の展望を検討したりしています。

この一年間は研究会を5回開催し、内1回は1泊2日の夏合宿（研究報告会）を行いました。以下、活動内容を報告させていただきます。

第1回 平成29年2月16日（木）21：10～22：00 於：大森道場 参加者：6名

矢嶋大輔会員による発表「いわゆる寝違えの病態の一考察」がありました。日接医学会誌の柔道整復師による発表文献と、会員の平成28年1月～12月までの寝違えと思われる症例を用いて寝違えの病態についての考察を発表しました。発表を通して寝違えの負傷原因、症状、治療期間、治療法などを会員で検討しました。

第2回 平成29年4月2日（日）19：00～20：40 於：フルハウス（茅野市）参加者：5名

会員で食事をしながら、平成28年度の活動報告をもとに平成29年度活動内容の検討を行いました。研究会で取り上げたいテーマや内容を検討し、夏合宿の日時と場所を決定しました。

第3回 平成29年6月15日（木）21：15～21：55 於：大森道場 参加者：9名

「胸郭出口症候群の臨床知識の確認」と題して、伊藤篤会員より胸郭出口症候群の発症メカニズム（①斜角筋症候群 ②肋鎖症候群 ③過外転症候群）、症状や検査法、他疾患との鑑別の

ポイント、治療法など実技を踏まえ講義して頂きました。

第4回 平成29年7月20日（木）20：50～22：00 於：大森道場 参加者：6名

前回に引き続き、胸郭出口症候群をテーマに症例などを通して会員同士で意見交換を行いました。また、ベテランの先生から包帯固定の注意点や頸部の治療法など臨床のお話しをご教授頂きました。

第5回（研究報告会）平成29年9月2日（土）・3日（日）

於：伊那市 大芝高原オートキャンプ場 コテージ 参加者：11名

発表内容：

①鳥部史音さん（帝京大学大学院生）

「脳障害による四肢麻痺患者に対する乗馬療法の効能について：携帯型歩行解析系（見守りゲイトLSIメディエンス製）を用いた解析」

②若林幹太さん・菊池貴矢さん（帝京大学生）

「足底内側ウェッジが歩行時の足底圧と足部アライメントに及ぼす影響について 第2報」

③川又和恵さん（帝京大学生）

「多方向肩関節力計測装置を用いた力発生標準モデルの開発 第2報」

④佐藤光洋先生（上伊那ブロック）

「日常遭遇する骨軟部組織腫瘍」（超音波観察装置による症例報告）

⑤佐藤史人先生（信州医療福祉専門学校教員）

「救護四方山話」（トレーナー活動報告）

今回の合宿でも、諏訪ブロック会員に加え帝

京大生や伊那整研会の佐藤先生にもご参加頂きました。学生の方が大学で日々研究している基礎医学の発表や、先生方の臨床現場での症例、活動報告を拝聴しました。

佐藤光洋先生より、専門医に紹介すべき骨軟部組織腫瘍のラインとして1)大きさが3cmを超えるもの、2)周囲に血管が豊富なもの、3)周囲の境界線が不明瞭なもの、との説明がありました。また、超音波観察装置による骨肉腫、軟部腫瘍、異物迷入、滑液包の腫脹、ペーカー嚢腫、ガングリオン嚢腫などの症例報告をして頂きました。

教員の佐藤史人先生からは、ラグビーや柔道のトレーナー活動の報告がありました。柔道大会の救護の際に、肘関節後方脱臼を起こした学生に徒手整復した経験談をお話し頂きました。臨床に役立つ内容で、大変勉強になりました。

夜には恒例のバーベキューを行い、お酒を交

えて、炭火で焼いた肉厚のステーキや先生方が畑で収穫した新鮮な野菜などを皆で堪能しながら親睦を深めました。1泊2日、しっかりと柔道整復学の学びを深めることができたと思います。

以上が一年間の報告となります。お忙しい中、今年もご参加、ご発表頂いた方々に心より感謝申し上げます。本会の活動や合宿（研究報告会）に興味、ご関心がありましたら下記の連絡先までお気軽にご連絡下さい。宜しくお願いいたします。

事務局：矢嶋 大輔（矢島接骨院）

TEL：0266-72-7766

FAX：0266-78-6334

E-mail：yajima-sekkotuin@eos.ocn.ne.jp



## 自他共生

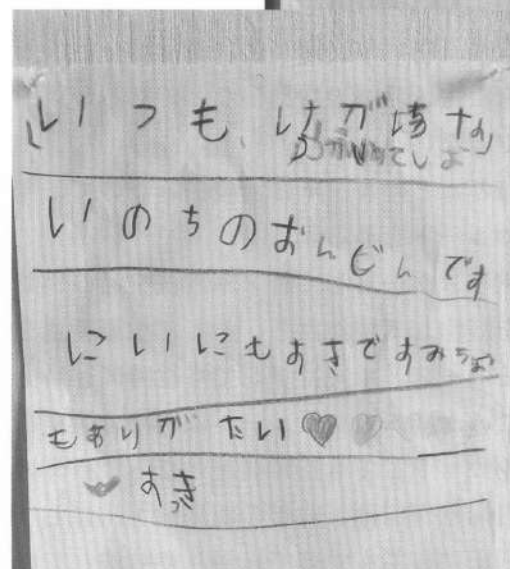
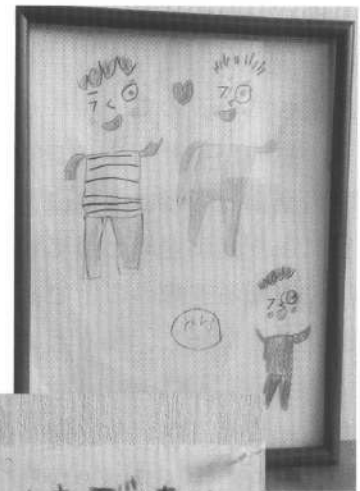
東信地区 廣川 喜博

この時期は、「お陰様で畑作業が出来るようになったから、うちの胡瓜を食ってくれ」と治った患者さんが野菜を届けて下さる機会が多く、八百屋にて胡瓜を買うことがないです。先日、施術所の玄関のドアが開くと同時に「せんせい〜、せんせい〜」と呼ぶ小さな声が聞こえてきました。私の接骨院は、小学校に近いこともあり、「子供を守る安心の家」に登録されているため、不審者から逃げてきたのかと思い、私は慌てて玄関に駆け寄りました。ドアの前に、以前リスフラン関節捻挫で来院した小学一年生が、学校帰りに顔を出してくれました。その子は片手に掴んでいた紙を二枚、私に手渡し、「はい、これあげる。バイバイ〜」と言いながら、恥かしそうにランドセルを揺らしながら走って帰って行きました。その紙の一枚は絵が描いてあり、もう一枚は手紙が書いてありました。手紙には、「いつもけがをなおしてありがとうございます。いのちのおんじんです。」と、クレヨンで書いたひらがなが並んでいました。「いのちのおんじん」って、大袈裟だなと一瞬笑ってしまいましたが、10か月前に幼稚園の園庭で走っていて、突然脚がつけなくなってしまったこと、軽視されがちな捻挫だったが、この男の子にはよほど恐怖だったのかと理解しました。たまに頂くご褒美に笑みがこぼれます。日々けがを手当てする中で、患者さんにはそれぞれ生活や目標があり、それらを互いに支え合っていること、柔道整復師がこれからも必要とされ、技術・知識・人間力を身に着け、患者さんの生活を守る仕事だと改めて実感しました。

毎年6月の週末は、中学体育連盟などの救護ボランティアや北信越ブロック接骨学術大会があり、私たち柔道整復師は、休日に一緒に出か

けることが出来ない家族の不満に耐える精神力と体力との勝負の月です。今週末が快晴なら、息子たちを連れ海水浴に出かけることを約束し、暑さを冷やし胡瓜をかじりながら、毎日白衣を着ています。

今考えていることは、我々は行政機関などと協力して、高齢者ドライバーの事故予防や免許返納後のドライバーを対象とした運動支援で役に立てることがあるのではないかと模索中です。ご意見ご教授頂ければ幸いです。会員の皆様には、北信越ブロック接骨学術大会の折には大変お世話になり、感謝申し上げます。お互いに体調管理に気をつけて、この夏を乗り切りましょう。





## 後立山連峰縦走

北信地区 宮本 義豊



《下山直後の登山口にて》

昨年、鹿島槍ヶ岳を登った際に分岐点の種池山荘にて左回りのルートがあるのを知った。下山後に調べてみると、扇沢駅から針ノ木岳を経由し赤沢岳、鳴沢岳を通過して種池山荘へと通じる。しかも日本三大雪渓の一つ、針ノ木雪渓を通るルートでもある。平成15年に白馬雪渓を踏破しているのので、これもぜひ踏破してみたいとの思いから計画を立ててみる。

後立山連峰とは飛騨山脈のうち、黒部川の峡谷により立山連峰と隔てられ、富山と長野の県境に連なる連峰のことである。一帯は中部山岳国立公園に属し、後ろとは富山県側から見て立山の背後に連なるという意味。南から針ノ木岳、赤沢岳、鳴沢岳、爺ヶ岳、鹿島槍ヶ岳、五竜岳、唐松岳、北端の白馬岳などであるが範囲は明瞭ではない。

このほとんどのルートは踏破済みなので、今回は南のルートを進む。

扇沢駅をスタートして針ノ木雪渓を通り、針ノ木岳を経由して種池山荘、そして柏原新道を下山するコース。単純計算しても総時間16時間30分、このタイムスケジュールは遅めの設定なので3割カットしても10時間超となる。自分の登山は日帰りが原則、昨年の鹿島槍ヶ岳にしても白馬三山にしてもすべて日帰りで踏破してい

る。しかし今回は雪渓ルートと岳を6越して、尚且つ蓮華岳も制覇してみたい…いろいろ検討した結果、初の山小屋泊の登山に計画を変更する事にした。

ちょっと天気が心配ではあったけれども、延期すると次回はいつ行けるか分からないので8月5日に出発する。



《スタート地点の扇沢駅》

扇沢駅の手前の無料駐車場に運よく車を停める事ができ（上り坂歩くのが嫌な場合は駅に有料駐車場があります）いよいよアタック開始。登山届けを備える登山道入り口から山道へと入る。近年は登山届けが義務付けられており、この場で記入するもよし、事前にネットから届けることもできる。何度か自動車道を交差し行く先にはこれから登る針ノ木雪渓と針ノ木岳が見える。雪渓を登る際にはアイゼンが必要である。裏に歯がぎっしり付いているのがお勧めですが、自分みたいに軽アイゼンといって、土踏まず周辺部、真ん中のみ歯が付いているタイプもある。しかしこの軽アイゼンにしたばかりに、途中で滑ってしまい（つま先部分に歯が無いため、この部分でスリップ）自分史上最悪の登山事故を起こし（かなり大げさ）、胸部を強打した為この後2ヶ月以上に亘り痛みを悩ませ

れ続けることになってしまった。

雪渓を通過すれば針ノ木小屋まではもうすぐそこ。下からも独標が見えるくらい。しかしここからが急登となり、しかも九十九折り、曲がり角の度に一休みするはめになってしまう。

扇沢から針ノ木小屋までタイムスケジュールでは4時間20分のところ、何とか2時間43分で踏破。しかし、足はがくがくとなっていたので泊りにして正解だったとつくづく思いました。

初の山小屋経験は思っていたよりも快適でした。もちろん普通のホテルとは全く違いますが、昨今はトイレ事情と水場がかなり改善された事。以前耳にした話ではぎゅうぎゅう詰めにする為顔の両隣は他人の足ということは、今はもう無いようだ。



《針ノ木雪渓》

翌2日目、荷物をデポして4:50蓮華岳へのピストン、往復54分で踏破。また山小屋に戻り、今回の最大の目的剣岳をバックに黒部湖の写真の撮影へと向かう。山小屋の主人に挨拶を済ませ、6時に出発。今日は針ノ木岳、スバリ岳、赤沢

岳、鳴沢岳、新越乗越、岩小屋沢岳と6つのピーク越え。下から見ると、もう少しで山頂かと思うと、実は偽ピークで山頂はもう少し先と何度も裏切られる。それでも一つ一つ乗り越え着実に前進する。この達成感はどこでしか味わえない醍醐味である。あいにく雲が拡がってしまい絶景とは言い難いですが、目的の景観はカメラに収める事に成功する。途中休憩に寄った新越乗越山荘で飲んだ冷たいコーラの味は格別でした。この頃は霧で真っ白でしたが、トレランで登ってきたというランナーと出会い、上には上がいるもので今朝扇沢から登ってこられ、ここまで5時間程という驚異的なペースであった。

最後の岩小屋沢岳を越えてからは、なだらかな稜線が続き歩きやすくなる。それまでは初日も今日も急登の連続の為、途中で何度も脚が攣り、また最後の柏原新道も距離が長いので疲れ果ててしまう。いつも山に行く度に後悔してしまうのだが、しかしその苦勞以上に頂きに立つ感動は何にも代え難い。

2日目の縦走は休憩含めなで7時間10分で踏破してきた。疲労度を考慮すると宿泊して正解だったのと無理な計画は立てるものではないと、思い知らされました。しかし今年は難敵戸隠連峰に挑み、北信五岳を制覇したいと考えている。



《スバリ岳と赤沢岳の間から撮影、眼下に拡がる黒部湖》





南信地区



用に加えて都市圏からの  
バスや公共交通などが弱  
して来ましたが、課題で  
る高齢社会を新たなビジ  
ョンに置き換える。田  
中「不便すぎないラン  
グ」を強めと考える意  
図が、情報発信の重要性  
でも指摘があった。

宮田村ワインセミナ

来月8日 辰巳さん講演会

宮田村ワインセミナの開催10  
周年を記念して11月8日午後6時  
30分から、俳優辰巳ユウジを主  
賓とする会合が、日本ソウルフード協  
会多摩支部の協賛で、日本ソウルフ  
ード協会・ヤマノヒメオンを使  
いた講演会「今、日本ソウルフ  
ード」を開催する。講演料は2008年、ワイン  
を進める資料が2008年、ワイン

動として取り組むと伊が、伊那に集ってきたいと感  
「はなかつたが、話し合 那野生ケ丘高校卒年の協賛 じた時にその環境があるか、  
歩和里さん。  
宮原健さん(35)「講演は、た。その部分もろ発信して  
「儲けて部会に行つたま君 いくかも大切」と話した。



スポーツ外傷について学んだ県柔道整復師会南信地区の学術講演会

伊那医師は、  
体の部位ごと  
生じる痛みや原  
因を説明した。  
スポーツをする  
人が訴える腰痛  
は、腰周りの筋  
肉や筋膜が痛む  
「筋筋膜性腰  
痛」が原因とな  
ることを示し、  
筋肉の硬さや  
張りが原因とな  
り、柔軟性を改  
善することがス  
ポーツの継続に  
は欠かせない」と  
話した。

スポーツ外傷や  
障害、対処法を学  
ぶ  
柔道整復師会南信地区  
駒ヶ根で学術講演会  
接骨院や整骨院でつくる県  
柔道整復師会南信地区(宮下  
厚会長)は26日、学術講演会  
・市民公開講座を駒ヶ根市東  
町のアイバルで開いた。会員  
と一般の約100人が参加  
相澤病院(松本市)スポーツ  
疾患センター長の伊坂聡医  
師(41)から、スポーツ外傷や  
障害、その対処法などを学  
びました。(唐澤雄)

波状線  
伊那市代表(46)による  
ゴを使ったシートと、年々ファンが増加。4年  
ル(発泡性果実)目となる2017年版の仕込  
題づくりに取り組み、前年の約1.5倍に  
組む「ASTA」当たる1.5~1.6倍を見  
込んでいる。「不作だった昨  
年」は、原料のリンゴの年々増える多く、産度も乗  
取機を伊那市西近辺の栗樹園 っているという。



## 自己紹介

北信地区 上松クローバー整骨院 町田 雄志

初めまして。平成29年8月1日より長野市上松にて「上松クローバー整骨院」を開業いたしました町田雄志といたします。

小学生のころより柔道をやっており多くの怪我をしてきました。

中学時代、ある日の練習中に背負い投げを掛けられそのまま肩を巻き込まれ脱臼したことがありました。

今までに感じたことのない激痛を覚え立ち上がれず悶えていると、長野県柔道整復師会会員である恩師の先生方が私を運び出してくれその場で整復をしてくれました。

するとさっきまで感じていた激痛が嘘のように治まり落ち着きを取り戻すことができました。

「この先生たち凄い」

この出来事が柔道整復師を目指すきっかけに

なりました。

仙台の整骨院で研修し、あの東北地方太平洋沖地震を経験しそれがきっかけで長野に戻ってきてからは6年間「山形中央整骨院」にて更なる勉強をさせて頂きました。

そしてこの度、地元である長野市にて念願であった整骨院を開業することができました。

開業し4か月が経ちましたが未だに軌道に乗らず焦る気持ちがありますが、初心を忘れず親切・丁寧にご患者さんと向き合い、地域の皆さまの健康をサポートできるよう精進して参ります。

これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。





## 自己紹介

南信地区 **尾曾 友美**

皆様はじめまして。平成29年4月1日より、公益社団法人長野県柔道整復師会に入会させて頂いた尾曾友美と申します。

米田柔整専門学校卒業後、愛知県の整形外科にて3年間修行させて頂き、現在上伊那地区にあります嵯峨接骨院にて父の元、修行をさせて頂いております。

私は、幼少期はダンス、剣道、中学時代はバレーボール、高校時代はバドミントンとさまざまなスポーツに触れてまいりました。そんな中、一緒にスポーツをしている仲間の中に接骨院・整骨院にて治療を受け、ケガ・痛みが治っていくにつれ全力でスポーツに打ち込めるようになっていく姿をみており、自分自身も高校時

代にバドミントン練習中に外側半月板損傷を経験し、父の施術・近くの整形外科の先生の治療を受け3年間続けることができた経験があり、柔道整復師を志すようになりました。

専門学校、整形外科時代には、経験豊富な先生方のもと学ばせて頂き、施術方法や固定方法だけでなく、接遇面・医接連携の在り方など多くの事を学ばせて頂きました。

今後も、経験豊富な会員の先生方から御教授を頂戴しながら、1人でも多くの患者さんを笑顔に出来る様に精進してまいりたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



平成29年度 第4回事業部会 会議録

東信地区事業部長 小林 毅

日時：平成29年12月16日（土） 午後3時～

場所：（公社）長野県柔道整復師会 会議室

出席者：安藤恒久・倉科正・小林毅・桧山治・権藤俊和・上原哲・北沢玄

【議 題】

- (1) 生涯学習講演会 経理決算書報告 反省

出席者が87名でしたが、150名以上の出席者がほしかった。

平成30年度は、5月20日（日）総会の前（午前中）に開催をしたい。

- (2) 長野DJATの扱い（日赤奉仕団に組入れる）

12月24日（日）第1回長野DJAT研修会 松本市社会福祉センター

- (3) 介護予防事業冊子完成品披露、精査いたしました。

- (4) 平成30年度 事業計画

1月27日（土）・28日（日）第8回JIMTEF災害医療研修

アドバンコース東京開催

5月20日（日）県総会時に生涯学習講演会を開催予定

6月9日（土）第1回事業部会

7月7日（土）日本赤十字社長野県支部との懇談会 メトロポリタン予定

8月4日（土）長野びんずる救護予定

8月18日（土）第2回事業部会

8月26日（日）第33回四地区親睦交流会（中信）

9月2日（日）安曇野市・松本市防災訓練

10月13日（土）第3回事業部会・講師との親睦会

10月14日（日）新入会員研修会予定 本会会館

10月21日（日）生活習慣病予防健診予定 松本会場

10月28日（日）生活習慣病予防健診予定 長野会場

- (5) 平成30年度 予算審議

会の運営がスムーズにいくよう精査いたしました。

- (6) その他

生活習慣病予防検診参加者 長野会場 39名 松本会場 31名 参加



## 学 術 部

## 平成29年度第1回学術部会

開催日時 平成29年7月22日 15時

開催場所 松本市駅前会館

## 参加者

西條賢治（県学術部長） 石坂秀司（県学術副部長） 西條義明（県学術副部長）  
 宮崎剛（北信学術部長） 菊池和哉（東信学術部長） 三間慎一郎（中信学術部長）  
 原隆（南信学術部長）

## 1. 自己紹介

## 2. 会長方針の確認

- ・所信表明の学術分野に関しては、養成校で超音波診断授業が導入されることを踏まえ、本会でもecho講習を考慮する

## 3. 部長就任挨拶

- ・部はプロジェクトチームであり、部長は各地区のリーダーである
- ・プロジェクトの方向性を共有する
- ・作業分担を理解する事
- ・自立する事

## 4. 平成29年度事業について

## (1) 事業計画及び予算書確認

- ・日接医学会会員の増加・・・認定が保険取り扱いの一つのツール/ステージに。
- ・大阪大会（11/3、4）参加を促す

(2) 学会の在り方、方向性、目指すもの・・・県、北信越それぞれの反省と次回対応  
43回県接骨学会

- ・県学会参加者（会員122名 一般39名）が予想以上に少なかった。
- ・会員が何故出てこないか
  - 収入減少で余裕がない
  - 向上心欠如等
- ・講師選定に問題有り
- ・養成校との関係強化、研修施設指定の件
- ・西條学術部長が6月10、11日視察した42回中国接骨学会鳥取大会の件  
鳥取県は社団会員18名に係わらず充実した学会だった。
- ・一般向け特別講演と会員向け基調講演に。
- ・ランチョンセミナーを挟んで、午後から会員発表にしては如何か。
- ・基調講演は基幹病院のDoctorにお願いしてみてもどうか。

- ・病院の地域連携室に連絡すれば良い
- ・第44回県接骨学会は3月4日東御市サンテラス
- ・前夜祭は3月3日上田市東急REIホテル。

#### 北信越学会長野大会

- ・北信越学会開会式は200人規模で良かった
- ・本来が学会なのでアトラクション廃止は正解
- ・講演会謝辞廃止も良かった
- ・学校関係に案内状送付も良かった。
- ・指揮系統は大切
- ・事業部入れたから混乱した
- ・北信に任せた方が良い・・・慣れてる、ノウハウ持っている
- ・開会式料理の試食会は必要・・・今回は地元料理が入っていて良かった。
- ・養成校は出席必須だった。

#### (3) 解剖学講習について

- ・12月に中信地区で予定していた森泉先生の講演は中止
- ・本年度は予定通り11月12日に開催
- ・来年度以降の継続に関して、磯部先生に折衝をお願いしたい。
- ・例年通り、午前中部会開催する。
- ・会員の出席率向上に努める

#### 5. echo講習について

- ・会長方針の確認でも触れたが、講習会を検討する。

#### 6. 資料について

- ・過去10年間の研究課題、特別講演の講師・演題を表記した。
- ・今後の方向性参考に。

#### 7. その他

- ・会員からの提案図書があれば、12月までに挙げて頂きたい。
- ・地区学会スケジュール 北信1/21 東信1/27 中信12/10 南信11/25
- ・10月に県学術部会
- ・1月6日、または20日に県学術部会を東信で開催する。

## 平成29年度第2回学術部会

開催日時 平成29年9月2日 15時

開催場所 上田市馬場町自治会館

参加者

西條賢治（県学術部長） 石坂秀司（県学術副部長） 西條義明（県学術副部長）

宮崎剛（北信学術部長） 菊池和哉（東信学術部長） 三間慎一郎（中信学術部長）  
原隆（南信学術部長）

### 1. 開会の辞

### 2. 部長挨拶

- ・毎年同じ事は続けない、絶えず反省改革する事
- ・全体で同じ方向を向く事。
- ・予算も皆で考え、年内に纏め県に。
- ・県学会予算の協議。

### 3. 議事

#### (1) 平成29年度解剖学実習について（時系列に）

- ・ 9:00-11:00 県学術部会は松本歯科医師会館で。  
昼食はブエナビスタ
- ・ 13:00開会 受付各支部2名 駐車場会場案内6名
- ・ 13:10-14:40特別講演 森泉先生の退官講演を兼ねて
- ・ 会員から徴収したお金（1人2000円）の取り扱い明確化  
——本来は予算に組み込むべき。

#### (2) 平成29年度県学会について

- ・ 2本の講演会、ランチョンセミナーを挟んで会員発表
- ・ 9:00開会 9:20一般向け講演 休憩挟んで11:15会員向け講演
- ・ ランチョンセミナー（超音波）は大会議室開催でも。
- ・ 12:40より会員発表
- ・ 会員向け講演 - 依田窪病院 三沢院長で決定。
- ・ 一般向け - J3長野 塩沢省吾選手、または国立がんセンター（血液一滴診断）
- ・ 講師同様、後援団体も早めに決定を。
- ・ ポスターは年内に配布すべき。
- ・ 会場に連絡 —— 時間延長（15:00）と大会議室予約
- ・ 解剖同様、経費の精査・見直し

#### (3) 各地区学術部の現状について

- ・ 各地区の学術部員数と日当の把握
- ・ 公益社団移行前に統一すべき事項だった。
- ・ 各地区も公益社団に移行すべきではないか。
- ・ 県と地区の関係性の検証（下部組織なのか、協力団体なのか）

#### (4) その他

- ・ 次回部会の日程確認

## 平成29年度第3回学術部会

開催日時 平成29年11月12日 9：30

開催場所 松本市駅前会館

### 参加者

西條賢治（県学術部長） 石坂秀司（県学術副部長） 西條義明（県学術副部長）  
宮崎剛（北信学術部長） 菊池和哉（東信学術部長） 三間慎一郎（中信学術部長）  
原隆（南信学術部長）

1. 開会の辞
2. 部長挨拶
3. 議事

#### (1) 平成29年度解剖学実習について

- ・統括責任者（三間中信学術部長）より説明
  - － 変更になった進行、謝辞等の担当確認
  - － 反省会の段取りについて
- ・実行委員作業確認
  - － 受付徴収2000円の件、
  - － 昨年度混乱した駐車券取り扱いの件

#### (2) 平成29年度県学会について

- ・統括責任者（菊池東信学術部長）より進捗状況の説明
  - 前夜祭
    - － 地区学術部員の参加検討
    - － 他地区実行委員の宿泊検討
    - － 参加する他部（事業部・IT広報）の人数把握
  - 学会
    - － 実行委員分担表に沿って、備品等の検討
- ・三澤先生の講演＝基幹病院との連携
  - － 重要性を認識して頂きたい
  - － 質疑20分、質問を各地区で纏めてはどうか。
- ・落合先生の講演＝最先端医療を知る場
  - － 医学系、及び研究者を志す学生の在籍する高校への案内状送付
- ・来る来ないは別として動員に向けて最大限努力を。
- ・各種講演、印刷等は事務所北沢へ。
- ・年内目標にポスター完成

#### 各地区学会について

- ・発表と特別講演の把握
- ・他地区からの学会参加奨励

#### その他

- ・次回部会は30年1月6日（土）15時 東御サンテラス  
併せて東信部会開催。

## IT・広報部

### 平成29年度 第3回IT広報部会会議録

東信地区IT広報部長 内堀 泰明

日 時：平成29年11月18日15時～18時

場 所：(公社)長野県柔道整復師会 会館 (会議室)

出席者：宮下 厚 宮沢康信 内堀泰明 小島弘光 永澤健志 飯塚康弘

#### 議題

- (1) 平成29年度信州整骨会報ほねつぎ105号の目次について  
各項目の挨拶文・行われた行事・報告・地区の記事など細かに選定する。
- (2) 原稿の依頼について  
各ページの原稿の依頼者を選定する。
- (3) 信州整骨内報のペーパーレス化について  
長年の懸案であるペーパーレス化をどのように進めたらよいか  
→平成30年4月という日時を目標とする。  
→内報においてペーパーレス化のお知らせを通知する。  
→ペーパーレス化の質問に対しては個々に対応をし、理解を求める。  
→とりあえず進めて行き、落とし所を探る。

※フェイスブックのIT広報部（非公開）ページにおいて活発な意見交換が行われています（12月現在進行中）。



## スポーツ支援部

### 平成29年第2回スポーツ支援部会

平成29年7月15日（土）午後3時～

本会会館

出席者

保尊伸昭 田中健一 高原義勝 高原祐樹 伊藤浩兼（横関康寿）  
市川 敦 山内 明 伊藤 篤（神農来栄）出席者8名

1. 開会の辞 田中健一 副部長
2. 部長挨拶 保尊伸昭 部長
3. 自己紹介・部員名簿の確認
4. 議事

#### A スポーツボランティア

- (1) 公益活動の一環としてボランティア活動の啓蒙をする
- (2) 各種スポーツ大会へ救護、トレーナー派遣（支援）
- (3) スポーツ医科学講習会の開催（見送り）
- (4) スポーツ関係団体、競技団体との連携、協力を図る  
中体連、：懇談会・派遣要請  
国体：派遣要請  
行政 スポーツ医科学サポート会議 9月 [ほ：北信]  
県体協 トップ指導者ミーティング 7月 [ほ：北信]
- (5) 医療 スポーツドクター協議会 4/5 [ほ：中信]
- (6) 各地区開催のテーピング講習会
- (7) フロアーホッケー救護派遣：総務扱

#### 【活動内容について】

- ① 活動骨子
  - ・活動推進大綱
  - ・ボランティア会費等の実施要項
  - ・総合福祉団体定期保険
- ② 派遣依頼
  - ・中体連 担当者からの派遣依頼に合わせ人員派遣
  - ・高体連 トレーナーを確定されたものについては受理派遣
  - ・国体その他 派遣申請書を受けたものに対し、派遣を行う。
- ③ 実施と報告
  - ・トレーナー活動注意事項の遵守
  - ・トリートメントシートをもとにトレーナーレポート 提出

## ④ 集計

- ・半期ごとに各地区の活動報告を機関誌に上げる [ほ：東信]
- ・通年のトレーナーレポートの取りまとめ [ほ：北信]
- ・通年の活動報告に基づき 活動支援金の交付 (3月)
- ・地区で活動支援金の給付

## B 柔道関連

- (1) 県少年柔道大会の開催 6/25
- (2) 全国 〃 〃、日整全国柔道大会に協力 10/ 8
- (3) 各種柔道大会協賛、助成  
柔道連盟 救護派遣、理事会等
- (4) 北信越ブロック柔道大会開催 6/17
- (5) (公社) 柔道昇段審査開催 (見送り)

## 【活動内容について】

## ① 少年柔道

- ・各地区予選会 5月ごろ (協賛金5 + 活動支援金5)
- ・県少年柔道大会 (県チャンピオン大会共催) 6/25 上田市 [ほ：東信]
- ・日整少年柔道大会 10/ 8 講道館 [ほ：監督]

## ② 少年柔道形協議会 新潟との申し合わせで 隔年で全国チーム選出。

- ・県予選会 5月20日 [ほ：北信]
- ・全国大会 10月8日 [ほ：監督]

## ③ 日整全国柔道大会

- ・県内予選会 5月20日 [ほ：中信]
- ・選手強化練習 6月10日 東信地区 [ほ：東信]
- ・北信越ブロック柔道大会 6月17日 (福井県) [ほ：選手]
- ・全国大会 10月8日 [ほ：選手]
- ・報告会11月末 ①②の監督コーチも呼ぶ [ほ：南信]

## ※協議・報告事項

- ・北信越柔道大会選手選考会結果について  
予選会 5/20 内報、機関誌ほねつぎ原稿 (写真) 北信松山部員
- ・長野県選手団 6/17 (土) 長野運動公園にて大会参加  
監督 岩下富夫 先鋒 (20代) 土屋 樹 次鋒 (30代) 村山洸介  
中堅 (30代) 岩下貴士 副将 (40代) 神農来栄 大将 (50代) 斉藤公志郎
- ・日整全国大会代表選手 土屋 樹 村山洸介 岩下貴士 斉藤公志郎  
北信越東部代表監督 岩下富夫  
内報、ボンラル原稿 (山内部員 )
- ・第26回 (公社) 長野県柔道整復師会杯少年柔道大会について

第21回 長野県少年・少女柔道チャンピオン大会 との抱き合わせ

当日の役員の出席は 正副部長 石坂 市川。

日整大会参加選手及び監督は当会会長が決定し、認定証を授与する。

内報、ポータル原稿（ 田中副部長 ）

その他協議事項：地区未加入者の救護活動の取扱い

5. 閉会の辞 田中健一副部長

## 平成29年度第3回スポーツ支援部会

平成29年12月9日（土）午後2時～  
本会会館会議室

出席者

保尊伸昭 田中健一 横関康寿 高原義勝 高原祐樹（伊藤浩兼）

市川 敦 山内 明（神農来栄）伊藤 篤

1. 開会の辞 田中健一 副部長

2. 部長挨拶 保尊伸昭 部長

3. 議事 議事録作成（ 東信 横関部員 ）

（ア）スポーツボランティア

① 事業計画案・予算案・H29事業報告

※気が付いた点は部長まで

② 損害賠償責任保険 前回部会懸案事項

※各院、トレーナー活動にあたっては 各施術所での賠償責任保険に加入を！

③ 日体協トレーナー推薦 正副部長で選考する1/9締め切り。

※内報掲載 応募後正副部長で選考する

④ 全柔連連携 オリ・パラに向けて

※回答済

⑤ 機関誌原稿 担当者

※順次対応 重複依頼がないように

⑥ 救護、トレーナー派遣活動とりまとめ（活動支援金）

本会様式に記入し、提出 本会より各地区部長に入金。

※7月から12月分（見込み）⇒高原（義）⇒保尊

⑦ その他

※支援金支払いにはトレーナーレポート要。

## (イ) 柔道関連

- ① 日整全国柔道大会報告会（合同練習・懇親会） 12/ 9 15：30～17：00  
 担当 田中副部長  
 懇親会 ホテル国際21 19：00～ 兼ブロック学会慰労会
- ② 日整柔道大会関係 チャート参照  
 ・日整全国少年柔道大会10/ 7 講道館  
 地区大会共催する（5/13頃）協賛  
 チャンピオン大会共催（6/24）上田市  
 ・日整全国少年柔道形競技会10/ 7 予選会 5/19 本会会館  
 ・日整全国柔道大会 10/ 7 講道館  
 予選会 5/19 本会会館  
 北信越ブロック 6/16 福井県
- ③ 全国少年柔道形競技会予選会  
 H30/ 5/19（土）14：00～ 本会会館  
 ※柔連HP・本会HPに掲載
- ④ 北信越ブロック柔道大会 予選会  
 H30/ 5/19（土）15：30～本会 18：30～壮行会 会場：\_\_\_\_\_

その他 ※日整全国柔道 功労賞は齊藤選手

※北信越ブロック学会慰労会 宿泊に関して情報伝達に不備有った。

## 4. 閉会の辞 田中健一副部長

# 会 務 報 告

## 新入会員

平成29年12月現在

地区	氏 名	郵便番号	住 所	会員種別	入会年月日	備考
東信	原 真理奈	384-0093	小諸市和田841-7	賛助会員	H29. 7. 1	
東信	黒岩 大輝	386-0041	上田市秋和467-1 上田市上野425-1	賛助会員	H29.10. 1	
東信	石坂 智毅	386-0041	上田市秋和467-1 上田市上野425-1	賛助会員	H29.10. 1	
北信	太田 英実	380-0816	長野市三輪1313-1	賛助会員	H29. 4. 1	
北信	樋口 知行	380-0816	長野市三輪1313-1	賛助会員	H29. 4. 7	
北信	轟 哲広	380-0921	長野市栗田339-1	賛助会員	H29. 9.11	
北信	丸山 隼輝	389-1211	上水内郡飯綱町牟礼502-1	賛助会員	H29.10.30	

## 会員の異動

地区	氏 名	郵便番号	住 所	会員種別	入退会年月日	備考
東信	田中 敏浩	384-0093	小諸市和田841-7	正会員	H29. 7. 1	新規開設
北信	柳原光太郎	380-0957	長野市安茂里大門1117-6	正会員	H29.11.19	死亡
北信	和田 正宏	389-2253	飯山市大字飯山2574	正会員	H29. 8.31	退会
北信	石坂美智子	388-8011	長野市篠ノ井布施五明3139	正会員	H29. 9.30	退会
中信	守田 洋一	399-0011	松本市寿北7丁目21番8号	正会員	H29. 8.31	退会
中信	本澤 誠	390-0852	松本市島立619-3	正会員	H29. 8.14	死亡
中信	丸山 主税	399-8304	安曇野市穂高柏原4632-4	正会員	H29.11. 6	退会
北信	坂井 佑里	380-0822	長野市鶴賀南千歳町984	賛助会員	H29. 8. 1	退会
北信	町田 雄志	380-0802	長野市上松4-5-2	賛→正	H29. 8. 1	新規開設
北信	関屋 浩介	380-0816	長野市三輪1313-1	賛助会員	H29. 3.31	退会
北信	鈴木 博之	380-0816	長野市三輪1313-1	賛助会員	H29. 2.28	退会
北信	米原 浩二	380-0816	長野市三輪1313-1	賛助会員	H29. 3.31	退会
中信	水澤 健人	390-1301	東筑摩郡山形村3907-1	賛助会員	H29. 9.20	退会
中信	中澤 洸二	399-0021	松本市寿豊丘611-8	賛助会員	H29.11.30	退会

柔道整復師向 事務管理システム

# 三四郎くんVer.7.2

使い勝手の良い操作性はもちろん、  
療養費改正等の保険改正にすばやく対応。  
迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、  
常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



他社からのデータ移動も  
お任せ下さい！

※一部ご希望に添えない場合があります。



保険証入力画面 ▲  
傷病通院入力画面 ▶



オプションで  
さらに便利！



保険証リーダー



サーマルプリンタ



バーコードシステム

## 超音波画像観察装置 ラインナップ

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。

※その他、様々な機種を取り揃えております。

### Viamo Limited Edition

医療機器認証番号：226ABBZ00136000  
販売元：東芝メディカルシステムズ株式会社



### HS-2200

医療機器認証番号：225AHBZX00034  
製造販売元：本多電子株式会社



### Xario 100 S Edition

医療機器認証番号：225ACBZX00066000  
製造販売元：東芝メディカルシステムズ株式会社

ULTRASOUND IMAGE FILING SYSTEM

超音波画像ファイリングシステム

## ウルトラ三四郎 Next



大切な超音波画像を  
USBメモリで  
簡単取り込み・保存できます！

超音波画像ファイリングシステム

## ウルトラ三四郎 Next

- ・患者さん単位で過去の画像を登録日順に一括管理。
- ・同一傷病名のみでの抽出も可能。
- ・複数の動画を同時に再生可能。

詳しくはお問合せ下さい。

SB 株式会社 エス・エス・ビー

<https://www.sanshiro-net.co.jp/home/>

詳しくはこちら

【北信越営業所】〒381-0037  
長野市西和田1-13-6 レジデンス西和田102号  
TEL 026-256-9020 / FAX 026-256-9021

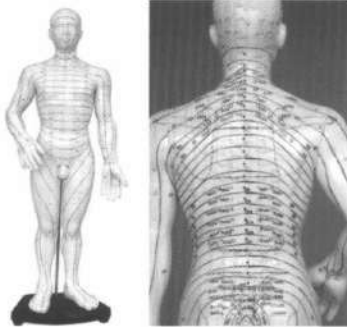
最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース  
▶▶<http://www.jusei-news.com/>





## 長田式チクチク療法

チクチク療法とは元脳神経外科学会専門医長田裕先生が発案した、その名の通りチクとした刺激を与えて病気にアプローチする療法で福田-安保理論の『いやなモノ反射』を利用し、副交感反応を導き出す現在注目の治療法です。



### 長田式 デルマトーム人形

人形背面の痛圧刺激ポイントは、ツボではなく、独自の痛圧刺激ポイントを表示しています。

解説書付

21,000円+消費税

→18,000円(税込み)



### チクチクバンバン

手に絶妙にフィットするバランス感覚。

アレルギー軽減のチタン製

金属加工トップクラスの燕市で作られた価値のある製品です。

4,800円+消費税

→4,100円(税込み)

KANAKEN

痛み・美肌・疲労回復に

**Biomini II**

—バイオミニII—

### バイオミニ II

KE-562 価格 138,000円+消費税

(クラスII/特管) 認証番号: 226AFBZX00071000

- 定格電圧: DC5V、単三形乾電池4本、専用ACアダプタ UC6312-0520 (入力 AC100V)
- 定格消費電力: 0.3W
- 寸法: (高さ) 37.1mm × (幅) 223.5mm × (奥行) 124.6mm
- 重量: 290g
- 最大出力電流: 2mA rms (1000Ω 負荷時)
- 定格出力電圧: 12.6Vp-p (1000Ω 負荷時)
- 出力周波数: 0.27~333Hz
- パルス幅: 1ms~1850ms
- 出力波形: パルス波
- 出力チャンネル数: 2チャンネル
- 治療時間: 15、20、35分
- 使用環境条件: 温度 10~40℃、湿度 30~75%、気圧 700~1060hPa
- 安全装置: セロスタート方式、電源スイッチ、出力レベルDOWNスイッチ
- 適合規格: JIS T2003 2011

付属品 (消耗品) 別売品  
 ①粘着導子 TRS-7000 ②ワニアダプター (4個1組)  
 ③オクトバスコード ④専用ACアダプター

4つのモードから選ぶ  
簡単操作!!

マイクロカレント  
微弱電流



モード

こり

モード

痛み

モード

美肌 (再生)

モード

疲労 (リンパドレナージュ)

▶ 痛めた部位をメンテナンス。  
▶ こりや痛みはお肌の大敵。

▶ 傷ついた身体の修復。  
▶ しみ・しわ・たるみ・くすみ肌を改善。

▶ 疲れ切った身体を回復。  
▶ 疲れた体は美容の大敵。

総発売元 **株式会社 カナケン**  
 本社: 〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39  
 TEL 045-901-5471代 FAX 045-902-9262  
 オンラインショップ <http://e-kenkou.jp/> E-mail info@kanaken.co.jp

大阪営業所: TEL 06-6935-3016代 FAX 06-6935-3017  
 新潟営業所: TEL 025-286-0521代 FAX 025-286-8870  
 福島営業所: TEL 024-961-7211代 FAX 024-961-7221  
 仙台出張所: TEL 022-287-6273代 FAX 022-287-6218

# ES-5000

管理医療機器(特定保守管理医療機器)(クラスⅡ)  
医療機器認証番号 229AABZX00026000  
低周波治療器・干渉電流型低周波治療器組合せ理学療法機器  
(JMDNコード:70620000)  
イトー ES-5000



## 進化した、うねり感。

立体的な電流のうねりが生体深部を広範囲に刺激。

3Dと2Dの治療モードを同時に使用可能

### 3D



#### 立体動態波モード

[3D干渉電流刺激療法]

立体的な電流のうねりが深部を刺激。



#### 3D MENSモード

[3Dマイクロカレント療法]

立体的な微弱電流で深部組織を刺激。



#### 3D EMSモード

[3D神経筋電気刺激療法]

立体的なEMSが深部の筋を刺激。

### 2D



#### Hi-Voltageモード

[高電圧電気刺激療法]

高電圧で深部組織を刺激。



#### MCRモード

[マイクロカレント療法]

微弱電流で損傷の治療を促進。



#### EMSモード

[神経筋電気刺激療法]

筋収縮を引き起こし、筋力を強化。

### 治療例



お問い合わせはこちらまで



医科器械・医薬品・システム全般

株式会社 トーク

〒380-0802 長野市上松2-21-13  
TEL.026-252-7360 FAX.026-252-7340

TEL.0120-527-366

FAX.0120-109-373

販売元



伊藤超短波株式会社

東京都練馬区豊玉南3-3-3

<http://www.itolator.co.jp/>

# 人にも環境にもやさしい 植物性天然酵素の環境対応商品 ニコエコシリーズ全十種類

ニコエコは未来に向けて自然との共生で地球環境保全に貢献することを目的に「安全・安心・環境改善」の企業理念のもと、松田松二先生（農学博士・信州大学名誉教授）ら産学協同商品開発研究会の協力により、研究と実験を重ねバイオの力で汚れを落とすだけでなく、人にも環境にもやさしい画期的な商品の製造に成功しました。

これまでに「風呂用」・「スパ・モイストウォーター」他、計十種類の製品を開発。

全身のニオイや汚れを取り去り流した水が、川や土壌を汚染しないとたくさんの方々によるこぼれております。



農学博士・  
信州大学名誉教授  
松田 松二先生

今回環境を汚さず人にやさしい画期的な酵素洗剤の研究開発にたずなわりました。  
使い続けるうちに環境にやさしいものこそ体によいことがわかるでしょう。  
自然に学びスローライフに組するみなさんも酵素洗剤を使用して健康な美肌と環境を手に入れて下さい。

## ニコエコをお使いいただいているお客様の声

- 夫の体が不自由で、お風呂に入るのが苦労していました。ニコエコは、いつもより長くお湯に浸かるだけで、汚れが落ちて、介護される者も介護する者も助けてます。長野県 A様
- 石鹸も、シャンプーも使わず、ニコエコのお湯だけで洗っています。ニコエコは節約にもなるので、こどものおフロが面倒ではない。ラクチン！ 埼玉県 酒井様
- 5人家族のウチでも、何番目に入ってもニオイがないのが気に入っています。それに、お湯がまろやかで、肌に優しい感じがしますね。北海道 山田様
- 風呂場のタイルにつくピンクのカビがなくなりました！！風呂のあと、洗たくにも使っていますが、洗たく物の汚れ落ちも良くなり、仕上がりが、やわらかくなったようです！洗濯槽の中もキレイ！！ 兵庫県 カナ様
- 子供の皮膚が弱いので洗剤には気を使っています。いろいろ試しましたがニコエコが一番よかったです！これからも使っていきたいと思えます。東京都 奥田様
- セーターを洗うのに重宝しています。柔軟剤を使わなくてもふわふわ！さすがに1回でいいというのが水道代の節約でいいです。東京都 松尾様

・・・この他多数の実感の声が寄せられています！

## 代理店募集中



時代のニーズにこたえる  
株式会社ニコエコ

TEL 0268-27-2121  
FAX 0268-27-2124  
ホームページ <http://www.nicoeco.com>  
〒386-0033 長野県上田市御所 206-19





フコク生命は、「ハローキティ」とともに  
夢と安心をあなたにお届けします!!



**HelloKitty**

©1976, 1999, 2017 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G572850  
「ハローキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。

富国生命保険相互会社 松本支社 〒390-0874 松本市大手 2-3-18 松本フコク生命ビル 6F TEL : 0263-32-1963

☎広-045-2262 (H29.6.23)

すてきな未来応援します

**フコク生命**

柔整の保険請求35年!!

進化を続けたレセコンシステム「柔プラス」

## 全ての治療院へ

柔整向けレセコン「柔プラス」は、保険請求に関する機能が充実しているのはもちろん、どうすれば治療院運営のお役に立てるかを追及し、レセコンソフトの枠にとらわれないシステムになっています。



レセプト発行システム  
THE YAWARA PLUS

詳しくは右記QRコードより  
特設サイトをご覧ください!!  
<http://www.makishi.co.jp/yawara/>



他社からの入れ替えをご相談ください!!



### 鍼灸・あんま・マッサージの保険請求決定版

#### 鍼灸マッサージ管理システム 快癒プラス

保険請求業務や運営補助機能などがあり、鍼灸・あんま・マッサージ院の日々の業務を徹底的にアシストします。

- ・レセプト、カルテ発行
- ・リピート率向上機能
- ・往療診療対応
- ・複数業務形態対応

健康的でキレイに見えるあなた・・・しかし!  
そんなあなたの姿勢のゆがみを明らかにします!  
POSTURE ANALYSER LIMITED EDITION  
**PA200LE**  
足圧加重測定ができる限定モデル

**スマゾー**  
smazo

月々わずか9,800円で  
お店専用スマホアプリが使えます

増客増収のために必要な集客、効果的な集客に必要な分析、分析を行うために必要なデータの収集、スマゾーはその全てを行えます。

WEB予約システム ご予約ドットネット  
**予約.net**  
ご予約ドットネット

顧客側・管理側共に直感的に操作でき、初見でも迷う事ありません。ガントチャート表示での予約一覧は視認性に優れ、予約の把握が容易にできます。

詳しくはホームページをご覧ください。  
<http://www.go-yoyaku.net/>

M マキシー株式会社 ☎ 0120-411-822

【本社】静岡県富士市本市場新田63-5 【支社・代理店】山形 福島 長野 大阪 山口  
【長野】090-4158-3456 (担当:立川)

ホームページもご覧ください。URL <http://makishi.co.jp> 柔プラス特設サイト <http://makishi.co.jp/yawara/>



あなたの院で  
こんなお悩みを  
抱えていませんか！

- 患者アンケートの返戻が来たけどその患者さんもう来院していないんだよね…どうやってその日の施術の証明をしよう…
- 院長の字が汚くてカルテが読めない！さっき指示された内容なんだった？忙しくて忘れちゃった！
- また勝手に治療を始めてる…院内連携がうまくいかないなあ

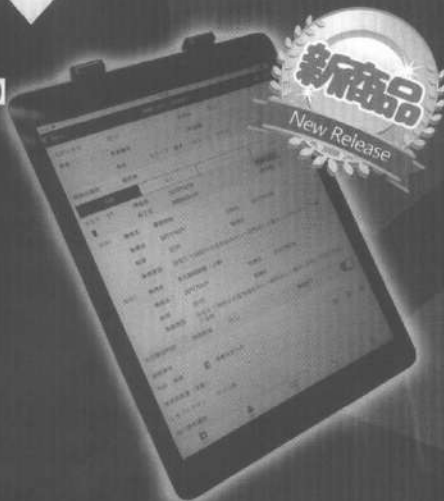


タブレット版カルテ入力アプリ【メディー】

# Medy

新開発のタブレット版カルテ入力アプリ！

- ・その場でのレセ入力でペーパーレス化！手書きカルテが不要！
- ・その場で患者に署名を貰える施術承諾書機能搭載！
- 患者アンケートによる施術日相違の返戻対策に！



PC版保険請求ソフト【メディカルク】

# Medicalc

保険請求システムの決定版！

- ・自動計算機能、近接・長期などチェック機能の充実
- ・施術録、自賠責、労災、学校保険など書類作成機能の充実

「メディー」と「メディカルク」の連携により…  
タブレットからPCへ同時入力！  
クラウドにて複数台での情報共有が可能に！

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-24-4 サン池袋2ビル5F

ミニッツシステム開発株式会社

TEL 03-5396-5861



私たちが育てられたもの

いつまでも「本」の明和でありたい

**出版・印刷のご相談はお気軽に当社へ！**

本づくり一筋に！  
100%まかせられるプロ集団が  
あなたの本づくりを強力にバックアップ！  
まずはご相談ください。

 **明和印刷株式会社**

本 社 〒380-0943 長野県長野市安茂里 2161-2  
TEL.026-226-5311 FAX.026-228-0799  
E-mail info@meiwa-ms.co.jp  
URL <http://www.meiwa-ms.co.jp>  
東京支社 〒175-0081 東京都板橋区新河岸 2-9-12  
TEL.03-3976-1801 FAX.03-3976-1802

## ほねつぎ第106号（夏季号）発行予定日と締切予定日

### ▶投稿される方へのお願い◀

1. Wordで作成された原稿・写真はUSBメモリーに書き込みお送りいただくか、E-mailの貼付ファイルで送信してください。
2. 原稿にテーマ・タイトル・地区名・氏名など記載していただき、指示書と共に提出してください。
3. 寄稿者の顔写真も貼付してください。
4. 投稿用写真には必ず説明文を記載してください。

業界の年鑑となるよう様々な情報・事業報告・ご提言等多くお寄せください。

原稿締切	◆平成30年6月10日◆
宛先	(公社)長野県柔道整復師会 IT広報部宛
電話	026-224-6800      ファックス      026-224-7575
Mail address	chousei@orion.ocn.ne.jp
発行予定日	平成30年7月

### ▶編集後記◀

広報「ほねつぎ」105号をご覧頂きありがとうございます。

今年の干支は戌年ですが、犬に関係することわざに「犬も歩けば棒にあたる」というものがあります。本来は、犬がうろつき歩いていると、人に棒で叩かれるかもしれないというところから「でしゃばると災難にあう」という意味があるようですが、現在では、「当たる」という言葉の印象からか、何かをしているうちに「思いがけない幸運がある」という、反対の意味で使われることも多くなっているようです。じっとしていないで、何でもいいからやってみれば思わぬ幸運に出会う可能性があるだけでなく、行動をすることで何かしらの経験も出来るわけですから積極的に行動をしていく事が大切だと感じます。日々成長するために積極的に行動していく事を心がけていきたいと思います。私達の業界も私達が積極的に行動する事で明るい未来が待っているはず



### 表紙写真説明

「八ヶ岳、杣添尾根から富士を観る」

南佐久郡南牧村海の口の八ヶ岳登山口から横岳を目指し山行途中での一枚です。この日は、前日に降雪があり深いところでは大腿部までの新雪をかき分けて登頂しました。

公益社団法人長野県柔道整復師会機関誌  
広報 ほねつぎ (第105号) 冬季号

発行所 長野市大字安茂里伊勢宮2167-9  
公益社団法人 長野県柔道整復師会

発行 平成 30 年 1 月 末日

発行人 高 田 保

編集責任者 宮 下 厚

印刷所 明 和 印 刷 株 式 会 社

